

第七十五回帝國議會
衆議院

國民優生法案委員會議錄(速記)第四回

付託議案

國民優生法案(政府提出)(第九五號)
癩瘡防法中改正法律案(政府提出)
(第一〇四號)

會議

昭和十五年三月十七日(日曜日)午前十時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 八木 逸郎君

理事村松 久義君 理事伊藤東一郎君

理事江原 三郎君 理事中野 寅吉君

青木 亮貫君

野方 次郎君

曾和 義式君

伊東 岩男君

出席國務大臣左ノ如シ

厚生大臣 吉田 茂君

出席政府委員左ノ如シ

厚生政務次官 一松 定吉君

厚生參與官 飯村 五郎君

厚生省體力局長 佐々木芳遠君

厚生省衛生局長 林 信夫君

厚生省豫防局長 高野 六郎君

厚生書記官 川村 秀文君

厚生書記官 床次 徳二君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 土屋清三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
國民優生法案(政府提出)

癩瘡防法中改正法律案(政府提出)

○八木委員長 是カラ委員會ヲ開會致シマス、ドウゾ御質問ノアル方ハ御質問ヲ願ヒマス

○山川委員 私、大臣ニ御質問申上ゲマス

第六類第十三號 國民優生法案委員會議錄

第四回 昭和十五年三月十七日

本法案ヲ御提出ニナリマシタ時ニ本議場ナリ、又ハ此ノ委員會ノ開會ニ當リマシテ、政務次官カラ御説明ニナツテ居リマシタシ、又茲ニ明記シテアリマス第一條ノ問題デアリマス、「惡質ナル遺傳性疾患ノ素質ヲ有スル者ノ増加ヲ防遏スルト共ニ健全ナル素質ヲ向上スル期スルコトヲ目的トス」斯ウ書イテアル、是ハ實ハ此ノ法案ハ單ニ斷種ガ目的デアツテ、此ノ惡質ナ遺傳性疾患ノ素質ヲ有スル者ノ増加ヲ防遏スルト云フコトハ言ヒ得ラレマスガ、共ニ健全ナル素質ヲ有スル者ノ増加ヲ圖ルト云フコトハ、是ハ違フト思フノデス、ソレデ是マデノ法律ハドノ法律ヲ見マシテモ、郵便ノ法律デアリマスナラバ通信法ト書イテアル、電信ノ法律ダツタラ電信法ト書イテアル、農會ハ農會法ト書イテアル、單ニ斯ウ云フ實質ト變ツタ、或ハ實質ヲ非常ニ誇張シタヤウナ風ノ商號ノ文字ノ書イテアル法律ハナイト思フ、斯ウ云フノハ一般ノ營業者カナシガ物ヲ廣告スル時ニ用ヒル所ノ強勢詞デアツテ、國ノ法律トシテハ優生法ト云フコトハ誇大ニ過ギハセヌカ、斯ウ云フ風ニ思フノデス、此ノ斷種ト云フコトダケニ付テ、是ハ一ツノ醫學上國民ニ施スベキ所ノ一ツノ手術ヲ行フト云フ衛生上ノ一ツノ補助機關デアツテ補助法デア、ソレヲ國民優生法ト云フヤウナ大キナ名前ヲ使ツタト云フコトガ抑、是ガ不都合デアリマス、尙ホ第一條ニ健全ナル素質ヲ

有スル者ノ増加ヲ圖リ「ト云フ文字ガ使ツテアルガ、是ハ違ツテ居ルト思フノデアリマス、總テノ立法ニ於テ斯ウ云フ文字ハ是マデ使ツテ居ナイノデアリマス、ノミナラズ斯ウ云フ文字ノ使ヒ方ハ私ハ慎シムベキコトデハナイカ知ラスト思フノデアリマス、ドウシテ健全ナル素質ガ是デ増加スルノデアリマスガ、代議士ノ數ノヤウニ或ハ府縣會議員ノ數ノヤウニ、數ガ決ツテ居ツテ候補者ガ幾ラモアルト云フ時ハ、一人ノ人ガ辭メタナラバ其ノ後ノ者ガ出ルト云フ代用者ガアルノデアリマスケレドモ、我國ニ住ム所ノ人間ノ數ニハ何モ制限ハ加ヘテナイノデアリマス、一方ハ惡質ノ者ヲ減ラスダケデアツテ之ヲ増加セシメルト云フコトハナイ、優良ナ者ノ増加ハ、總テノ衛生組織ノ全部ガ健全ナル素質ヲ有スルモノノ増加ヲ圖ツテ居ル、ソレハ衛生總テガサウデアリマス、此ノ優生法ニ限ツテ更ニ其ノ計畫ガ此ノ條文ノ中ニ加ヘテナイモノヲ、特ニ其ノ「素質ヲ有スル者ノ増加」ト云フコトヲ書イテアルコトハ、是ハ餘リ飾リ過ギテ居ルヤウニ思フノデアリマス、ソレカラ外國ノ例ヲ此ノ書物デ見テミマス、優生法ト云フヤウナ文字——是ハ原語ガドウナツテ居ルカ私ハ學者デナイカラ分リマセヌガ、譯シタナラバ斷種法トナツテ居ル、ダカラ總テ外國ノモノハ皆斷種法ト云フ名前ヲ付ケテアル、日本ニ限ツテ優生法ト云フノハ、是ハ國體ガ違フカラ優生法ト名付ケルノカドウカ知ラスガ、國民性ニ依ツテ彼ノ國ノ

斷種法ト云フコトガ日本ノ優生法ト云フ文字ニナルノカ、優生ト言フガ此ノ法ノ中ニハ優生ノ實質ハナイノデアリマス、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○吉田國務大臣 此ノ第一條ニ書イテアリマスコトハ御覽ニナリマスヤウニ、條文ノ十六條以上ニ於キマシテ、一方優生手術、所謂斷種ノ手術ヲ故ナク行フトコトヲ禁遏致シマシテ、又之ヲ禁遏シナケレバ其ノ濫用ノ虞ガアルノデアリマス、現ニ若干左様ナ弊害ガ出テ居ルト思フノデアリマス、健全ナル人間ガ其ノ子孫ヲ斷ツテ不健全ナル人間ノ子孫ガ蔓延ルト云フヤウナ、所謂逆淘汰トモ申シマスガ、サウ云フ現象ノ行ハレマスコトヲ正サウト云フコトガ法全體ノ趣意目的デゴザイマス、法自身ト致シマシテモ、單純ナ消極的ナ作用ノミニ止マラナイ譯デアリマス、防遏的ノ意味ニ於キマシテ健全ナル素質ノ國民ノ向上ヲ期スルト云フコトガ法ノ中ニ現ハレテ居リマス、一方此ノ法ヲ出ス所以、立法ノ精神ト云フモノハ何處マデモ國民ノ優生ニ重キヲ置カネバナデス、申サバ是ハ強制規定ヲ加ヘテ居リマスガ、多分ニ此ノ内容ハ教育的デアリ指導デアリ、健全ナル子孫ヲ後ニ遺サナケレバナラスト云フ趣意カラ、法文ノ名稱ノ上ニ於テモ、又手術ノ名稱モ斷種術ト言ハズシテ、優生手術ト名付ケルコトニ於キマシテモ、何處マデモ立法ノ趣意ヲ明瞭ニ致シマスコトガ、本法案ヲ制定致シマス上ニ

於テ、最モ大切ナコトデアリマスガ故ニ、
斷種法ト申サズシテ優生法ト申シテ居ルノ
デアリマス、決シテ誇大ナ廣告ヲスルヤウ
ナ意味デ此ノ文字ヲ用ヒテ居ル譯デハナイ
ノデアリマス、ドウカ其ノ趣意ヲ御諒承願
フコトヲ切ニ御願致シタイノデアリマス

○山川委員 只今大臣ヨリ種々御答辯ニ預
リマシタガ、此ノ第十六條以下ノ問題ハ、
別ニ此ノ法律ヲ以テ新ニ規定シナクテモ、
斯ウ云フコトハ、我國ニ於テハ完全ナル民
法、刑法其ノ他ノ法律ガスツカリ揃ツテ居
ルノデアリマスカラ、ソレニ依ツテ十分行
ヒ得ラレルモノト思フノデアリマス、唯法
律ヲ澤山拵ヘルバカリデ以テ、ソレヲ應用
シ、或ハ取締ルコトガナカツタナラバ、法
ハ空文ニ終ルモノト信ズルノデアリマス、
抑、是ハ方面違ヒカハ存ジマセヌガ、法制局
ノ方ノ關係ハ存ジマセヌガ、我國ガ昨今拵
ヘル法律ハ非常ニ澤山デアリマシテ、何モ
カモ一ツノ法ヲ拵ヘテ行ク、斯ウ云フ
ヤウニナツテ、其ノ法ハ眞ニ不統一デアリ
マス、必要ヲ感ズレバ先ヅ法ヲ拵ヘル、法
ト云フモノハ是ハ根本ノモノデアリマス、
其ノ他ノコトハ其ノ他ハ勅令ニ依ツテ規則
ダトカ種々様々ノ、ソレヨリ低イ所ノ階級
ノ少數ノ人ノ意見ニ依ツテ、ソレ等ノ事項
ヲ拵ヘテ行ク、又其ノ少數ノ人ニ依ツテソ
レヲ削ツテ行ツテ、總テノ實際ニ適スルヤ
ウニシテ行クコト云フノガ趣旨デアリマス、
然ルニ日本ニ於テハ何モカモ皆法、法ト言
ウテ、法ヲ作ツテ行クコト云フコトデアリマ
スガ、斯ウシタ文字ヲ列ベテ法ヲ拵ヘテ見
ルト、其ノ一ツノ法ハ大變適切ナヤウ
ニ感ゼラレマスケレドモ、他ニ又是ト同ジ
ヤウナ性質ノ法律ガ出來、其ノ法ト合ハナ

イヤウニナルトカ、又其ノ法律ト同ジ事項
デアツテ、甲ノ法ト乙ノ法ト丙ノ法ト其ノ
應用精神ノ上ニ於テ意味ヲ異ニシテ居ルモ
ノガ随分出來テ來ル、斯ウ云フ風ニ思フノ
デアリマス、私ハ此ノ衛生ニ關係スル厚生
省ノ受持タレテ居ル所ノ法ガ、ドレダケノモ
ノガアルカト云フコトハ知リマセヌケレドモ、
總テ不統一ノモノデアツテ、斷片的ナモノ
ヲ集メテ居ラレルノデナイカ知ラヌト思フ
ノデアリマス、ソレデソレコソ眞ノ國民優生
法ト云フヤウナ根本ノ法律ヲ拵ヘル爲ニ、
ソシテ詰ラヌ所ニ斷片的ニ使ハズニ、此ノ
名ヲ殘シテ置イテ、或ハ優生法ト云フコト
ガ少シ大キ過ぎルト云フナラバ、衛生法ト
カ云フヤウナ根本ノ法ヲ拵ヘテ、ソレヲ各
分類シテ行ツテ、其ノ中ニ積極的ナ仕事ヲ
各、ソレニ加ヘ、又消極法ノ方面ヲズツトソ
レニ加ヘテ行ク、所謂消極法ナラバ治療ノ
法、或ハ醫藥ノ法ダトカ、或ハ病院ノ取締
トカ、或ハ狂人病院ノ取締トカ云フヤウナ
モノ、又藥カラ總テノ關係スルモノガ、其ノ
一ツノ法ヲ拵ケバ、其ノ法ノ中ニ何モカ
モ皆統一のニ現ハレテ來ル、ソレデ大臣ガ
何遍御送りニナリマシテモ、オ役人様ノ上
ノ方ノ人ニ物ヲ尋ネヌデモ、ドウシナクテ
モ、其ノ法ヲ一寸持ツテ來イト言ツテ持ツ
テ來サセ披イテ見レバ、アノ事ハ斯ウアル、
此ノ事ハ斯ウアルト、直グ分ルヤウナ、一
ツノ鏡ヲ見ルヤウナモノガナケレバナラヌ
ト思フガ、今ノ所デハ技術的ナ法ト云フノ
デアリマスガ、其ノ省ニ入ツテ見タナラバ、
其ノ技術ニ達成シタ者ニ一旦御教ヲ乞ハナ
ケレバ分ラナイ、ソレハ固ヨリ人目カラ見タ
ナラバ、百般ノコトヲ御承知ニナツテ居ル
人ガ各、偉イ人ニナリ、大臣ニナツテ居ラレ

ルノデアリマスカラシテ、大シテ差支ナカ
ラウト思ヒマスケレドモ、私ハ煩雜デナイ
カト思フノデアリマス、吾々素人ハ衛生ニ
關スル法律ハ是ニアリマスト言ツテ一冊戴
キマスレバ、ソレサハ見レバ是ハ斯ウ云フ
ヤウナ組織ニナツテ居ルノダト云フコトガ
直グ分ルト云フヤウナモノヲ、御拵ヘニナ
ル必要ガナイカ、是ハ敢テ厚生省ダケニ限
ルコトデハナイ、各省トモ皆サウデアルト思
フ、最近ハ非常ニ法律ヲ濫發サレル傾向ガア
ル、日本ノ根本ノ法律デアル所謂民法トカ
刑法トカ云フ大事ナ法律ヲ鼠ガ嚙ツタヤウ
ニ、アチヲ嚙リコチヲ嚙リシタヤウニ
變ヘラレテ居ル、サウシテ皆法律ノ自由ヲ或
ル方面カラ見レバ妨ゲラレルヤウナコトガ
出來テ居ルト思フ、是ハ立法ノ方デアリマ
シテ今直チニ厚生大臣ニ向ツテ其ノコトヲ
申上ゲルダケノ筋合デハナイケレドモ、非
常ニサウ云フ點ガアリハシナイカト思フ、
ソレカラ尙ホモウ一ツハ人間ノ能力デス、
日本ニ斯ノ如ク何千ト云フ法律ヲ存在セシ
ムル、明治初年ノ法律デモマダ殘ツテ居ル
法律ガアル、私ハ郵便局長ヲシテ居リマシ
タ時ニ飛信法ト云フ法律ガアル、日本紙ニ
一寸木版デ印刷シタモノデアアル、ソレヲ郵
便局長ニ渡シテ置イテ、マサカノ時秘密ノ
コトガアツタナラバ辨當箱ノ中デモ懷ロニ
デモ入レテ秘密通信ヲスル爲ニ渡サレテ居
ツタ、ソシテ法律デモ今生キテ居ルノダラ
ウト思フ、ソレハ明治六年カ七年頃ニ拵ヘ
タ法律デアラウト思ヒマス、ソシテモノヲ
集メタナラバ澤山アルダラウト思フ、又モ
ウ一ツノ例ト致シマシテハ、日本ニ反別法
ト云フ税制ノ法律ガアツタ、此ノ反別法ハ日
清戰爭ノ時ニ俄ニ税金ヲ澤山取立テル時ニ

ハ複雑デ困ルカラシテ、兎ニ角一反二圓マ
デ取ルト云フ法律ヲ拵ヘタ、一反三錢シカ
價ノナイ土地カラ二圓モ取レルト云フ法律
ガアリマシタ、此ノ度ノ稅制改革ノ時ニ初
メテナクナツタノデアリマス、之ヲ私ハ悞
レテコト十年餘リノ間、此ノ法律ノ撤廢運動
ヲ續ケテ來タノデアリマス、吾々少シデモ
山ヲ持ツテ居ルモノハ早ク山ヲ村ヘデモ寄
附ヲシナケレバナラヌヤウナ狀態デアアル、
一反ニ一圓モ課ケラレタナラバ二三年デ財
產ヲ取ラレテシマフト云フ恐シサガアツタ、
コンナ稅法ガアツタ、今言フ飛信法デモ、
明治六七年ニ拵ヘタ飛信法ガ未ダ存在シテ
居ルノカドウカ知ラヌケレドモ、存在シテ
居ルノデヤナイカト思フ、ソシテコトヲ調
ベテ見タナラバ、不用ノ法律ガ何千アルカ
分ラナイ、ホンノ一部ニ布カレテ居ル法律
ガ何千モアル、コンナ狀態デ次カラ次ヘト、
一年ニ三十モ四十モ法律ヲ作ツテ行クコト
ハ、人間ノ能力ニ關係スルソシナモノガ段
段重ナツテ來ルト、終ヒニハ茲ニ書カレテ
居ルヤウナ斷種ヲシナケレバナラヌト云フ
氣狂ガ殖エテ來ル、決シテ素質ガ惡イノデヤ
ナイガ人間ノ能力以上ニ被ラセルカラデア
ル、私ハ斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマ
ス、ドウカ此ノ點ニ付テ日本ノ法律ヲ——
日本ト申サナクテモ厚生省ノ衛生ニ關スル
方面ニ於テ、只今ノ大臣ノ御手許ニ於テ衛
生法ノ整理ヲナサレ誰ガ見テモ分ル完全ナ
モノヲ作ル、法律規則ト云フモノハ玄人デ
ナケレバ分ラヌトカ、專門家デナケレバ扱ヒ
ヤウガナイト云フコトニシテ置クコトハ、
決シテ國民ノ爲ニ利益デハナイト考ヘルノ
デアリマス

○吉田國務大臣 法律ガ非常ニ複雑ニナツ

テ一般國民ノ理解ニ難カシクナルヤウナ弊害ヲ避ケネバナラヌト云フ御趣意ハ、全然御同感ニ存ズルノデアリマス、法ハ成ベク纏ツテ居ルガ宜シイ、色々複雑ナ法規ガ濫發セラレルト云フコトハ慎マネバナラヌト從前カラ心掛ケテ居ルノデアリマスガ、現在ノ日本ノ法制、殊ニ行政方面ノ法制ハ非常ニ複雑多岐ヲ極メテ居リマスルコトハ御指摘ノ通りデアリマス、殊ニ最近ハ經濟統制其ノ他新シイ世態ニ即應シマスル爲ノ色々ナ法律ガ出來マシテ、洵ニ理解ニ難儀ナヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、衛生方面ニ於キマシテモ、出來マスレバ只今御指摘ニナリマシタヤウニ、總テノ衛生法規ト云フモノガ一定ノ關聯ヲ持チマシテ、一ツノ衛生基礎的ナ大法規ト云フヤウナモノニ統合セラレマスレバ、非常ニ結構ナコトデアルト思フノデアリマス、併シ一方ソレヲ實行スルコトガ非常ニ困難デアルト云フコトモ考ヘネバナリマセヌ、サウ云フコトヲ實行致シマスル上ニ於テハ御承知ノ通り衛生保健ト云フヤウナコトニ付テハ學問技術ノ進歩ニ即應シ、又絶エズ動キツツアル社會ノ情勢、例ヘバ人口問題ニ致シマシテモ、社會情勢ニ依リ隨分世ノ中ノ認識ガ違フコトハ、コト數年來ノ經驗ニ徴シテモ明カデアリマス、ソレ等ニ即應シツツ生キタ法規ヲ國民保健衛生ノ上ニ絶エズ現ハシテ行カケレバナラヌ、琴柱ニ膠スルコトニナツテハイケナイト思ヒマスガ、一ツノモノニソレヲ引括メテヤツテ行クト云フコトハ非常ニ難儀ナデアリマス、御例示ニナリマシタ民法、商法ノ如キニ於テモ、最近ハ元ノ通り民法、商法デハ洵ニ不足ナ部分ガ訴ヘラレマス爲ニ、種々ノ取引ノ自由、

所有權ノ自由性ヲ制限セネバナラヌ法規ヲ出サナイコトニハ、全體ノ統制經濟、戰時體制ヲ確立スルコトハ出來マセヌノデ、御指摘ニナルヤウナ面倒ヲ一方惹起シテ居ルヤウナ譯デアリマス、衛生保健等ニ關シマシテモ、經濟程デハアリマセズトモ、左様ナ事情ガ若干伴ツテ居リマスル爲ニ、一ツノモノニ纏メテ之ヲ國家百年ノ大計デアリ、永久不變ノモノデアルト云フヤウナコトニスルコトハ中々難儀ナデアリマスノデ、アナタノ仰シヤルコトト心持ニ於テハ全然同ジコトヲ考ヘマスガ、一方ソレハ實行ニ非常ニ困難ナ問題デアルト云フコトモ、御諒解置キテ願ヒタイト思フノデアリマス、此ノ優生法案ノコトニ戻リマス、先般來度々御論議モ出テ居ルヤウニ、今マデ出テ居ラナカッタ新シイ分野ニ、國家ノ法制ヲ以テ手ヲ著ケヨウト云フコトデアリマスノデ、一ツノ獨立シタ法案トシテ出スコトハ洵ニ已ムヲ得ナイ譯デアリマス、御質問ノ御趣意ハ能ク分リマスガ、左様ナ事情モアリマスコトヲ御諒解置キテ願ヒタイト存ジマス

○小川委員 ソレデハサウ云フコトニ付テ研究ヲシテ見ヨウト云フ思召ガアルト云フ譯デスカ

○吉田國務大臣 成ベク各般ノ衛生法規ヲ總括致シマシテ、此ノ運用ノ上ニ於キマシテモ、之ヲ見ル人ノ便宜ノ上カラ言ヒマシテモ、餘リ繁雜ニナラナイヤウニ努メル途ヲ研究致シタイト存ジマス

○山川委員 スウ云フ斷種法ノ如キモノハ醫者ノ技術ノ或ル一部デアツテ、ソレガ必要ナ時ニ行ハレルト云フコトヲ何カ他ノ衛生ニ關スル法律ノ中ノ一部ニ一點加ヘレバ

濟ムモノデアアル、一ツノ國民優生法ト云フヤウナ、ドンナコトカ知ラント思ウテ人ガビツクリスルヤウナ名前ヲ付ケタ法律ヲ、寧丸ノ筋ヲ一ツ切ル位目的ノ爲ニ、コンナ仰山ラシイ法律ヲ拵ヘルト云フヤウナコトハ、ドウモワカシイ、コンナコトデアツタナレバ、千差萬別ノ技術ヲ施サナケレバナラヌ法律ノ中ニハ、此ノ法律ニ書イデアアルヤウナ文句ハドレモ是モ書カナケレバナラヌデアラウト思フノデアリマス、斯ウ云フコトデ必要ニ應ジテ、其ノ事項ダケニ依ツテ物ヲ拵ヘテ行クト云フコトニ爲スベキデアアル、隨テ法律ノ條項ヲ減スト云フコト、法律ノ文字ヲ減スト云フコト、法律ノ數ヲ減スト云フコトガ、是ガ立法ノ最大根本目的デナケレバナラヌ、其ノ立法ノ最大根本目的ヲ忘レテシマツテ便宜主義ノ法律、次カラ次ニ朝令暮改ノモノヲ作ツテ行クト云フコトハ、將來ニ於テモ慎重ナケレバナラヌト思フ、是ハ意見ニナリマスガ、意見ヲ申上ゲルノデハゴザイマセヌ、ドウカ大臣ニ於カレマシテモ厚生省ノ衛生關係ノ事務ニ付キマシテハ、十分此ノ法ノ上ニ於テモ相當ノ御計畫ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレハ法ノ力デアリマスケレドモ、衛生ノ方ノ取締ノ統制、系統ニ付キマシテモ、サウ云フ風ニアチコチ各、別個ニ發達シテ行クト云フノデハナシニ、一ツノ統制ヲ加ヘテ完全ナル指導或ハ取扱ヲ願フ必要ガアルト思フノデアリマス、茲ニ癩病ニ關スル所ノ法律ガ一ツ出來テ居ルカラ、此ノ斷種法ノ中カラ癩病ト云フコトハ別ノ法律デ取扱フコトニナツテ居ルノダト思ヒマスガ、又結核ノ方ハ結核豫防法ト云フコトデ取扱ハレルコトニナルノデアラウト思ヒマス、ソレカラ

花柳病ハ花柳病デ別ノ法ヲ以テ取扱ハレル、斯ウ云フ風ニナリ、傳染病ハ傳染病デ傳染病豫防法ト云フモノデ取扱ハレルト云フ風ニナツテ居リマス、私ハ斷種ノ對象ハ單ニ精神病ト云フコトデ、其ノ範圍ニ縮小サレテシマウテ來テ居ルノデハナイカト思ヒマス、サウシテ見ルト先程申シテ通り尙更斷種ト云フコトハ、衛生手術ノ中ノホンノ一小部分、一微細ナコトニ止マツテ居ルコトニナルノデアリマスカラ、別ノ法律ヲ拵ヘル所ノ要ハナイ、所謂不可解ノ部分ガ段々減サレテ來テ居ツテ、範圍ハ縮小セラレテ來テ居ルノデアラウト思ヒマス、ソレデ尙更此ノ斷種ノ爲ニ一ツノ法律ヲ拵ヘル所ノ必要ガアルカナイカト云フコトニ付テ、モウ一應入念ノヤウデアリマスガ御同致シマス

○吉田國務大臣 御質問ノ御趣意ハ、此ノ法文ノ規定ノ内容ニ相成リマスコトハ外ノ何處カノ法制ノ一部分ニ附屬的ニ規定スレバ、足リルノデハナイカト云フヤウナ御趣意ノヤウデアリマスケレドモ、先刻申シマス通り此ノ内容ニアリマスコトハ我國ト致シマシテ、是マデドノ法律ノ中ニモ含マレテ居ラナイノデアリマス、隨テ此ノ事ヲ規定シヨウトスルノニハ、ドウシテモ一ツノ斯様ナ總ツタ法律ヲ必要トスル次第デアリマスノデ、是ハ又仰シヤルヤウニ精神病ダケヲ取扱フノデハアリマセヌ、精神病以外ニモ惡質ノ遺傳性疾患ト云フモノニ付キマシテハ、優生手術ヲ行ヒ、妊娠中絶ヲ行ヒ得ルヤウナ左様ナ規定ニナツテ居ルノデアリマス、唯精神病ダケト云フコトデハナイノデアリマス、詰リ殊ニ顯著ナ劣惡ナ素質ガ國民ノ中ニ遺傳ヲシテ、人口現象ノ上ニ憂慮スベキ逆淘汰ノヤウナコトノ行ハレナイヤ

ウニト云フコトガ、此ノ法案ノ趣意デアリマス、初メ此ノ法律ヲ適用スルコトデアリマスカラ、惡質ノ遺傳性疾患ヲ列舉シテアリマスガ、其ノ運用ニ付テハ何モ彼モト云フヤウニ、初メカラ店ヲ擴ゲルト云フヤウナコトデナクシテ、成ベク過チナキヲ期スル爲ニ慎重ニヤリタイト思ヒマス、單純ニ精神病ダケヲ扱フト云フコトデハナイノデアリマス

○山川委員 遺傳性畸形ト精神系統ト是ダケニ縮小サレテシマツテ居ルヤウニ思ヒマスガ、外ニ何カ應用サレル方面ガアリマスカ

○吉田國務大臣 第三條ノ列舉ノ中ニアリマスル一番最初ハ遺傳性ノ精神病、其ノ次ハ遺傳性ノ精神薄弱、ソレカラ後ハ強度且惡質ナル遺傳性病的性格、強度且惡質ナル遺傳性身體疾患、最後ニハ今御指摘ニナリマシタ強度ナル遺傳性畸形、斯様ニナツテ居リマスガ、ソレノ一ツノ病症ニ付キマシテハ、之ヲ施行スル上ニ於キマシテ又別ニ細目ノ規定ヲセネバナラスト思ヒマス、範圍ハ第一項ノ遺傳性精神病以外ニ、二號以下五號マデノ各種ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ邊ノ詳細ハ又政府委員カラ説明ヲ補足申上ゲテモ結構デアルト思ヒマス

○山川委員 先日御伺申上ゲマシタラ政府委員カラノ御答ニハ、明年度カラ是ノ實施ニ掛ラウト思フ、是ガ通過スルナラバ下拵ヘニ今年ハ暮サウ、愈、ソレニ掛ツタナラバ一年ニ百万圓位ノ經費ヲ計上シテ此ノ斷種ヲ行ハウ、斯ウ云フ風ニ言ハレテ居ルノデアリマスガ、此ノ斷種ノ效果ト云フモノハ、ドウシテモ二十年位經タナケレバ效果ヲ現サナイ、所謂孫ヲ産マナイヤウニ、惡質ノ孫

ヲ殺スト云フコトニナルノデアリマスカラ、先ヅ其ノ儘大キクナツテ社會ニ出シテヤルト云フダケニ二十年先ノ問題デアリマス、今日我國ノ人口ガ嘗テハ百万以上ゾツ年々増加ヲスル形勢ニアツテ、實ニ喜ブベキ慶スベキ狀態ニアツタノデアリマス、所ガ最近ハ戰爭ノ影響ヲ受ケテ、其ノ爲メモアリマセウガ大變滅ツテ來タ、滅ツテ來タノミナラズ、其ノ滅ツテ來タト云フノハ出征者ノ爲ニ減ツタダケデハナクシテ、其ノ外ノ色々ノ原因ガ出テ來タノデハナイカト云フコトヲ心配スルノデアリマス、サウ致シマスト世ノ中ニ隨分其ノ人ノ境遇ニ依ツテ避妊ヲシタイト云フ者ガアル、人間ノ性慾ト云フモノハドンナコトガアツテモ是ハ自然ノ欲望デアリマスカラ、抑ヘルコトハ出來ナイ、此ノ自然性ヲ抑ヘルコトガ出來ナイ以上ハ、情交ト云フモノハ是ハ結局結婚ヲシナクテモ盛ニ陰ニ行ハレテ居ルノデアリマス、ソレノ結果トシテ求メザルニ妊娠シテ子供ガ出來テ來ル、求メザル妊娠ニ依ツテ生レタ人デモ國家ノ爲ニ有用ナ材ニナル、却テサウ云フ人ノ方ニハ賢イ人多クアル、コンナ關係カラ考ヘマシテモ、何トカシテサウ云フ哀レナル狀態ニアル人ヲ救フ方法ヲ考ヘテ、國ニソレヲ保護スル途サヘ立ツナラバ、斯ノ如キ避妊ヲ行フ必要ハナイ、墮胎ヲスルト云フヤウナサウ云フ罪惡ヲ犯ス人モ少クナルノデハナイカ、萬已ムヲ得ズ避妊トカ墮胎トカ云フヤウナ、神ニ背イタ行爲ヲシテ、人間ガ罪ヲ犯サナケレバナラヌ所ノ狀態ニナルノデアリマス、ソレカラ考ヘマスト二十年モ先ニヒョツトシタ役ニ立ツト云フヤウナコトハ、餘リ效果のデナイ、效果ガ非常ニ薄イ、斷種ヲシ

テ其ノ系統ノ者ヲ皆殺スナラバ效果ガアルケレドモ、甚シイ惡質ノ者ノ孫ダケヲ斷ツト云フノデアアルカラ效果ガナイ、サウ云フ效果ノ薄イモノニ年ニ百万圓モ掛ケテ力ヲ入レルヨリハ、私ハサウ云フ憫レナル者ノ子供ヲ國デ育テルヤウナ組織デモ作ツテ、其ノ缺陷ヲ補フヤウニシタラ、此ノ人的資源ノ上ニ於テ非常ニ效果ガ多いノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ思ヒマス、尙ホ此ノ時期ノ問題デアリマス、此ノ方ガ良イカ惡イカ知ラスケレドモ、戰ヲシテ人ガ足ラヌヤウニナル、今日ノ色々ナ物價騰貴ノ原因モ人ガ足ラヌト云フコトガ、根本原因ノ大體ヲ成シテ居ルノデアリマス、何トカシテ人ヲ殖サナケレバナラヌ、日本ノ國ノ發展シテ來タノモ多産系ノ日本國民デアツタカラ發達シタノデアリマス、國ノ盛衰ハ財力ヤ知識ノ向上ダケデ國家ガ發展スルノデハナイ、人種ノ劣等トカ何トカ云フヤウナソノ平均點カラ割出シテ發達スルノデハナク、兎ニ角民族ノ生産ガ多い所ノ國ハ、自然ノ間ニ發達スルノデアリマス、ソレカラ考ヘマシテ、人口ヲ増殖スルト云フ位我國ノ將來ニ取ツテ、我が民族ノ將來ニ取ツテ大切ナコトハナイノデアリマスカラ、何トカ其ノ方面ニモツト力ヲ致ス必要ガナイカト思フ、其ノ場合ニ假令少數ニセヨ斷種法ヲ行ウテ孫ノ出來ルコトヲ止メルト云フコトノ方ニ力ヲ致ス、何モ彼モ日本國中ノ總テノ衛生狀態、社會狀態ノ組織ガ完備シテカラ、又是モ一ツノ仕事デアルト云フコトデ、文明ヲ飾ル器デアルト云フ風ニ思ウテ拵ヘルナラバ兎ニ角デアリマスガ、目下ノ問題トシテ人口増殖問題ニ付キマシテハ、コンナ問題ヨリハ私ガ今申上ゲマシタヤウ

ナ問題ガアルノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ是ハ話ハ飛ビマスケレドモ、結核ノ方デアリマス、我が日本國民ノ壯丁検査ノ體位ガ現狀非常ニ低下シタト云フ問題デアリマス、體位ハ非常ニ低下シテ居ル、是ハ徵兵検査ノ成績ニ依ツテ明ニナツテ居ル、年々低下シテ來テ其ノ底止スル所ヲ知ラザル狀態ニアルト云フコトヲ言ウテ居ル、私ノ國ニ法費六郎ト云フ軍醫總監ガアリマス、其ノ人ガ嘗テ軍醫監ノ時代ニ、我が國民ノ結核性ノ傳播ノ狀況ヲ見テ非常ニ悲シンデ、之ニ對スル研究ヲ非常ニ重ネタ人デアリマス、廣島ノ師團デ軍醫監ヲシテ居ラレマス時分ニ、日露戰爭ノ時ニ支那カラ毎日何千ト云フ結核性ノ患者ヲ送ラレテ、國內ニハソレヲ收容スル所ノ組織ガナイノデ、涙ヲ吞ンデ次カラ次ヘト病院カラ瘵ツテ居ラス所ノ結核性ノ患者ヲ、兵役免除ノ名ノ下ニ除隊サシタ、其ノ事ヲ非常ニ悲シンデ、陸軍ノ上官ノ方ヘモソレヲ何トカ救済スル所ノ途ヲ講ジナケレバナラスト云フコトヲ度々上申ラシテ、過激ナル程度ニマデアノ人ハソレヲ論ジタ人デアリマス、所ガ其ノ後其ノ職ヲ退イテ野ニ下ツテ居ツタ、其ノ時代ニアノ人ハ結核ニ關スル所ノ有益ナル統計ヲ澤山携ヘテ、吾々ノ縣カラ、大阪、中國、近畿邊リデ結核ニ關スル所ノ演説ヲ澤山シテ歩イタ、其ノ時ニ徵兵カラ戻ツタ所ノ兵隊ダケハ何トカ國ノ力ニ依ツテ瘵シテ歸ヘシテヤルヤウニシナケレバナラヌ、國家ノ爲ニ命ヲ懸ケテ働イタ兵隊ガ、歸郷ニ際シテ自分ノ受ケタ病氣ヲ——不治ノ難症ニ罹ツタ者ヲ瘵サズニ郷里ニ歸ヘスト云フコトハ、洵ニ人道ノ上カラ言ウテモ相濟マヌノミナラズ、其ノ人間ガ家ニ歸ツ

テ、サウシテ結核菌ノ恐ルベキコトヲ知ラザル家族ト一緒ニ同棲シテ、ソレガ其ノ家族ニ傳染サシテ蔓延スルコト云フコトガ、日本國中ノ結核ノ蔓延ノ原因デアル、之ヲ除カナケレバ我國ノ壯丁ノ體位向上ヲ圖ルコトハ出來ナイ、斯ウ云フ風ニ極論シテ居ルノデアリマス、私ハ其ノコトヲ聞イテ第七十二議會ノ時ニ其ノ事ニ付テ時ノ内務省ノ衛生局長ト議論ヲ致シマシテ、日本ニサウ云フ軍人ヲ容レル所ノ永久的ノ療養所ヲ拵ヘナケレバナラヌト云フ話ヲ致シマシタラ、之ヲ三十箇所拵ヘテ六万トカ四万トカ云フモノヲ收容シタイト思フテ計畫ハシテ居ルケレドモ、衛生ニ關スルコト、療養ニ關スルコトニ付テハ國モ一向考慮ヲ拂ハナイ、議會ニ於テモ衛生ト云フコトニ付テハ實ニ無關心デアル、衛生ニ關スル議論ヲシタ人ハ非常ニ少イ、ソレニモ拘ラズアナタガ衛生ノコトニ付テ非常ニ言フテ呉レタコトハ嬉シイ、百万人ノ援兵ヲ得タヤウナ氣ガスルト言ハレタ、當時挾間ト云フ人ガ衛生局長ヲシテ居ラタ時分デアルガ、私ガ其ノ話ヲシタラ皆ノ者ハ泣イタ、新聞記者ノ人モ同情シテ泣イテ下サツタ云フ位ノ狀況デアツタノデアリマス、ソレデ此ノ度ノ戰爭ニ因リ負傷兵ヲ容レル所ノ永久的ノ療養所ガ、今全國ニ三十箇所出來上ガラウトシテ居ル、是ハ洵ニ結構ナコトデ、私共ガサウ云フコトニ付テ心配シタコトノ一部ガ達セラレタト云フコトハ、非常ニ喜ンデ居ルノデアリマス、茲ニソレヲ前提トシテモウツ御話ヲ申上ゲタイコトハ、今日日本國中ニ於テ不衛生工場ト云フモノガ澤山アル、紡績會社トカ或ハ鐵工場デアルトカ、瓦斯會社デアルトカ云フヤウナ、其ノ場所々々

ニ依ツテ隨分不衛生ナ所デ仕事ヲシテ居ル、是等ノモノガ結核菌ヲ受ケルコトナリ、ソレガ因ニナツテ地方ニ戻ツテ先程申シマシタ通り、恐ルベキ微菌ナルコトヲ知ラザル家庭ノ中ニ入ツテ養生スル、其ノ爲ニソレガ蔓延シテ是ガ國民ノ體位低下ノ原因ニナル、軍人ノ除隊ニ際シテ幾ラカソレガ防ギ得ラレルヤウニナツタコトハ幸福デアリマスガ、一方マダソレニ對スル組織ハ足ラヌト思フ、紡績會社アタリニモソレヲ收容スル組織ハ、國ノ規則ニ依ツテ命令サレテ居ルコトヲ聞イテ居ルガ、併シナガラ風邪デ工合ガ惡イ位ナ程度ニシテ、紡績會社ノ祿ヲ食ンデ居ル醫者ガ診テ、其ノ診斷ニ任セテ結核菌ヲ持ツテ居ル所ノ職工ガ其ノ儘國ニ歸ヘスノデアリマス、其ノ數ハドレ程アルカ分ラヌ、是ハ極メテ不完全ナモノデアリマス、紡績會社ニ關係スル醫者ガ——厚生省カラ送ラレタ役人ガソレヲ診ルナラバ、完全ニ是ガ結核性デアルカラソレニ對スル豫防ヲシナケレバナラヌ、又紡績會社ニモソレニ對スル療養ノ責任ヲ持タセ、此ノ規則ヲ適用出來ルケレドモ、紡績會社ノ祿ヲ食ンデ居ル醫者ガ自ラ診ルノデアリマスカラ、完全ニソレガ行ハレテ居ルヤ否ヤ疑問デアリマス、風邪デ少シク惡イ、一箇月モシタラ戻レルダラウケレドモ、兎ニ角國ニ歸ツタラト云フコトデ歸ヘシテシマツタガ、其ノ後ハ段々重クナツテ終ヒニハ眞ノ結核症ニナツテ死ンデシマウト云フコトガアルカモ知レナイ、是ハ紡績會社ノコトハ一ツノ例ニ示シタ次第デアリマスガ、不衛生工場ト云フモノノ衛生狀態ガ斯ル狀態ニアルコトハ、隨分澤山アルノデハナイカト思ヒマス、此ノ分ニ對シテモ政府ハ十分ニ

力ヲ致シテ、何處マデモサウ云フモノハ會社ガ責任ヲ帶ビテ、呼吸器關係ノ病人ニ對シテハ立會檢査デモ時々行ツテ、之ヲ監督スル途ガ出來テ居ルカ否ヤ、斯ル大切ナ事業ヲ唯法文ダケニ少シ書イテ、各府縣ノ各、勝手ニ任シテ置クト云フコトニナツテ居ツタナラバ、ドウシテモ國民體位ノ向上ヲ圖ルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、大變方角違ヒデアリマスケレドモ、關聯事項トシテ大切ナ事項デゴザイマスカラ、此ノ邊ニ向ツテノ大臣ノ御所見ヲ御伺申上ゲタイノデアリマス

○吉田國務大臣 最初ニ御述ベニナリマシタ近來日本國民ノ人口ノ減少スル傾向ニアルト云フ點ハ、事實其ノ通りデゴザイマス、私共洵ニ憂慮ニ堪ヘナイコト考ヘマシテ、人口ノ増加ヲスル方法ヲ始終積極的ニシナケレバナラヌコトヲ痛切ニ感ジテ居リマス、實ハ此ノ優生法案自體モ、法文ニ書キマスト斯ウ云フ十六條以下ノヤウナ洵ニ味モソツケモノナイヤウナコトニナルノデアリマスガ、健全ナ子供ヲ産ミ、ソレヲ健全ニ育てルコトガ御國ニ對スル義務デアルト云フ自覺意識ヲ國民ニ喚起シ、一方此ノ法律ノ施行ト配合セマシテ、サウ云フコトハ洵ニ大切デアルト考ヘルノデアリマス、今日ノ人口ノ増加率ノ段々ニ遞減致シマスルコトノ理由ハ、色々算ハ得ルノデアリマスルガ、ソレハ畢竟其ノ中ノ一番大キナ原因ト致シマシテハ、子供ヲ産ムノヲ嫌ガル心持ガ働イテ居ルコトノ影響ガ、可ナリ大キイト思フノデアリマス、其ノ外今日ノ人口ノ都會集モノ傾向ト云フコトモ、人口増加率ノ低下致シマスルコトニ大キナ働キヲシテ居ルカト思フノデアリマス、色々斯様ナ原因ニ遡リマシテ、健全ナ子供ヲ澤山産ンデ、御國ノ爲ニ役ニ立テルコトガ國民ノ務ダト云フ思想ヲ確立スルコトニ十分骨折ヲ致シナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレ等ハ最初ニモ御質問ガアリマシタヤウニ、唯一片ノ法令デ目的ヲ達スベキモノデアリマセスノデ、行政運用ノ上ニ於キマシテ、民間各團體ノ協力ヲモ得マシテ、國民ト共ニ左様ナ意識ガ確立スルコトニ存分ノ力ヲ盡シタイト思フノデアリマス、尙ホ國民ノ體位ガ漸次低下スルコトモ、洵ニ御心配御尤モト私共モ考ヘルノデゴザイマス、其ノ中ニ付キマシテ、歸郷軍人ノコトニ付キマシテハ、近來療養所ガ大分出來テ、ソレハ喜ンデ居ルト云フ御話デゴザイマシタ、十分トハ言ヘマセヌデモ、以前ニ比ベマスト、今日軍人ノ爲ノ療養所ハ隨分普及ヲ致シテ參ツテ居ルコトハ事實デゴザイマス、ソレダケデナクシテ最近殊ニ時局以後ニ於キマシテハ、工業ニ從事スル若イ人達ガ結核ニ罹ルコトガ非常ニ多クナツテ居ルヤウニ思ヒマス、ソレハ御指摘ニナリマシタヤウナ事業ノ性質上、不衛生ナ特殊ノ工場バカリデアアリマセズシテ、一般工場就中小工場ノ分野ニハ、農村方面カラ澤山ノ若イ未熟練工ガ集ツテ來テ、最モ大事ナ銃後ノ産業ニ骨ヲ折ツテ呉レテ居ル譯デアリマスルガ、其ノ邊デ隨分結核患者ガ出テ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、御承知ノ通り健康保險其ノ他ノ施設ニ依リマシテ、結核患者ニ對シマシテハ可ナリ長期ノ休養ヲシテ療治ガ出來ルヤウナ仕組ニナツテ居リマスガ、是亦御指摘ノ通り十分效用ヲ擧ゲテ居ルトハ申上ゲ兼ねル事情モアルカト思フノデアリマス、今回既ニ貴族院ノ決議ヲ經マシテ、

本委員ニ回附セラレテ居リマスル國民體力管理法案ハ、未成年者全部ノ體力検査ヲシ、サウシテ検査ノ結果ニ基キ一人一人ノ健康増進ノ指導ヲスル、又検査ノ結果、色々只今御話ニナリマシタヤウニ、工場ノ方デハドウナツテ居ルカ、北陸方面ハドウナツテ居ルカ、東北ハドウナツテ居ルカ、大都會ハドウナツテ居ルカト云フ、國民ノ健康狀態ト云フモノガ統計的ニ分リマスルヤウナ資料ガ、初メテ得ラレマス譯デアリマス、ソレハ國策ノ根本ニナルベキモノデアルト思フノデアリマス、尤モ

ハ法律ヲ出シタダケデハ何トモナラナイコトデアリマス、實際ノ運用、國民ノ指導、或ハ其ノ局ニ當リマス御醫者様ノ能力ヲ増進スル、監督ヲ周到ニスル、色々ナ働キヲ合セマシテ、初メテ效力ヲ擧グルノデアリマス、尙ホ歸郷軍人ニ於ケルガ如ク、療養所ノ設備等モ、一般國民ニ對シマシテハ決シテ十分デアルト云フ所マデ至ツテ居ラナイノデアリマス、サウ云フ施設ニモツト力ヲ入レマシテ一般民間ノ運動ト致シマシテハ、結核豫防ノ洵ニ有益ナ團體ガ、皇室ノ有難イ思召デ今日新シク出發出來ルヤウニモナツテ居リマスル時代デゴザイマス

スノデ、法制並ニ其ノ運用ト合セマシテ、國民ノ健康増進ニ全力ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、御心配ノ點一御尤モト存ジマス、今マデ其ノ方面ニ餘リ國帑ヲ多ク費シテ居ラナイノデアリマスルノデ、是ハ財政困難ナ折柄デラゴザイマスケレドモ、出來ル限り其ノ方面ノ十分ナ仕事ノ出來マスヤウ、魯鈍ヲ盡シタイ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○山川委員 只今御答辯ニ與リマシタガ、モウ一ツ飛ビマスガ、國民體力管理法ト云フモノハ、是ハ男子ノ青年ダケデゴザイマスカ

○吉田國務大臣 此ノタビ御審議ヲ願ヒマスルモノハ二十歳未満ノ國民全部デアリマス、男女全部デアリマス、併シ之ライキナリ明年度カラ全部ノ検査ヲ實行シ、指導スルコトハ準備ガ整ヒマセヌ爲ニ、差當リ明年度ハ十七歳カラ十九歳マデ、徴兵検査直前ノ青年男子ニ限ツテアリマス、逐次其ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、未成年者全部ニ及ボスト云フ法ノ建前ニナツテ居リマス

○山川委員 ソレデ結核ノ方ハ何デゴザイマスガ、是ハ後デ一ツ技術官ノ方カラ御返事ヲ願ヒタイノデゴザイマス、各工場ノ結核患者ト云フモノノ取扱ニ付テ、各工場ガ完全ニ行ツテ居ルカ否ヤ御答辯願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ癩病ノコトハ昨日大臣ニ御伺申シマシタカラ別トシテ置キマスガ、花柳病ノ問題等モ相當ナ問題ガアルノデアリマス、本年ハ花柳病ニ付テノ法令ハ別ニ出ル譯デゴザイマス、是ガ改正ト云フコトハナイノデゴザイマス

○吉田國務大臣 花柳病ニ關スル法律案ハ本年ハ提案ヲ致シマセヌ

○山川委員 サウシマス、結核トカ、癩病トカ、花柳病トカ、精神病トカ云フモノハ、是ハ各、大切ナ衛生上ノ問題バカリデアリマスカラ、民族優生ノ所デ外ノコトヲ引張り出シテ御尋スルノハ御迷惑カハ存ジマセヌケレドモ、是ヨリ外ニ衛生ノコトヲ質問スル時ガナイ、又大臣ニモ御伺申上ゲマス機會等ハ容易ニ得ラレルモノデハナイノデアリマスカラ、此ノ場合ニ御伺申シテ置キマス、花柳病所謂淋疾トカ微毒トカ云フ

ヤウナモノノ撲滅ニ付テハ、當局ハ非常ニ御努力ニナツテ居リマセウガ、昨年モ花柳病ノ問題ニ付キマシテハ私色々御註文モ申上ゲテ置イタノデアリマスガ、其ノ後は等ノ取締ニ付テ變ツタ方面ノ取締ガ相當出來マシタカ、又其ノ後花柳病ノ蔓延狀況等ニ付テ改善ガ出來タ形ガアリマス、サウ云フコトガ分リマスナラバ、ソレモ簡單デ宜シイカラ御伺致シマス

○吉田國務大臣 先刻申上ゲマシタ國民體力管理法案ハ、是ハ國民ノ體力衛生ニ關スル全面的ナ問題ヲ取扱フ、左様ナ法案デゴザイマシテ、最早當院ニ其ノ法案ハ貴族院ノ決議ヲ經マシテ廻付セラレテ居ルノデアリマス、何レ又特別委員會ニ於テ慎重ナ御審議ガアルコトト思ヒマス、一般ノ問題ニ付キマシテハ其ノ委員會ニ於キマシテモ十分皆様ノ御教ヲ受ケル機會アリマスルコトト私共期待致シテ居リマス、御承知置キヲ願ヒタイト思ヒマス、花柳病ニ關シマシテモ、本來其ノ問題ガ非常ニ重大デアリマスル外ニ、丁度結核ト同ジヤウニ現下ノ時局産業ノ影響ヲ受ケマシテ、非常ニ若イ者ノ間ニ蔓延ノ徵候ヲ來シテ居ルヤウニ思ヒマス、國家將來ノ爲ニ非常ニ憂慮スベキコトデアルト考ヘマス、私マダ就任日淺ウゴザイマシテ、之ヲドウ取扱ツタラ宜イカト云フ結論ヲ得テ居リマセヌノデ、今回ハソレ等ニ對スル格別ノ御審議ヲ願フ運ビニ立至リマセヌデシタコトハ洵ニ残念デゴザイマス、是非之ヲ差急イデ何等カノ方策ヲ行ハネバナラスト思ヒマス、假令法律案ノ御審議ヲ願ヒマセズトモ、今ノ法制ノ運用、今日持ツテ居リマス役所ノ人手ノ範圍内ニ於キマシテモ、出來ル限り花柳病ノ豫

防撲滅ト云フコトニ付テ力ヲ注ギタイト云フ覺悟ヲ持ツテ居ル譯デアリマス、前ノ議會カラ今年ニ至ルマデノ間ニ何等カノ新規ノ施設ヲシタカドウカト云フコトニ付キマシテハ、政府委員カラ御説明ヲ申上ゲルコトニ致シタイト存ジマス

○高野政府委員 花柳病豫防法ヲ前ノ議會ニ御審議ヲ願ヒマシテ、一部分改正ヲ致シマシタ、之ニ依リマシテ、從來アリマシタ花柳病診療所ト申スモノガ、所謂業態者バカリデナク一般國民ノ花柳病患者ヲモ扱ヒ得ルト云フコトニナリマシタ、其ノ意味ヲ以テマシテ段々施設ヲ増シ、且ツ活用ノ範圍ヲ擴張テ參ツテ居リマス、明年度ノ豫算ニ於キマシテモ、花柳病診療所新設ノ爲ノ經費ガ約百箇所分取ツテアルヤウナ次第デアリマシテ、段々此ノ方面ノ施設ハ増シテ參リマス、尙ホ事變ニ際シマシテ股販產業其ノ他ニ於テ花柳病蔓延ノ徵候アルニ鑑ミマシテ、從來アリマス施設ヲ益、厲行スルヤウニ努メテ居リマスルシ、又一般國民ニ向ツテ花柳病ノ危害ニ付テ知識ヲ啓發スルヤウナコトハ、色々ノ手段ヲ以テ努力シテ居リマス、ソレダケ申上ゲマス

○山川委員 此ノ患者ノ一般健康者ニ對スル割合ガ減ツタトカ、何トカ云フヤウナコトハ分リマセヌカ、又支那カラ大變猛烈ナ毒ヲ持ツテ歸ツタト云フ話モアルシ、ソレ等ニ對シテハ、陸軍ノ方デ十分ノ療養ヲサレテ居ルト云フコトヲ聞イデ居ルガ、又軍人バカリデナク澤山ノ人ガ往復スルノデアリマスカラ、ソノ細菌ヲ持ツテ歸ル結果トシテ、新ニ又惡質ノ者ガ國民ノ中ニ殖エルト云フヤウナ徵候ガアルガ、是モ重大問題デアリマスカラ、サウ云フコトニ付テ御研究

内ニ於キマシテモ、出來ル限り花柳病ノ豫

ガ出来テ居ル範圍ヲ御聞カセ願ヒマシテ、
私ハ是等ハ精神病者ヲ斷種スルトカ云フヤ
ウナ問題ヨリモ、カノ入レヤウニ依ツテハ
ヤリ易イ問題デアラウト思ヒマス、癒ラヌ
ノハ仕方ガナイガ、大部分ハ癒スコトノ出
來ルモノデアアル、結核患者ヤ先天的ノ不治
ノ難症、癲病ヲ癒スコト云フヤウナ問題ト違
ツテ、是等ハカノ入レヤウニ依ツテハ、國
家ハ随分防グコトガ出来ル問題デアラウト思
ヒマス、昨年花柳病豫防法ガ出来テ以來、
政府ガ各府縣ヲ指導サレテ居ル方針、其ノ
效果、其ノ狀況等ヲ承リタイト思ヒマス

○高野政府委員 花柳病患者ノ統計ヲ取り
マスコトハ中々面倒デアリマシテ、正確ナ
數字ハ分リ惡ウゴザイマスガ、壯丁検査ノ
時ノ數字ガ一應參考ニナル積リデアリマシ
テ、是ハ統計ガアリマスガ、格別増加シテ
居リマセヌヤウデアリマス、此ノ二三年著
シキ差ハナイト思ヒマス、尤モ是ハ徵兵檢
査ヲ受ケマス際ノ狀態デアリマスカラ、或
ル特殊ノ地域ニ於テハ或ハ増加シテ居ルヤ
ウナコトモ免レ難イトハ思ツテ居リマス、
花柳病豫防ノ根本方策ガ治療ノ徹底ニアリ
マスルコトハ御示シノ通りデアリマシテ、
隨テ診療所ヲ新設シマシテ早期ニ發見シ、
之ニ向ツテ警戒ヲ致シ、且ツ治療ヲスル、
即チ國民ニ對スル花柳病診療施設ノ普及徹
底ガ一ツノ重大問題デアリマシテ、ソレヲ
段々ト擴充シテ參リツツアリマスルコト
ハ、只今申上ゲタヤウナ譯デアリマス、
尙ホ一面ニ於キマシテハ、是ハ實際問題ト
シテ、所謂業態者、詰リ賣笑行爲ヲ行ヒ
マスモノニ一方ニハ公娼、他ニ所謂私娼
ガアリマスガ、其ノ兩者ノ健康狀態ヲ高
メテ行キマスコトハ、ヤハリ花柳病ノ傳播

ヲ防グコトニナリマスルカラ、此ノ方面
ニモ從來ノ制度ヲ十分ニ厲行シテ相當效果
ヲ擧ゲテ居ル積リデゴザイマス、又外地カ
ラ病毒ヲ持ツテ來ル虞ガ、此ノ折柄デゴザ
イマスルカラ、是モ心配シテ注意シテ居リ
マス、幸ヒ軍隊ノ方ニ於テハ十分ノ治療ヲ
盡サレマシテ、完全治愈ノ後デナケレバ歸
國、歸郷ヲサセマセヌ原則デアリマスカラ、
此ノ方モ心配ガナイト存ジテ居リマス、唯
斯様ナ慢性ノ病氣デアリマシテ、或ハ歸宅
後ニ於テ再發スル人ガ全クナイトハ申サレ
マセヌノデ、歸還軍人ニシテ若シ花柳病ヲ
再發スルヤウナコトガアリマスレバ、ソレ
ノ治療ハ國費ヲ以テ之ニ充テルト云フコト
ニ豫算ガ出来テ居リマス、幸ヒ歸還軍人ニ
シテ花柳病ノ再發ノ爲ニ治療ヲ乞フ者ハ、
豫想シタヨリモ少ナウゴザイマス

○山川委員 公娼ノ方ハ多年ノ經驗ノ結果、
政府ニ於テ十分取締ガ出来テ居リマスガ、
私娼ハドノ程度ニ取締ガ出来マスカ、私娼
ノ數ハ年々殖エテ居ルノカ減ツテ居ルノ
カ、外ノコトハ宜シイガ、花柳病ノ方ダケ
ハ私娼デモ公娼デモ感染サセルノハ同ジデ
アリマス、之ニ對スル取締ハ完全ニ出来テ
居ラレルノデアアルカ、モウ少シ詳細ニ承リ
タイ

○高野政府委員 私娼ノ方ノ花柳病ノ檢診
取締モ大體公娼ニ準ジテ行ハレテ居リマス、
是ハ營業取締ノ上カラヤツテ居リマスルコ
トデアリマスガ、運用ト云ヒマスカ、手加
減ニ依ツテ相當嚴重ニモ行ヒ得ルノデアラ
ウト思ヒマス、即チ實際ノ場合ヲ申上ゲマ
スルト所謂業態者ハ保健組合ト云フモノヲ
作ツテ居リマシテ、皆其ノ會員ニナツテ居
リマス、其ノ組合ノ規則ノ中ニ組合員タル

者ハ例ヘバ一週間ニ一回或ハ二回定期的ニ
健康診斷ヲ受クベキモノデアリ、而シテ花
柳病デアルト云フコトガ分リマスレバ治療
ヲ行ヒ、治療ノ完成スルマデハ客ヲ取ラナイ
コトト云フヤウナ大體規定ガアリマシテ、
此ノ規定ニ服從致サヌ者ハ組合カラ之ヲ除
名スル、隨テ稼業ガ出来ナイト云フヤウナ
形ヲ、大體全國ニ於テ執ツテ居リマス、之
ヲ警察官憲ガ相當嚴重ニ取締ルコトニナツ
テ居リマスノデ、固ヨリ是ガ完全ニ行ツテ
居ルトハ申上ゲ難ネマスルガ、相當ノ效果
ヲ擧ゲテ居ルモノト存ジマス、是モ花柳病
豫防法ト云フヤウナ法律ノ規定ニ依リマシ
テ、實行スル方ガ宜シイノデアラウト云フ
コトヲ考ヘマシテ、此ノ次ニ花柳病豫防法
ノ改正案ヲ作リマスル時ニハ、私娼ニ對シ
テ花柳病檢診、治療ノ規定ヲモツト嚴重ニ出
來マスルヤウニ規定シタイト考ヘテ居リマ
ス

○山川委員 此ノ國民體位ノ方ハ男女トモ
主ニ結核、デスガ、身體全體ノ健康デゴザイ
マスカラ、花柳病ノ方モ同ジク是ハ檢診ス
ル所ノ權利ガ與ヘラレル譯デアリマスカ
ル所ノ權利ガ與ヘラレル譯デアリマスカ

○吉田國務大臣 國民體位管理法案ニ規定
致シテゴザイマスル體位檢査ハ大體二段
ニ分レルコトニナルト思ヒマス、第一段ハ
全體ノ人々ニ對スル一般ノ檢査ヲスルノ
デアリマスガ、其ノ中デ特殊ノ疾病ノ疑ア
ル人ハ更ニ精密ナ檢査ヲスル、サウ云フコ
トニ運用ノ上デナツテ行カケレバナラヌ
ト思ツテ居リマス、此ノ精密檢査ノ場合ニ
ハ有ユル疾病ガ發見サレ得ル、斯様ナコト
ニナツテ居リマシテ、發見セラレタ者ニ對
シテハ適切ナ指導ヲ致シテ行ク、斯ウ云フ
コトニナツテ居リマス

○山川委員 ソレデハ概括ノコトハ是デ止
メマシテ、是カラ條項ニ付テ御伺ヲ申上ゲ
タイト思ヒマス、此ノ法律ニ付キマシテ、
私昨年モ反對ヲ致シマシタガ、秘密主義ガ
惡イト云コトヲ申上ゲタノデゴザイマス、
大臣ハ昨年ハ別ノ大臣デゴザイマシタガ、
此ノ手術ヲ行ウタ者ヲ秘密ニシテ置ク、是
ガ大體私ハ宜シクナイカト思フノデアリマ
ス、第十八條ニ「第十六條ノ規定ニ違反シ生
殖ヲ不能ナラシムル手術又ハ放射線照射ヲ
行ヒタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下
ノ罰金ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シタルトキハ
三年以下ノ懲役ニ處ス」ト斯ウ規定シテア
リマス、サウスルト是ハオ醫者ノ手術ノ責
任デアリマスルガ、ドウモ是ハ大變ナコト
デ、三年以下ノ懲役ト云フヤウナコトハ、
是ハドウ云フコトニ扱フノデゴザイマス
カ、ヤリ損ウタト云フコトヲ言フノデアリ
マスカ、一般ノ斷種ヲ目的トセザル所ノ、
手續ヲ經ズシテ斯ウ云フコトヲシタ者ハト
云フ意味ノ所ニ御使ヒニナルノデゴザイマ
スカ

○吉田國務大臣 是ハ法文ニアリマス通り
ニ、十六條ニ於キマシテ、正當ノ事由ナク
シテハ生殖ヲ不能ナラシムル手術又ハ放射
線照射ヲ行フコトハ出来ナイト云フ禁止規
定ガゴザイマス、其ノ禁止規定ニ違反シタ
者ハ、手續ヲ經ズシテ正當ノ事由ナクシテ
様ナ手術ヲ行ツタト云フコトダケニ依リマ
シテ、一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金
ニ處セラレルノデアリマス、正當ノ事由ナク
シテヤツタ手術ニ依ツテ人ガ死ンダ時ニハ、
更ニ其ノ罰金ハ加重サレル、斯ウ云フコトデ
アリマス、詰リ原因ト致シマシテハ、十八
條ノ適用セラレマスル基トシテハ、十六條

ニ違反シタト云フコトハ一年以下ノモノモ三年以下ノモノモ同ジデアリマス、其ノ内デ人ヲ死ニ致シタル場合ニハ罰ガ加重サレル、斯ウ云フ規定デアリマス

○山川委員 サウデスト、正當ノ手續サヘ行ツテ居レバ醫者ガ不調法致シマシテモ、ソレハ仕方ガナイト云フ譯デゴザイマスカ、ソレハ關係ナク、是ハ正當ノ手續ヲ經ナイモノダケノ規定デゴザイマスカ

○吉田國務大臣 其ノ方ハ刑法ノ問題トナリマシテ、其ノ手術ニ過失ガアツタカドウカト云フコトニ依リマシテ、責任ガアルカナイカガ決マルト思フノデアリマス、此ノ法案ノ關スル所デハナイノデアリマス

○山川委員 第十九條ニ、中央優生審査會及地方優生審査會ノ委員若ハ委員タリシ者又ハ優生手術若ハ第十四條ノ妊娠中絶ニ關スル審査若ハ施行ノ事務ニ從事シ若ハ從事シタル公務員若ハ公務員タリシ者故ナク其ノ職務上取扱ヒタルコトニ付知得シタル人ノ秘密ヲ漏シタル者ニ對シテハ罰ガ設ケテアル、サウスルト、斷種ヲ行ツタト云フコトハ一切知レナイト云フコトニナリマスネ、秘密ガ完全ニ行ハレタラ……

○床次政府委員 只今ノ十九條ノ關係ニ於キマシテ、審査會ノ委員或ハ委員タリシ者或ハ其ノ事務ニ關係致シマシタル者ハ、故ナク其ノ知リマシタル事ニ付キマシテ他人ニ之ヲ漏スコトヲ禁ジテ居リマス關係上、斷種ヲ受ケマシタルコトハ一般社會ニハ分ラナイ譯デアリマス、併シ其ノ場合ニ於キマシテ、手術ヲ受ケマシタル者ハ、嘘ヲ吐イテ結婚スル虞ガアルト云フコトモ詰問セラレルト思ヒマスガ、手術ヲ受ケマシタル者ノ結婚生活問題ニ付キマシテハ、手術ヲ受ケマシタル後

ニ十分ニ指導致シマシテ、偽ツテ結婚スルコトノナイヤウニ、出來ルダケノ努力ヲ致シタイト存ズルノデアリマス

○山川委員 サウ致シマスルト、是ガ知レナイト云フ結論ニナリマスガ、知レナイト云フコトデアツタナラバ、親ガ若シ子供ノ一歳カ二歳ノ時ニ秘密ニ斷種ヲ行ツテシマツテ居ル、其ノ親ガ死ンデシマヒ、オ醫者サンモ死ンデシマヒ、立會ツタ人モ忘レテシマツタト云フコトデ分ラナイ、ソレガ二十歳前後ノ立派ナ息子サンニナリ、娘サンニナツテ、我が家ノ相續者トナツテ家ノ將來ノ萬々歳ヲ壽グ爲ニ、子孫ノ繁榮ヲ祈ル爲ニ貰ツタ嫁サンガ子ガ出來ナイ、婿サンニ種ガナイ、ソナ實物ヲ貰ツテモ仕方ガナイ、ソナ實物ヲ秘密ニ作ツテ置クコトハ、人間ノ道ニモ背キハセスカト思ヒマス、斯ウ云フ法律ハ惡イト信ズル、私昨年モ此ノコトヲ述ベタノデアリマスガ、ヤハリ此ノ優生法ニモ書イテアツタ、途中デ新聞ニ出マシタル法律案ヲ見マシタル時ニハ、結婚ノ申込ガアツタ時ニハ相手方ニ斷種シテアルコトヲ通告スル義務ガアルト書イテアツタ、是ハ簡單ナ方法デ秘密ハ守レルシ、非人道ナコトハ之ニ依ツテ防ゲル、是ハ良イコトヲ考ヘラレタト思ツタ、私ハ尙ホ昨年モ斷種シタルコトヲ戸籍ニ登録シタルト云フコトマデ極論シタルデアリマスケレドモ、ソレデハ斷種サレタル者ガ非常ニ可哀サウデアルト云フ意味カラ、ソレハ除カレタノデアリマセウ、サウシテ通告スル義務ガアルコトハ洵ニ結構ナコトダト思フ、良イ方法デアルト思ツテ感心シテ居リマシタル所ガ今度ノ案ヲ見ルト肝腎ノ所ガ脱ケテ居ル、是ハドウ云フ譯デ御除キニナリマシタル、ソナ人間ノ實物ヲ造ツテドウスルカ、十年掛レバ五十萬モ出來マス、日本國中ニ五十萬モアツタラ、其ノ實物ニ引掛ル者ガ澤山出來ル、斷種シテアツテモ、斷種シテアルト云フコトハ言ハナイ、黙ツテモラエバ幸ニシテヤルト云フコトニナル、其ノ時ニハ親ハ非常ナ惡イ病ノ者デアツタケレドモ、其ノ子供ハ立派ナ子供ニ育ツタ精神病ノ遺傳ノ中デモ五人ノ子供ガ全部惡クナルトハ限ラナイ、一人カ二人ニ遺傳スル、後ノ者ハ健全デアルト云フ場合ニ、其ノ健全ナ子供ガ斷種サレテ居ル、外カラ見レバ、分ラナイ秘密デアルカラ世間ニ傳ツテ居ラス、ソレガ立派ナ娘ニナツテモ人間ノ實物デアル、ソレヲ知ラナイデ貰フ、片方ハ實物ヲ黙ツテ賣リタクナル、斯ウ云フ場合ニハ非常ニ一方ニ被害者ガ出來ル、一ツノ詐欺ニ掛ツテ居ルヤウナモノデアル、此ノコトハ飽クマデモ宜シクナイト思ヒマスルカラ、之ニ對スル得心ノ行キマスルヤウニ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス

○一松政府委員 只今ノ御質問ハ餘程深ク御考過ギニナツタ結果デハナカラウカト私ハ考ヘテ居ルノデゴザイマス、是ハ十九條ノ明文ニ依ツテ明カデアリマスルヤウニ、是等ノ手術ニ從事致シマシタル者若ハ斷種ニ關係致シマシタル委員諸君ガ、正當ノ理由ナクオ喋リスル、アソコノ何ノ某サンハ斯ウ云フヤウナ理由ニ依ツテ斷種ヲシタルデアアル、何處其處ノオ嬢サンハ斯ウ云フ病氣ノ爲ニ斷種シタルデアルト云フコトヲ、無暗矢鱈ニオ喋リスルコトハ、所謂其ノ家ノ家名ヲ之ニ關係シタル人ガ傷付ケルコトニナリ、公序良俗ニ反スル、又斯ウ云フヤウナ手術ヲスルコトニ依ツテ、國民ノ體力ヲ健

全ナラシムルト云フ極ク神聖ナル仕事ニ寄與スル目的ノ爲ニ手術ヲシタル人ニ對シテ、其ノ名譽ヲ傷ケルコトガアツテハ甚ダ宜クナイカラト云フコトヲ憂ヘマシテ、丁度辯護士ガ業務上人ノ秘密ヲ承知シテ居ル時ニ、其ノ秘密ヲ故ナク他ニ漏スコトヲ禁ゼラレタルガ如ク、或ハ醫者ガ人ノ秘密ヲ承知シテ手術ニ從事シテ居ル時ニ、正當ノ理由ナク之ヲ他ニ漏ラス、或ハ公證人ガ職務上知り得タコトヲ正當ノ理由ナク他ニ漏ラスコト同ジヤウニ、秘密ヲ保持シテ、サウシテソレ等ノ人ノ名譽ヲ尊重シナケレバナラス、斯ウ云フ建前ノ下ニ立案セラレタノデアリマシテ、今御心配ニ相成リマスルヤウナ、結婚ヲスル時ニ相手方ガ斷種ヲシテ居ルコトヲ秘密ニシテ騙シテ結婚シタル、ソレガ爲ニ折角子寶ヲ得ヨウト思ウテ貰ツタ嫁カラハ子供ガ出來ナイ、折角子寶ヲ得ヨウト思ウテ婿養子ヲシタル其ノ人カラハ子供ガ出來ナイト云フ如キコトハ甚ダ不都合デハナイカ、斯ウ云フヤウナ御疑念ハ御尤モデアルト思フノデアリマスルガ、若シ子種ヲ得ルコトニ非常ニ重點ヲ置イテ結婚ヲシタル、特ニザウ云フコトニ付テ貰フ方カラ相手方ニ注意深ク質シタルニモ拘ラズ、尙且ツ斷種ヲシタルコトノナイヤウナ一ツノ詐術ヲ用フル、或ハ斷種シタルコトハアリマセヌト云フコトデ欺イタ、サウシテ結婚シタル子供ガ出來ナイ場合ニハ、婚約ノ取消若クハ離婚ノ原因トナルト私ハ確信シテ居ルノデアリマス、一面ニ於テ人ノ秘密ヲ發イテ、公序良俗ヲ案シ、相手方ノ名譽ヲ毀損スルト云フヨリモ、今御心配ニナルヤウナコトハ、比較研究シテ見レバ少イノデハナカラウカ、決シテ人ノ秘密ヲ知悉スルコトニ依ツテ、何處マデモ

人ヲ欺ク機會ニ使フノダト云フ意味デハナ
イノデゴザイマシテ、先刻例ヲ擧ゲマシタ
人ノ秘密ニ與ルコトニ從來シテ居ル人ニ、
秘密保持ノ義務ヲ負ハシタト同ジ立法ノ精
神デアアルコトヲ、御諒承願ヒタイノデアリ
マス

○山川委員 只今御答辯ニナリマシタガ、
サウ致シマス此ノ秘密ナルモノハ斷種ヲ
行ツタト云フ秘密デナクシテ、ソレ以外ニ
斷種ヲ行フベキ原因ノコトヲ指スノデアツ
デ、今ノ例ハ斷種ガシテアルト云フコトハ
秘密ニナラスノデアリマス

○松政府委員 其ノコトハ總テ秘密ニ入
ル、即チ第十九條ニ規定シテアリマスヤウ
ニ、「其ノ職務上取扱ヒタルコトニ付知得シ
タル人ノ秘密」デアリマスカラ、勿論斷種シ
タト云フコトモ秘密デアリマス、而モアレ
ハ第三條ニ規定シテアリマス遺傳性精神
病ノ爲ニ斷種シタノダ、或ハ強度且ツ惡質
ナ遺傳性身體疾患ノ爲ニ斷種シタト云フヤ
ウナ原因モ含シデ居ルヤウニ、或ハ斷種ノ
際ニドウモアノ人ノ體ニハ其ノ以外ニモ斯
ク云フ異狀ガアツタコトヲ掩ハ手術ノ時ニ
知ツタト云フヤウナコトモ、ヤハリ此ノ「取
扱ヒタルコトニ付知得シタル人ノ秘密」デス
カラ、其ノ範圍ニ入ラウト思フノデアリマ
ス

○山川委員 私ハ此ノ十九條ニ書イテアル
コトハ、斷種シタコトト云フコトダケヲ茲
ニ規定スレバ宜イノデアツテ、其ノ外ノ秘
密、人ノ害ニナル所ノ秘密ヲ漏ラシ或ハ
語ルト云フコトハ、是ハ別ニ國民優生法ト
云フ法律ヲ拵ヘナクデモ是ハ刑法トカ或ハ
何トカ云フヤウナモノデ、他ノ一般法ニ依ツ
テ、親法律ニ依ツテモ規定シテアルノデハナ

イカ、斯ウ思フノデアリマスガ、茲ニ書イ
テアルノハ斷種ヲシタト云フコトヲ主ナル
目的トシテ是ハ書イテアルノデハナイカト
思フ、サウスルト斷種ヲシタト云フコトモ
ヤハリ秘密デアルト云フコトニナレバ、斷
種ヲシタト云フコトハ世ノ中ニ知レヌト云
フコトニナルノデアリマスカラ、人間ノ賢
ヲ擧ムト云フコトニナル譯デアリマス、若
シオ醫者モ生キテ居リ、親モ生キテ居レバ
宜イガ、其ノオ醫者モ亡クナツテシマフ、
親モ死シデシマフ、其ノ子ハ二十ニナツタ、
其ノ二十年ノ狀態ハ皆變ツテシマフ、サウ
スルト本人ガ別ニ嘘ヲ言ウテモ秘密ハ洩レ
ナイ、本人ハ勿論一歳ヤ二歳ノ時行ハレタ
コトハ知ラナイ、サウスルト何ニ依ツテモ
自分ガ斷種シテアルト云フコトヲ知ルコト
ハ出來ナイ、又斷種ヲシテアルト云フコト
ヲ言ハナカツタト云フ詐欺行爲モ、本人ガ
知ラナイノダカラ成立シナイ、併シ其ノコ
トヲ知ツテ居ル人ガ居ナクナツタト云フヤ
ウナ場合ニハ、ドウ云フコトニナリマスカ
○松政府委員 二ツノ御質問ガアツタヤ
ウデアリマスガ、第一ノ點ハ斷種ヲシタト
云フコトダケノコトデハ秘密保持ノ規定ヲ
スルニ付キマシテ效果ガ薄イト思ヒマス、
斷種ヲシタト云フコトモ何デ斷種ヲシタカ、
氣狂ヒデ斷種ヲシタトカ、或ハ氣狂デハナ
イ即チ「強度且ツ惡質ナル遺傳性疾患」ノ爲ニ
斷種ヲシタモノト云フヤウナ、其ノ斷種シ
タ以外ニ、斷種スルニ至リマシタ動機原因
モ、ヤハリ私ハ秘密保持ノ範圍ノ中ニ入レ
ナケレバ、人ノ名譽ニ關スルコトト思フノ
デアリマス、又其ノ斷種ニ直接關係ハナク
テモ、斷種スル爲ニ身體検査ヲシタ時、其
ノ身體ノ或ル局部ニ異常ガアツタト云フ

ヤウナコトヲ自分ガ知得シタコト等モ、ヤ
ハリ秘密保持ノ範圍ニ入レナケレバナラヌ
ト思フノデアリマスカラ、詰リ此ノ十九條
ノ法文ハ、斷種ハ勿論、斷種ノ動機、原因
及ビ斷種ニ直接間接ニ關係シテ知り得タル
秘密、斯ウ云フヤウニ解釋シナケレバナラ
ヌト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレガ一ツ
ソレカラ今一ツハ斷種シタト云フコトヲド
コマデモ秘密ニシテ居レバ、二十年、三十
年經ツタ後ニ分ラヌヤウニナルデヤナイカ、
二ツ三ツノ時ニ斷種シテ居ツタ者ハ分ラヌ
デヤナイカ、分ラヌデ結婚スレバ騙シタ
コトニモナラヌカラ、結婚ノ要素ヲ秘密ニ
シタト云フヤウナコトデ、結婚無効若クハ
解除ノ理由ニナラヌデヤナイカト云フ御質
問ノヤウデアリマスガ、御尤モノヤウニ思
フノデアリマス、併シサウ云フ場合ニハ、
特ニソレヲ必要ト考ヘタ時ニハ、結婚ヲ申
込ミマス以前ニ能ク私共ノ間ニハ其ノ準備
行爲トシテ相手方ノ家門、血統、素質、資
産ノ狀況、再婚ナリヤ初婚ナリヤ、其ノ他
結婚ニ參考トナルベキ一々ノ資料ノ調査
ヲヤリマス、尙ホソレデモ分ラヌヤウナ
時ニハ相手方ト、斯ウ云フヤウナ點ガ必要
デアリマスガ、アナタ若クハアナタノオ父
サン、オ母サンハ斷種シタ事實ハアリマセ
ヌカ、アリマスナラバ一ツソレヲ明カニシ
テ戴キタイ、サウシテサウ云フヤウナコト
ガ結婚成立ノ前提條件ニナル時ニハ特ニ其
ノ點ニ注意致シマスレバ、其ノ申込ヲ受ケ
タ人ハ、自分若クハ自分ノ兩親ガ斷種シタ
カドウカト云フコト、其ノ斷種ヲシタ所ノ
病因其ノ他ニ付テ取調ノ結果知り得タルコ
トヲ相手方ニ報告スレバ、必ズシモ私ハ秘
密ヲ保持シタカラト云ウテ永久ニ其ノ秘密

ハ葬ラレ、本人モ之ヲ知得スルコトハ出來
ナイノダト云フコトハナラヌト考ヘテ居ル
ノデアリマスカラ、今アナタノ御質問ノヤ
ウナ御心配ノアル時ニハ、ソコマデ鄭重ナ
手續ヲ盡セバ、減多ニ誤ニ陷ルコトハナイ
ト考ヘテ居リマス

○八木委員長 一寸鐘業法ノ方デ大臣ノ御
出席ヲ求メニ來ラレタノデアリマス、併シ
本日ハ是非質問ヲ進メタイト思ヒマスカラ、
午後ハ大臣ノ御出席ヲ願フコトニ致シマシ
テ、午前ハ是デ止メタイト思ヒマスガ……
○太田委員 實ハ色々ナ質問ガゴザイマス
ケレドモ、實際問題ニ付テハ知ラナイ點ガ
大分アリマスカラ、速記ヲ取ラズニ懇談的
ニ御話ヲ願ヘバ、議事ノ進行モ非常ニ早イ
ノデヤナイカト思ヒマス、例ヘバ斷種法ノ
コトトカ遺傳因子ガ一万アルト云フヤウ
ナ話デスガ、是ニハ隨分疑義ヲ持ツテ居ル
ノデス、併シ質問スレバ長クナリマスシ、
實際問題ニ付テハ、御醫者サンノ専門家モ
多イヤウデスガ、私共ノヤウナ素人モ居リ
マスカラ、懇談ノ機會ヲ與ヘラレバ、時
間モ非常ニ早ク済ムノデヤナイカト思ヒマ
ス

○八木委員長 洵ニ結構ナコトト思ヒマス、
ソレデハ午後ノ一時ニ委員會ヲ開キマシテ、
ソコデ懇談ヲ願フコトニシタイト思ヒマス、
是ハ速記ヲ取ラズニ政府委員ニ何カ細カイ
コトヲ聽イテ、其ノ上デ大臣ニ對スル御質
問ヲスルコトニ致シタイト思ヒマス、左様
ニ致シマシテ此ノ際一寸休憩致シマス

午後零時休憩

午後二時十八分開議

○八木委員長 是ヨリ開會致シマス——伊

東君

○伊東委員 國民優生法案ニ付テ御尋致シマスガ、私ハ全ク専門的ノ知識ハナイノデアリマスケレドモ、段々疑問ガアリマスノデ、教ヲ乞ヒツツ其ノ蒙ヲ啓キタイト思フノデアリマス、戰時下ノ日本ノ國力ノ消長ハ一ニ此ノ國民ノ體力ニ非常ニ關係ガアリマスルノデ、ソコデ政府ハ國民體力ノ管理ノ制度ヲ設ケテ當面ノ現實ノ問題ヲ改善シヨウト云フコトニナツテ、是モ法律ヲ提出中デアリヤウデアリマスガ、更ニ根本的ニハ日本ノ民族ノ淨化及ビ健全人口ノ増加ノ目的ヲ以テ此ノ優生法案ガ提案ニナリマシタコトハ、時機ガ寧ロ遲キニ失スル位デ、私共ハ非常ニ賛成スル者デアリマス、勿論家族制度ノ立場ヨリ其ノ他色々専門的ノ見地カラハ反對ノ議論モアリマセウケレドモ、私共ハヤハリ素質ノ改善ヲ根本トスルニハ斷種法ヲ行フト云フコトガ一番良イト思フノデアリマス、併シ今回此ノ案ニ依リマスルト極メテ消極的デアアルノデアリマス、只今懇談會中ニ御話ノヤウニ本法ノ適用者ハ推定數二十萬前後ト申サレテ居リマス、之ニ對シテハ任意ノ申告ニ依ツテ大體斷種ノ手術ヲヤラウト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス、其ノ點ニ付テハ只今色々御話ガアツタ通りデアリマスケレドモ、是ニハ只今ノ御話中ニモ此ノ消極的ナ申告制度デハ申出ル者ハナイト云フ説ト、相當アルト云フ説ト兩説ガアルノデアリマシテ、私共ハ成ベク國民ニ理解ヲ求メテ是等ノ素質ノ改善ヲ根本的ニ爲スヤウナ手段ニ出ナケレバナラヌト考ヘテ居リマスガ、一體政府ノ方デハドノ程度デ此ノ目的ヲ達シヨウトスルノデアアルカ、又將來ハ任意申告ノ方法ニ

依ラズシテ強制的ニマデ進ム御意圖ガアルノデアリマスガ、此ノ點ヲ一應承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○高野政府委員 先ヅ差當リハ原則トシテ任意申請主義デ參ルノガ、實際ニ都合ガ宜イノデハナイカト考ヘテ居リマス、ソコデ國民ニ向ツテ此ノ知識ノ普及ヲ努メマシテ、又其ノ實施ノ狀況ヲ觀察シマシテ、餘リ效果ガナイヤウデアリマシテハ國家ノ爲ニ役ニ立タヌコトデアリマスルカラ、其ノ狀況ヲ見マシテ善處シタイ、斯ウ云フ考デ一應提出シテ居ル次第デアリマス

○伊東委員 折角出來タ法案デアリマスルカラ、成ベク此ノ效果ノ多カラシコトヲ希望スル者デアリマス、更ニ進シテ御同致シタイコトハ此ノ戰爭ト出產率ニ付テデアリマスガ、戰爭ノ推移ニ從ツテ益々深刻化スル所ノ產メヨ殖ヤセヨト云フ問題ヲ科學的ニ調査研究スル、サウシテ興亞ノ人的資源ノ充實ニ百年ノ大計ヲ立ツル爲ニ、昨年度ノ豫算デ人口問題研究所ト云フモノガ設立サレタヤウデアリマス、此ノ研究所ノ豫算ノ如キモ極メテ輕微デアリマス、私共ハ少クモ此ノ人口問題ニ付テハ今少シ規模ヲ擴大シテ根本的ナ研究ヲスルコトガ確ニ時局下必要ナコトデアルト思フノデアリマス、之ニ對スル御意見、及ビ我國ノ事變前ノ出生數ハ約二百十萬人ト稱サレテ居リマシタ、事變勃發以來非常ニ急激ナ出生率ノ減ヲ見タノデアリマシテ、丁度昨年私ガ本會議ニ於テ質問致シタ時ノ厚生大臣ノ答辯ニ依ツテモ、十二年度ニ於テ二十五萬人ノ減ダト云フ御話デアツタノデアリマスガ、一體十四年度ニ於テハドレダケ減ジテ居ルノデアリマスルカ、私共ノ想像デハ此ノ減ガ相當

數増加シテ居ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、モウ一ツハ死亡率ハ此ノ反對ニ相當殖エテ居ルト考ヘテ居ルノデアリマスルガ、事變前ト比較シテ十三年、十四年度ノ死亡數ヲ御示シガ願ヒタイト思フノデアリマス、今一ツハ出產關係ハ生活ノ様式ニ依ツテモ差異ガアリマセウシ、或ハ階級、收入、教養程度ニ依ツテモ色々關係ガアルト思フノデアリマス、尙又乳兒ノ死亡率ノ如キモ都市ト農村デ非常ニ違ヒマス、或ハ貧富ノ狀況ニ依ツテモ違フノデアリマス、是等ニ關スル御意見及ビ厚生省ハ出產力ノ調査ヲ行ツテ居ラレルコトト思フノデアリマスカラ、此ノ點、ソレカラ後戻リシマスガ、本優生法ヲ適用シマスル人員ノ調査ニ付テ如何様ノ方法デ御進メニナルノデアリマスルカ、是モ併セテ御答願ヒタイト思フノデアリマス

○高野政府委員 出生率ガ少シツツ減ツテ參リマシテ心配ヲシテ居リマシタ所ヘ此ノ事變デアリマシテ、其ノ影響ヲ受ケマシタ結果、御話ノ如クニ可ナリ著シク出生ノ減ヲ見タ次第デアリマス、ソコデ人口問題研究所モアリマスルシ、又一面ニ於キマシテ今後ハ厚生科學研究所ノ中ニ優生部ト云フモノヲモ置キマシテ、出生率ノ低下ヲ一面社會環境ト申シマセウカ、或ハ經濟的、文化的ト申シマスガ、サウ云フ方面カラ考ヘ、他面生物學的或ハ優生學的ト云フ方面カラ見マシテ、質ニ於テモ其ノ健康度ヲ高め、量ニ於テモ益々人口ガ増加スルヤウニ致シタイ、固ヨリ此ノ研究調査費用等ハマダ少ウゴザイマス、段々是ハ増シテ行クコトデアラウト思ヒマスルガ、調査ノミナラズ、此ノ調査ヲ基礎トシテ計畫セラレマス實施ニ付キ

マシテハ、追々ト是ガ豫算ノ上ニ現ハレテ來ナケレバナラヌト存ジマス、出生ノ數字ハ或ハモウ御承知ノコトト思ヒマスガ、昭和十二年度ノ出產數ガ二百十八萬七百三十四人、死亡數ガ百二十萬七千八百九十九人、人口千ニ付テノ自然増加率ハ二三・七デゴザイマス、此ノ人口ノ自然増加率ハ此ノ發表サレテ居リマスル數字デハ尙ホ左程恐ルベキ程ノ數字デハゴザイマセヌガ、但シ戰爭ニ因ツテ直接戰死、戰病死ト申シマセウカ、其ノ爲ノ數字ハ此ノ死亡ノ中ニ、或ハ現ハレテ居ラヌカトモ考ヘマスノデ、隨テ之ヲ精算シマスレバ只今ノ自然増加率ガ、モウ少シ減ルコトデアラウカト思ヒマス、以上或ハ申上ゲ落シガアルカモ知レマセヌガ御答ト致シマス

○八木委員長 一寸皆サンニ念ノ爲ニ申シテ置キマスガ、此ノ質問ハ又更ニ付託サレマシタ癡癡防法中改正法律案ノ質問モ併セテ一緒ニ願フ方ガ關聯致シマシテ宜イカト存ジマスカラ、ドウカ其ノ御積リデ御願致シマス

○伊東委員 只今質問致シマシタ數字ハ一ツ別表デ御示シテ願ヒタイト考ヘマス、尙又死亡率ニ付テハ御答辯ノ數字ハ無論戰死兵ノ如キハ入ツテ居ナイト考ヘマスガ、又戰死者ノ數ノ如キハ御發表ノ出來ナイ點モアラウカト考ヘマス、是ハ別表デ一ツ御提出ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、更ニ御尋致シタイコトハ、斷種法ノ手術ヲ致シマシテモ、生殖ハ無論停止サレマスガ、別ニ交接ニハ差支ナイト云フ點ニ付テハ先程協議會デ色々御聽キシタノデアリマス、是ハ御聽キ致シマセヌガ、此ノ優生法施行前後ノ出生率ハ、參考書ノ外國ノ例ニ依リ

マシテモ相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ルヤウ
デアリマスガ、一體此ノ消極的ナ本案デ豫
期ノ優生ノ保障ガ出來ルデアラウカ、
私ハヤハリ徹底のナ方法ヲ是ハ採用スルコ
トガ宜イト思フデアリマス、ソコデ考ヘ
マスルコトハ是ハ全部デアリマセヌケレ
ドモ、大體兵士ハ最モ健康體ノ中ノ健康體
デアリマス、優生ト云フ方面カラハソレハ
色々ナ關係モアリマセウガ、健康ト云フ方
面カラハ是ハ間違ナインデアリマス、又兵
隊ハ主トシテ繁殖力ガ多イデアリマス、
只今出征兵士ノ總テノ實情ヲ見マシテモ、
子供ノ出來テ居ル率ガ非常ニ多イデアリ
マス、ソコデ繁殖力ヲウント持ツテ居ル人
達ダト云フコトハ間違ハヌデアリマスガ、
此ノ人達ガ支那事變ノ爲ニ出征シテ居リ
マスガ、而モ長期戦ニ入ツテ出征兵ガ凱旋
致シマスルコトハ前途遼遠ダト考ヘテ居リ
マス、仍テ生殖力ノ最モ旺盛ナ出征兵ノ關
係ガ出生率ニ非常ニ關係ハアルコトハ是ハ
當然デアリマス、併シ作戰上ノ都合モアリ、
一概ニドウト云フコトハ言ヘマスマイケレ
ドモ、此ノ出征兵ノ交替問題ト云フコトハ、
繁殖力ト日本ノ將來ノ人口問題ト密接ナ關
係ガアルデアリマス、無論ハ色々ナコ
トノ發表ニハ軍ノ秘密ニ屬シテ居ルコトト
思フデアリマスケレドモ、厚生省ト軍部
ハ是等ノ出征兵ノ交替問題ニ付テ打合ガア
ルコトト思フデアリマスガ、發表ノ出來
ル範圍デ御答辯ヲ願ヒタイト思フデアリ
マス

リマス結果、我國ノ人口増加ニ多大ナル影
響ノアリマスコトハ、只今アナタノ仰セニ
ナリマシタ通りデアリマシテ、人口増加ノ
上カラ致シマスレバ、是ハ甚ダ面白カラス
結果デアリマスケレドモ、我國ノ此ノ聖
戰ノ目的ヲ貫徹スル上カラ致シマスレバ、
是亦已ムヲ得ナイコトデアアルコトハ御承知
ノ通りデアリマス、此ノ際ニ於テ出來得ベ
キ限リ交替セシメ、サウシテ少クトモ一二
箇月位郷里ニ歸ラシテ、人口増殖方面ニ國
家ノ爲ニ働イテ貰フト云フコトモ非常ニ良
イコトデアリマシテ、長期戦ニ於ケル外國
等ニ於ケル實際ノ例ト致シマシテハ、サウ
云フコトガアルト云フコトヲ能ク承知シテ
居ルデアリマスガ、我國ニ於キマシテモ
人口増殖ノ目的トシテ兵士ヲ郷里ニ歸ラシ
メルト云フ如キ制度ヲ執ツテ居ルカドウカ
ト云フコトニ關シマシテハ、陸海軍兩省ニ
於キマシテドウ云フ考ヲ持ツテ居ルカト云
フ點ニ付テハ、厚生省トシテ打合せ等ヲ致
シテ居リマセヌデ、其ノ邊ハ能ク承知シ
テ居リマセヌ、左様御承知ヲ願ヒタイノデ
アリマス

ガ、更ニ進ンデ是ガ一般各地ニ普及セシム
ルコトガ非常ニ適切ダト私ハ思フデアリ
マス、日本ハ古來結婚ニハ系統調査ト云フ
モノハ能クヤツタモノデアリマス、即チ結
核トカ、癩病ダトカ、或ハ精神病ナドハ何
レモ之ヲ嫌ツテ參ツテ居リマス、成ルベク
此ノ系統ノ者トハ結婚シナイト云フコトニ、
大體日本ハ古來ナツテ居リマス、然ルニ
花柳病ニ付テハ最近ハ大分ヤカマシクナツ
タヤウデアリマスルケレドモ、ソレ等ノモ
ノト比較シテ割合ニ重キヲ置カナイ缺點ガ
アルデアリマスルガ、之ヲドウ云フ具合
ニ御考ヘニナリマスカ、モウ一ツハ私ハ九
州デアリマスルガ、九州地方デハ今デモ單
リ病的ノ系統ノミデナク、結婚スル上ニ於テ
士族平民ト云フヤウナ封建的ナ考ガ、マダ
失セナイデアリマス、併シナガラ私ハ日
本ノ家族制度ヲ眞ノ血統、即チ病的ノ血統
デナク、日本精神ト云フヤウナ所謂血ノ流
レト云フヤウナ意味カラ言ヒマス、是ハ必
ズシモ排斥スベキ問題デハナクテ、又優生ト
特別ノ關係ヲ持ツテ居ルモノト私ハ考ヘル者
デアリマス、ソコデ私考ヘマスルコトハ、
明治十年ノ西南戦争ノ時ニ鹿児島、宮崎ハ
賊軍トナツテ西郷隆盛ニ應援致シマシテ、
アノ戦争ヲヤツタノデアリマス、維新ノ改
革ヲヤツタノハ主トシテ鹿児島、宮崎方面
ノ人達デアツタノデアリマス、サウ云フヤ
ウニ維新當時或ハ、西南ノ役マデハ、相當
偉イ人達ガ出タノデアリマスケレドモ、私
ハ宮崎縣デアリマスガ、最近鹿児島、宮崎
方面ニハ、ドウモ偉イ人間ガ出ナイヤウニ
ナツタノデアリマス、是ハ事實デアリマス、
是ハ一體ドウ云フ譯カト考ヘテ見ルト、十
年ノ西南戦争ノ當時、殆ド士族ハ出征ヲ致

シマシテ、サウシテ所謂優生ノ系統ト云フ
モノガ、全部戦死シタト云フ關係ガアルト、
私ハ今日考ヘテ居リマス、是ハ何デモナイ
ヤウナ例デアリマスケレドモ、優生ノ立
場カラハ、相當考ヘナケレバナラヌ問題デ
ハナカラウカト、日頃考ヘテ居ル一人デア
リマスガ、是等ノ點ニ付テモ、御意見ノア
ル所ヲ御伺シタイト思フデアリマス

○高野政府委員 優生政策ト云フ言葉ガゴ
ザイマシテ、成ベク立派ナ國民ヲ多クシタ
イト云フコトヲ研究シ、又實施スルノデア
リマスガ、本制度モ要スルニ良キ結婚ガ出
來テ、良キ子供ガ生レルコトヲ、窮極ノ目
標トシテ居ル譯デアリマス、法律ニ依リマ
シテ已ムヲ得ザル惡イ素質ノ者ノ結婚ハ、
子孫ヲ作ラナイヤウニシテ、國民ノ禍ヲ除
カウト云フ意味デ、所謂斷種ガ行ハレルノ
デアリマスガ、一面ニ於キマシテハ優秀ナ
ル者ノ結婚ヲ成ベク多クスルヤウニ指導ス
ル、斯ウ云フ意味デ結婚相談所、殊ニ健康
結婚相談所ト申シマスカ、斯様ナモノガ必
要ダト考ヘラレマスノデ、成ベク出來ルダ
ケ相談施設ヲ全國ニ置キタイト考慮シテ居
リマス、今全國ニ設ケラレツツアル機關ノ
中デ、保健所ト云フモノガゴザイマス、此
ノ保健所ト云フ所デハ生活萬般ヲ指導シテ、
健康ノ條件ヲ良クシヨウト云フデアリマ
スガ、結婚ノ問題ヲ持ツテ參リマシタナラ
バ、是モ出來ルダケ指導シヨウト云フコト
ガ、ヤハリ其ノ職務ノ中ニアルト私共ハ理
解シテ居ツタノデアリマス、必ズシモ結核
トカ疾病ノ豫防トカ、生活環境ノ改善バカ
リデナク、健康ナル生活ノ指導モ致シマス
其ノ一部ニハ、左様ナ問題モアツタヤウニ
考ヘマスシ、尙ホ將來ハ斯様ナモノモ、其

ノ方ニ役立ツカトモ思ヒマスケレドモ、是ハ特別ノ仕事デアリマスカラ、必要ナル所ニハ特別ノ目的、設備ヲ持チマシテ結婚相談所ヲ、段々作ツテ行クコトハ結構ト思フテ居リマス、マダ計畫ガ熟シテ居ル譯デハゴザイマセヌガ、明年度ニ於テハ、此ノ優生制度實施ノ準備トシテ持ツテ居リマス豫算中カラ、或ハ標本ノ如キモノモ多少設ケテ見タイ、斯ウ考ヘテ居リマス、ソレカラ花柳病ノ點デゴザイマスガ、固ヨリ花柳病ヲ持チマシタ者ガ結婚ヲスル、即チ家庭ノ中ニ花柳病ノ入りマスコトハ、優生上カラ考ヘマシテ恐レベキコトデアリマスカラ、此ノ結婚ノ相談所ガ出來マシタ時ニハ、花柳病ヲ持ツタ者ハ、病人ノ儘デハ結婚ハシナイ方ガ宜イト云フヤウナ指導ヲ致シタイト思ヒマス、ソレハ然ラバドウスルカト云フト、完全ナル治療ノ上ニ結婚ヲシタラ宜シイ、其ノ爲ニハ或ハ花柳病デナイト云フ健康證明書ヲ、オ互ガ示シ合フト云フヤウナコト、其ノ他實際ニ、兎ニ角花柳病ノナイコトヲ知り合ツタ上デ、結婚生活ニ入ルヤウナ指導ヲ致シタイト思ヒマス、尙ホ優秀ナル家系カラ優秀ナル子孫ノ出マスコトハ、御話ノ通りデアリマス、若シ不幸ニシテ優秀ナル人達ガ、何等カノ理由デ減少致シマシタ折ニハ、優秀ナル子孫ガ少クナルト云フヤウナ實際ノ結果モ、往々ニシテアルデアラウト斯ウ考ヘマス、隨ヒマシテ結婚指導ニ於テハ總テノ意味ニ於テ、成ベク優良ナル素質ヲ持ツタ者、又優良ナル健康状態ノ者ヲ選ビ合ツテ、結合致シマスヤウナ指導方針ヲ執リタイト考ヘマス

○松政府委員 今ノアナタノ御質問ノ中ニ、士族ガ段々其ノ數ヲ減ジタ、若クハ十年戰爭ノ際ニ優良ナル士族ノ方ガ討死等ヲシタ結果、特ニ大西郷ニ仕ヘテ戰爭ヲシタ所ノ鹿兒島、宮崎等ニ優秀ナル人ガ缺乏シテ居ルヤウナ感じガアルト云フ御話デアリマシテ、之ニ對シテ何カ厚生省ハ考ヘテ居ルカト云フ御話ガアツタヤウニ、拜聴致シタノデアリマスガ、十年戰爭ノ際ニ鹿兒島宮崎ニ於ケル優秀ナル士族ノ方ガソレニ味方ヲシテ、其ノ結果討死ヲシタト云フヤウナコトガ、明治ノ歴史ニ殘ツテ居リマスコトハ、能ク承知ヲ致シテ居リマスガ、併シソレガ爲ニ私ハ鹿兒島ヤ宮崎ニ非常ナ偉イ人ガ出テ居ナイト云フコトハ、直チニ伊東委員ノ御説ニ賛成ハ出來ナイノデアリマス、中ニハ隨分隱レタル優秀ナル立派ナ方ガアルガラウト思フノデアリマスガ、其ノコトハ私能ク存ジマセヌ、私モ九州方面ニ長ク奉職シテ居リマシタ關係上、地方ニ於テ士族平民ト云フコトニ付テ、非常ニ差別的考ヘト言ヘバ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、多少農業トカ商業トカニ從事スル人々ヲ、士族ノ人々ガ卑シムヤウナ風習ガアツタコトヲ、心覺エニ覺エテ居リマス、私自身ノ家ハ士族デアリマスガ、併シ斯ウ云フヤウナコトハモウ近來ハ忘レテシマヒマシテ、今デハ全ク士族ト云フコトハ、アツテナキガ如シト云フヤウナ狀況ニアリマシテ、現ニ私共肩書ニハ士族トアルケレドモ、アツテモナクテモ同ジダト云フ考ヲ持ツテ居リマスシ、殆ド今デハサウ云フ昔風ノ考ヲ持ツテ居ル人ハナイヤウニ思フノデアリマス、唯併シアナタノ仰セニナルヤウニ、士族デアル人ノ中ニハ、非常ニ優秀ナル體格ヲ持ツタ方ガ多イノデアリマス、ソレハ武ヲ以テ祿ヲ食ミ、朝カラ晩マデ體格ヲ鍊ツテ、武

ノ爲ニ一生鍛ヘルト云フヤウナコトノ爲ニ、非常ニ體位ノ向上ト云フモノガ出來デ、優秀ナル體格ヲ保持シテ居ル人ガ多クアツタト云フコトハ、是ハ事實ノヤウニ當時子供心ニ私ハ思ツテ居リマシタ、サウ云フヤウナ狀況デアツタノガ段々文化ト云フ方面ニ向ツテ、而モ知育ノ方面ニ人ガ心ヲ用フルヤウニナリ、又文部省モ特ニ體育ヨリモ、知育ニ重キヲ置クト云フヤウナ傾ガアツタ結果、段々體位ト云フモノガ向上出來ナクナツテ、低下スル狀況ニアツタノデハナカラウカト思ハレルノデアリマス、サウ云フヤウナコトガ政府ノ意ニ介スル所トナリマシテ、今日日ノ厚生省ト云フモノモ獨立シテ、今日體位ノ向上ト云フコトニ向ツテ特ニ厚生省ガ力ヲ入レテ、今回國民體力管理案ト云フヤウナ劃期的ナ法案ヲ出シ、又今回ノ國民優生法案ヲ提出シテ御審議ヲ願ヒマス意味モ、ヤハリ今アナタノ御質問ニアツタヤウナ趣旨ヲ徹底スル方法トシテ、厚生省ガ斯様ナ考ヲ以テ御審議ヲ願ヒツツアルノデアリマスルカラ、アナタノ御趣旨ハ厚生省ノ考ヘテ居ル考ト能ク一致シテ居ル、斯様ニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス

○伊東委員 政務次官ノ御話能ク分リマシタガ、尙ホ此ノ優生結婚相談所ノ擴大強化ト云フコトニ付テハ、ソコニ一ツ今後十分顧慮シテ戴キタイト思フノデアリマスルガ、之ニ關聯致シマシテ、私ハ近親結婚ノ弊、早婚ノ弊晚婚ノ弊、是ハ會テ相當私研究シタ時代ガアルノデアリマス、近親結婚ノ弊ハ是ハ民法デ此ノ弊ヲ改メルヤウニ禁止シテアルノデアリマスガ、併シ近親モ素質ノ良イ者同士ノ近親デアレバ宜イ等デアリマスケレドモ、ドウモ此ノ理窟ハ中々難シイヤウデアリマス、私色々調べタ所ニ依リマス、近親結婚ノ弊ノアル町村部落モ段々アリマス、私ハ全國的ニ調べタコトハアリマセヌガ、是ハ近親結婚ノ弊ノ現ハレテ居ル町村トカ、部落ガ分ツテ居リマスレバ伺ヒタイ、私ノ丁度近所ノ村ニ鶴戸ト云フ村ガアリマシテ、此處ニ吹毛井ト云フ百二十戸位ノ部落ガアリマス、是ハ官幣大社鶴戸神宮ノ傍ニアル小サイ部落デアリマスガ、昔カラ此ノ部落ノ人達ハ、他所ニ嫁入スレバ流産スルトカ、難産スルトカ、或ハ難病ニ罹カルトカ云フ詰ラナイ傳説ガアツタ爲ニ、ツイ〳〵他所ニ嫁入ラスルコトヲ嫌ツタノデアリマス、其ノ結果已ムナク其ノ部落ハ近親結婚ヲシナケレバナラナイト云フ關係デ、全部親類同士デアリマス、殆ド親類デアリマス、其ノ結果トシテ學校アタリニ行ツテ調べテ見マシタガ、小學校ハ其ノ部落ト其ノ部落以外ニ四ツノ部落ノ者ガ集ツテ居リマスルガ、其ノ近親結婚ノ弊ノアルト見做スベキ部落ノ生徒ニ限ツテ、低脳ガ多イシ、白痴ガ多イシ、學業ノ成績ガ極メテ惡イノデアリマス、ソレカラ私ハ運動會ニモ何回モ行ツテ見マシタガ、運動會ニ行ツテ見マシテモ、其ノ部落ノ者ニ限ツテ優勝シナイ、一等二等ハ能ウ取レナイデ、後カラ走ツテ居ル、是ハ體格ガ惡イカラダト云フ私ハ結論ニ達シタノデアリマス、私其ノ部落ニハ何回モ參リマシテ、其ノ弊ヲ説イテ、今デハ段々他處ノ者トモ結婚スルヤウニナツテ居リマス、斯ウ云ツタ部落ガ他ニモ澤山アルト思ヒマスルガ、厚生省デ御調ニナツテ居ルモノガアレバ御示シテ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツ早婚ノ弊害ノ問題デアリマス、

早婚ハ生理的ニモ宜シクナイ、經濟的ニモ宜クナイ、併シナガラ特徴トシテハ人口増殖ノ立場カラ云ヘバ、至極宜イコトデアリマス、モウ一ツハ農村青年ノ離農、所謂都會集中ノ弊ヲ改メル方法トシテハ早婚サセルコトガ一ツノ方法ト私ハ考ヘテ居リマス、併シ早婚ノ弊ト致シマシテ、生理上ニハ關係ガナイト申シマシテモ事實上ドウモ早婚ノ弊害ノアル部ガアルノデアリマス、日本デ一番徴兵検査ノ合格率ノ少イ所ハ鹿兒島縣ノ大島郡デアリマス、ソレカラ私ノ近所ニ田野村ト云フ所ガアリマスガ、此ノ村ハ私ノ縣デハ一番徴兵検査ノ合格率ガ惡イノデアリマス、偶ハ入營致シマシテモ輻重輸卒位デ、所謂歩兵トカ何トカニハナレナイ、ソコデハハラカシイト思ツテ私何回モ實地調査ニ參リマシタガ、段々調べテ見マスルト、五十、六十、七十ト云フヤウナ者ハ皆非常ニ若イ時ニ結婚ヲヤウテ居リマス、女ガ十五六歳、男ハ徴兵検査前ニ結婚致シテ居リマス、此ノ村ニ限ツテ兵隊ニ行ク前ニ必ず結婚スルコトヲ獎勵シテ居ル事實ガアルノデアリマス、更ニ又此ノ村ニハ非常ニ背ノ低イ不具者ノ出來ルコトモ段々發見致シマシタ、體力ニハ差支ナイガ背ガ伸ビナイ、其ノ結果ガ輻重輸卒ニハ採ラレルケレドモ、其ノ他ノ兵種ニハ合格シナイト云フコトヲ發見致シマシタ、是等ノ早婚ノ弊ヲ改メルコトニ付テノ御意見、及ビ斯ウ云ツタ町村或ハ部落ガ全國ニ多數アリハシナイカト云フ問題、モウ一ツハ晩婚ノ問題デアリマスルガ、晩婚ト云フモノハ文化ガ進メバ進ム程晩婚ノ弊ニ陷リマス、晩婚ハ人口増殖ノ上ニ、アツテハナラナイコトダト思フノデアリマスアレドモ、是ハ學問ノ關係

ヤラ收入ノ關係等デ、色々社會上ノ環境カラ晩婚ニ陷リ易イデアリマス、之ニ付テ都ノ方ハ別ト致シマシテ、ドウ云フ工合ニ晩婚ノ弊ガアルカト云フコトニ付テ段々調べテ見マシタガ、是ハ優生的ノ問題デアリマセヌ、唯社會的ノ問題トシテ、田舎ノ方デハ高等女學校、師範學校ヲ卒業シタ女ノ先生ガ女ノ中ノ最モ教養アル階級デアリマスガ、此ノ階級ハ何時トハナシニ晩婚ニ陷リ、其ノ結果ハ是等女教員ニ限ツテ、ドウモ嫁入後ノ結果ガ十中八九マデ良クナイ、其ノ良クナイト云フコトハ、社會的ニハ關係ガアリマセヌアレドモ、結婚改造ノ立場カラ此ノ點ニ付テ聽イテ見タイト思フノデアリマス、是ハ國民結婚相談ト最モ關聯ノ多イ問題デアリマスカラ、政府ノ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○高野政府委員 近親結婚、晩婚、早婚、是等ガ何レモ弊害ノアルコトハ御示ノ通りデアルト存ジマス、殊ニ其ノ實際ノ例證マデ御舉ゲ下サイマシテ、私共洵ニ啓發サレタコトデアリマスガ、厚生省ニモ此ノ方面ノ調査ノ十分ナモノガ餘リゴザイマセヌガ、唯手許ニアル資料ニ依リマスト、八丈島其ノ他離島ニハ、概シテ近親ノ結婚ガ多ウゴザイマシテ、而シテヤハリ之ト恐ラク關聯シテ居ルコトト思ヒマスガ、惡疾ノ發生率ガ多イト云フ事實ヲ見テ居リマス、丁度只今御話ノ點ト一致シテ居ルヤウニ存ジマス結婚指導方針トシテハ、申スマデモナク最モ適正ナル條件、年齢的或ハ社會的ノ條件等モアリマセウガ、就中優生學的條件ヲ十分ニ完備シテ其ノ指導ヲ進メテ行クヤウニ努メタイト考ヘテ居リマス

○伊東委員 私ノ縣ニ五箇莊ト云フ所ガアリマスガ、是ハ平家ノ落武者ガ寄集ツテ一部落ヲ作ツタ所デアリマス、隨テ此處ハ近親結婚ヲヤウテ居リマス、近親結婚ヲヤウテ居リマス結果ガドウカト云フト、是ハドウモ私共が見タヨリモ反對デ、惡イ結果ガ現ハレテ居ナイノデアリマス、ソレハ私ノ思ヒマスル所デハ、所謂優生ト云フ問題ガ茲ニ現ハレテ居ル、良イ血統ト良イ血統同士ノ結婚デアレバ差支ナイ、惡質ノ素因ヲ除外スルト云フ事實ガ、ヤハリ現ハレテ來タ點ヲ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマスガ、此ノ種ノ例ハ外ノ所ニモ段々アルカト思ヒマス、私ハ他ノ方面ハ調べタコトガナシカラ分リマセウガ、大體アルト考ヘテ居リマス、尙ホ以上ノ結婚問題ト關聯致シマシテ御尋致シタイコトハ、獨身者ノ防止對策デアリマス、是ハ人口政策ト密接ニ離ノ關係ガアリマス、即チ獨身者ガ多イトハ人口ノ繁殖ガ適正デナイト云フコトニナリマス、惡イ者ハ斷種致シマシテモ、良イ者ヲ獨身ノ儘デ置クコトハ宜クナイト思ヒマスガ、是ハ厚生ト云フ立場カラドウ云フ工合ニ此ノ對策ニ付テ御考デアリマスカ、御同致シマス

○高野政府委員 極ク年齢ノ長ジタ獨身者ガ社會ニ澤山アリマスコトハ、是ハ社會ノ弱點デアラウト思ハレマスノデ、色々ノ工夫ヲ凝シマシテ、結婚適齡者ハ結婚シ得ルヤウナ社會情勢ヲ作ラネバナラヌコトト思ヒマスガ、實際ノ方策ニ付キマシテハ、是カラ人口問題研究所等ニ於キマシテ色々研究サレ、立案サレルコトダラウト考ヘテ居リマス

○伊東委員 先程花柳病ト結婚關係ニ付テ御話ガアリマシタガ、モウ少シ御尋シテ置キタイノデアリマス、一體花柳病ハ農村ガ多イノカト云フ問題デアリマス、宮崎縣ノ最近ノ調査ニ依リマスト、農村ニ梅毒ノ遺傳者ガ非常ニ多イト云フコトヲ發見致シテ居ルノデアリマス、是ハ宮崎縣ノ衛生課ガ三ノ點ハ他ニモ段々アルノデハナカラウカト思フノデアリマシテ、是ハ農村衛生上相當檢討スベキ問題ダト思フノデアリマス、尙ホ此ノ花柳病ハ年齢、環境ニ依ツテ異ツテ居リマス、特ニ二十歳カラ三十歳ノ者ガ一番其ノ數ガ多イトデアリマスガ、是ハ性的ノ關係モアルコトデアラウト思フノデアリマス、是等ノ關係ニ付テハ無論花柳病豫防法ト云フ法律ガアリマスアレドモ、是ノミデハ解決ガ出來ナイ、一番良イ方法ハ私ハ結婚關係ニ依ツテ是等ノ性病者ノ豫防ハ非常ニ效果ガアルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ドウ云フ工合ニ御解釋デアリマスカ、モウ一ツ花柳病ノ傳染系統ノ本體ニ付テハ、是ハ理窟ヲ言フト難カシイノデアリマスカラ、簡單ニ御答シテ戴ケバ宜イノデアリマスガ、是ハ娼妓、或ハ藝者、或ハ私娼、密淫賣、何レノ系統ガ一番多イトデアリマスカ、最近形式上ノ廢娼ガ日本デハ數縣行ハレテ居ルノデアリマス、是ハ即チ官僚ノ「テンプル・プラン」ノ満足慾カ、或ハ官僚ノ報告上ノ美名慾カニ出發シテ居ルモノト考ヘテ居リマス、政府ハ名バカリノ廢娼デモヤル方ガ宜イト考ヘテ居ルノデアリマスカ、廢娼ト云フコトハ獨リ花柳病ノ豫防バカレデナク、道德上ノ關係ガ多分ニ含マレテ居ルノデアリマスアレドモ、是等ノ點ニ付テドウ云フ工合ニ解釋サレテ居ルノデ

アリマス、是ハ今度ノ青少年雇入制限令等ニモ非常ニ關係ガアツテ、他ノ委員會デハ議論サレタ點デアリマスガ、一應此ノ點ニ對スル御所見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○高野政府委員 花柳病ハ都會ニ稍、多イト云フコトガ一般ノ意見ニナツテ居リマスルガ、小地域のニ見マスレバ、是ハ必ズシモ都會ノ、花柳病ガ多イトモ限ラスト思ヒマス、特殊ノ漁村ノ如キ所ハ随分花柳病ノ多イ所ガゴザイマス、是ハ花柳病蔓延ノ根元ガ、簡單率直ニ申シマスルト、夫婦外ノ性交ガ廣ク行ハレルカ、行ハレナイカデ左右サレルト私共ハ存ジテ居リマス、隨テ結婚生活ガ非常ニ早く完成シテ、而モ其ノ一夫一婦ノ性生活ガ確實デアレバ、花柳病ハ自然ナクナツテシマフモノナデアリマス、然ルニ此ノ世ノ中ノ實情ハ必ズシモ理想通りニハ參リマセヌデ、淫靡ナル生活ガ多ウゴザイマスカラ、ソコニ病毒散漫、病毒蔓延ノ根源ガアルコト存ジテ居リマス、隨テ賣笑ノ多イ所ニ花柳病ガ多イト云フコトハ自ラ事實ト考ヘラレマス、尤モ賣笑デゴザイマセヌデモ、淫靡ナル風習ガアツテ賣笑ニ類スル行為ガアレバ同様デアリマスガ、社會ノ全體ノ狀況ト致シマシテハ、賣笑婦ガ多ケレバ多イ程花柳病ガ多クナル、而シテ其ノ賣笑者ノ健康状態ガ良イカ、惡イカニ依ツテ非常ニ差ガ生ズル譯デアリマス、衛生問題、花柳病豫防ノ問題ノミカラ申シマスレバ、公娼ノ方ガ私娼ヨリモ安全デアリマス、是ハ事實デアリマス、健康検査ニ依リマシテモ、公娼ハ検査人員ノマア二%位ガ有毒者ト考ヘラレマスルガ私娼 一私娼ト申シマシテモ是ハ色々アリ

マスガ、先ヅ平均シテ申シマスルト、私娼ハ其ノ有毒率ガ更ニ高イノガ常デアリマシテ、殊ニ低級ナル私娼ニ於テハ衛生状態ガ甚ダ惡イノヲ常トスルデアリマス、斯様ナ譯デアリマスカラ、私共ハ單ニ衛生ノ立場カラハ公娼、私娼ノ存廢ノ問題ヲ色々議論スルコトハ固ヨリ困難デアリマスガ、假ニ日本ノ從來ノ政府ノ方針ノヤウニ色々理由カラシマシテ、公娼ヲ漸減スルト云フ方針ヲ執ルト致シマシテモ、花柳病豫防ノ立場カラハ、其ノ娼婦ニ對スル健康診斷ハ現在ノ公娼ニ向ツテ行フヨリモ、モツト峻嚴デナケレバナラス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、今ノ娼妓ニ對スル現行取締以上ノコトヲ一般ノ賣笑婦ニセネバ、花柳病豫防ノ效果ヲ擧ゲ得ナイデアラウ、斯様ニ考ヘテ花柳病豫防法ノ改正等ヲ立案スルニモ、其ノ氣持デ當ツテ居ル次第デアリマス

伊東委員御承知ノ如ク前議會ニ有志代議士諸君カラ御提案ニナリ、サウシテ反對ノ代議士諸君トノ間ニ猛烈ニ論議ガ重ネラレタコトハ、アナタノ御承知ノ通りデアリマシテ、此ノ事ニ對シマシテノ政府ノ方針ト致シマシテハ、今豫防局長ノ御話ニ相成リマシタヤウニ、政府ハ漸減主義ヲ執ツテ居ル、斯ウ云フ方針デアアルヤウニ私モ承知シテ居ルデアリマスガ、中々是ハ一朝一夕ニ行ハレル問題デナイト私ハ確信シテ居リマス、多クノ公娼廢止ノ法案ヲ御提出ニ相成リ、其ノ議案ノ説明、若クハ委員會ニ於ケル論議ノ焦點ヲ承ツテ見ルト、廢止シナケレバナラナイト云フ理由ガ随分數限リナク唱ヘラレテ居ルコトハ、御承知ノ通りデアリマス、其ノ中デモ世界ノ文明國ノ仲間ニ伍シテ居ル一等國トシテノ日本ノ名譽ヲ保持スル上カラモ、公娼ナドヲ認メテ公然ト淫ヲ賣ラセルト云フガ如キコトハ、實ニ不都合千萬デアル、外國ニハサウ云フ例ハナイノダ、斯ウ云フヤウナコトモ其ノ理由ノ一ツニ算ヘラレテ居ルヤウニ思フデアリマス、或ハ有力ナ代議士デ、ヤハリサウ云フヤウナ主張ヲセラレテ居タガ、萬國議員會議ノ議員團長トシテ外國ニ旅行セラレマシテ、外國デ公然ト公娼ガ認メラレテ居ル所ヲ觀察シテ歸リマシテ以來、モウサウ云フコトハ言ハナクナツタデアリマス、私モ實ハ昭和十二年ニ外國ニ參リマシテ、獨逸ノ「ハンブルグ」デ公娼ノアル所ヲ領事ノ案内見セラレマシテ、實ハ驚イタデアリマス、又一面公娼ノナイ各大都會ノ私娼ノ狀況等モ話ニ聞キマシテ驚イタデアリマス、公娼ノ廢止トカ云フヤウナコトニ付テ、我國代議員諸君ノ間ニ議論セラレテ居ルガ、

是ハ餘程慎重ノ態度ヲ以テヤラナケレバ大變ナコトニナル、斯様ニ考ヘテ參ツタデアリマス、厚生省ノ立場ト致シマシテ眞ニ民族ノ優生、國民體力ノ向上ト云フコトヲ考ヘルニ於テハ、果シテ廢スルコトガ宜イカ、若クハ暫ク之ヲ此ノ儘ニシテ置イテ、十分ノ豫防設備ガ完備シタ後ニ之ヲ廢止スルト云フ漸減方針ヲ執ルノガ正シイカト云フコトニ付テハ、尙ホ一段ノ研究ヲ要スル問題デアラウト私ハ考ヘテ居ルデアリマス、是ガ政府全體ノ方針デアルトカ、厚生省全部ノ方針デアルトハ申上ゲマセヌケレドモ、私共ノ氣持トシテハ、是ハ輕々ニ斷案ヲ下スベキモノデハナイ、餘程研究調査シタ上デナケレバナラス、是ハ教育ノ方面、體育ノ方面、或ハ道德ノ方面等ノ各方面カラ慎重審議ノ必要ガアル、斯様ニ考ヘテ居ルデアリマス、御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○伊東委員 今ノ名バカリノ廢娼問題ハ……

○高野政府委員 是ハ政府ノ方針トシテハ時々大臣等カラ御答辯ガアリマスガ、日本ノ政府トシテハ公娼ハ漸減主義デアルト云フヤウニ豫々承ツテ居リマスカラ、其ノ程度ニ御諒解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○伊東委員 名バカリデモ宜イノデスカ

○高野政府委員 イヤ私ノ申上ゲマスノハ、宜イ惡イデゴザイマセヌ、サウ云フ方針ヲ政府ガ執ルト致シマシテモ、私共ハ賣笑者ノ健康状態ハ現在ノ公娼ヨリモ以上嚴重ニシナケレバナラス、斯ウ云フ衛生上ノ立場ノミヲ、私ノ答辯トシテハ申上ゲタイト思ヒマス

○一松政府委員 一寸其ノ點デ御答致シマス、公娼ヲ廢止スルカセヌカト云フ問題ハ

○伊東委員 次ニ衛生局長ニ御尋致シマス、農村衛生ノ問題デアリマス、最近農村衛生ガ洵ニ破壞サレテ參リマシテ、常識カラ言ヒマスルナラバ、田舎ノ方ガ空氣ガ良クテ健康地ダ、斯ウ云フ工合ニ解釋サレテ居リマスケレドモ、事實ハサウデハナイノデアリマス、乳兒ノ審査ノ統計ヲ見マスルト、是モ都會ヨリハ農村ノ方ガ惡イ、是ハ最近ノ山形縣ノ調査デアリマスルガ、體力不良兒ガ市部ハ二七%、郡部ハ三八%、良兒ハ市部ガ一六%、郡部ガ一九%ト云フヤウナ數字ヲ現ハシテ居ルヤウデアリマス、尙又徴兵検査ノ結果カラ致シマシテモ、農村ノ方ガ新シイ食物ト良イ空氣ニ依ル健康地デアルカラ、農村ノ壯丁ノ方ガ宜クナケレバナラナイノガ、其ノ結果ニ於テハ農村ノ方ガ弱體化シテ來タ、殊ニ農村ニ結核ガ多

クナツト云フヤウナ事實ガアルノデアリマス、尙ホ小學校ノ生徒ニ就イテ調査致シマシテモ、是ハ私ノ縣デ調査シタ統計モアリマスルガ、寄生蟲病ガ非常ニ多イ、大體六割五分位ガ農村ノ小學校ノ生徒ノ持つテ居ル寄生蟲ノ率デアリマスケレドモ、中ニハ八割五分モ寄生蟲ニ罹ツテ居ル所ガアリマス、斯ノ如キハ實ニ大キナ問題デ、斯ウ云ツタコトガ土臺ニナツテ、段々農村ノ衛生ガ破壊サレツツアルト思フノデアリマス、勿論是ハ當局モ御氣付デアラウト思ヒマサルガ、是等ニ對スル對策ヲドウ云フ工合ニサレノデアリマスルカ、御伺シタイノデアリマス

○林政府委員 只今御述ニナリマシタ諸般ノ點ニ付キマシテハ、ソレモ、別箇ノ對策ヲ講ジテ居ル譯デアリマスルガ、最後ニ申サレマシタ寄生蟲ノ豫防ニ付キマシテハ、御承知ノ通りノ農村ノ狀況デアリマスノデ、本年度豫算ニ相當額ヲ計上致シマシテ、農村ニ於ケル寄生蟲ノ豫防ニ努メタイト考ヘタ次第デアリマス、其ノ要求シタ豫算ハ既ニ御可決ヲ得タ譯デアリマス、又第二ニ全般ノ問題ト致シマシテ、農村ニ於ケル現在ノ營養方面ニ關スル確カナ指導方針ヲ立テタイト云フ氣持カラ、指導ノ點ニ重點ヲ置イテ、先年來東北六縣ニハ政府ノ費用ヲ以テ其ノ方面ノ吏員ヲ各府縣ニ置キマシテ、農村ノ營養指導ニ當ラセテ參ツタノデアリマスガ、特ニ我國ニ於ケル農村否縣全體トシテ憂慮スベキ狀態ニアルト考ヘマシタ沖繩縣ニ付キマシテ、今年度新ニ此ノ方面ノ施設ヲ爲スベク豫算ヲ要求シテ、既ニ御可決ヲ願ツタヤウナ次第デアリマス、諸般ノ點カラ現在ノ農村ニ對スル足ラザル點ヲ補

ツテ參リタイト存ジテ居リマス、唯大變廣汎ナ問題デアツテ、特ニ全體ノ社會ノ狀態ガ健康ニ歸一シテ參ルコトデアリマスカラ、東北方面ニ付テノ建築ノ様式ヲ如何ニ改善スルカ、北陸方面ニ於ケル農山漁村ニ於ケル現在ノ建築法ヲ如何ニ變ヘルカト云フ建築ノ問題ニ付キマシテモ、既ニ學術振興會ヨリ熱心ナル援助ヲ受ケマシテ、前後三年ニ亙ル調査研究ノ結果、茲ニ漸ク農産漁村ニ各、別ニ適當トスル建築物ノ様式ヲ考案致シマシテ、現在ノ家屋ノ修繕ニ當リマシテモ其ノ様式ニ依ルベク指導ヲ致スコトニ相成リマシテ、來ル二十三日ニ既ニ宮城縣ニ於テ是ガ大工ノ講習會ヲ始メルト云フ工合ニ、各方面カラ現在ノ農村ノ衛生狀態ヲ改善シテ、其ノ結果綜合致シマシテ地方ノ方々ノ體位ノ向上ヲ圖ル、斯ウ云フ工合ニナツテ居ルノデアリマス

○青木委員 一寸關聯シテ——衛生局長ニ伺ヒマスガ、寄生蟲ノ中デ最も多イノハ蛔蟲ドラウト思ヒマスガ、蛔蟲ニ次グベキモノハ何デセウカ

○林政府委員 只今申サレマシタ蛔蟲ノ多イコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、アトノ順位ハ今一寸分リマセマスガ、後刻調べマシテ申上ゲマス

○八木委員 伊東委員ニ一寸御相談致シマス、大臣ハ御用ガオアリナサルノデ、午前中ニ大臣ニ質問シテ居ルノガ繼續シテ居ルノデスガ、アナタノ御質問ハ大臣ヲ要セスト云フ話デアリマスカラ、少シ御譲リニナツテ戴キタイト思ヒマスガ……

○伊東委員 御譲リシマス

○八木委員 長 徳山山川君

○山川委員 私ハ午前中カラ大臣ニ御伺申

上ゲテ居リマスガ、アト一二點申上ゲタイト思ヒマスガ、先程ノ祕密主義ガ惡イト云フコトニ付テノ質問ガ終ツテ居ラヌノデアリマス、多少意見モ混ルカモ知レマセマスガ、御許シ願ヒタイ、此ノ條項ノ中ノ祕密主義ヲ取ルコトガ出來ナイト云フノデアリマシタラ、ソレニ代ルベキ何カ他ノ方法ハナイデアリマセウカ、他人ニ迷惑ヲ掛ケルコトヲ防グ方法ト致シマシテ、斷種ヲ行ウタ者ノ原簿ハ國ニアルカ府縣ニアルカ、必ズアルト思ヒマス、其ノ原簿ヲ他ニ漏サナイト云フ方法カ何カノ條項ヲ定メテ、正當ナ請求ニ對シテハ、ソレニ準據シテ、是ハ斷種シテアル、ナイト云フコトヲ示スコトノ出來ルヤウナ方法ヲ加ヘルコトハ出來ナイデアリマセウカ、是ガ一ツ、ソレカラ中途ニ發表サレマシタ所ノ、斷種シテ居ル者ニ結婚ノ申入ガアツタ時ニ、家ノ息子ハ斷種シテアリマスガ、家ノ娘ハ斷種シテアリマスガ、ソレデモ宜シイカト云フコトヲ先方ニ通知スル義務ガアル、斯ウ云フ方法ヲ行キマスカ、ソレトモイツソ祕密主義ヲ執ルカ、或ハ戸簿ニ登錄スルト云フ所マデヤツテ、社會ヲ欺カナイヤウニスルカ、何レノ方法デモ宜シイ、或ハ他ノ從來出來テ居ル法律ニ抵觸スル廉ガアルカラ行ハレナイト云フコトハ除カナケレバナラスガ、何カノ方法ニ依ツテ之ヲ明ニスル途ヲ開ク必要ガアルト思フノデアリマスガ、私ノ今考ヘテ居リマスノハ此ノ三ツデアリマスガ、其ノ他ニ良法デモアレバソレモ共ニ御答辯ヲ願ヒタイ

○吉田國務大臣 午前中カラ色々御意見ヲ伺ツテ居ルノデアリマスルガ、事法文ノ解釋ニ關スル點ガ少クナイカト思フノデアリ

マス、此處ニ「故ナク其ノ職務上取扱ヒタルコトニ付知得シタル人ノ祕密ヲ漏泄シタルトキハ」トアリマス、是ハ醫師法其ノ他ノ方面ニ於キマシテモ同様ノ規定ガアリ、祕密漏洩ト云フコトガ違法デアルカドウカト云フコトハ、正當ノ理由ガナクシテ其ノ職務上取扱ツタコトニ付テ知ツテ居ル他人ノ祕密ヲ漏洩シタ場合ヲ規定スルノデアリマス、ドウ云フ場合ガ正當デアリ、ドウ云フ場合ガ正當デナイカト云フコトハ、詰リ法文解釋ノ問題ニナルノデアリマシテ、是ハ今回初メテ用ヒラレタ法令デハナイノデアリマス、醫師法ニ於テモ同様ノコトガアルノデアリマシテ、一切取扱ツタ祕密ヲ漏洩シタナラスト云フコトデモナイノデアリマス、法ノ運用ト申シマスルカ、解釋ト云フモノハ、自ラ一定ノ決ツタ取扱ノ程度ト云フモノガアルト私ハ考ヘルノデアリマス、自分ガ其ノ法制上ノ專門ノ意見ヲ申上ゲル譯デハゴザイマセヌケレドモ、法ノ趣意ト致シマシテハ、斷種ヲセラレタ人ト相手方ガ知ラナイデ婚姻ヲシテ、相手方ニ失望ヲ與ヘルト云フコトハ成ベク避ケナケレバナラスコトト思ヒマスルノデ、此ノ法文ノ運用ニ當リマシテ、ドノ限界ヲ以テ正當ナ理由ガアリトスルカ、或ハ故ナクトスルカト云フコトニ付キマシテハ、司法當局トモ連絡ヲ取リマシテ、運用上又立法ノ趣意ヲ誤ラヌヤウニ取扱フコトガ出來得ルト思フノデアリマス、只今御例示ニナリマシタ二三ノ方法ノ何レヲ採ルト云フ確タル具體的ノ御返事ヲ即席ニ申上ゲル譯ニハ行キマセマスガ、大體ノ心組ミハサウ云フヤウニ考ヘタラ宜シイカト考ヘマス

○山川委員 只今ノ十九條ノ問題ニ付キマ

シテハ先程政府委員ヨリ御答辯ヲ戴キマシ
タコトト略、同ジ御答辯デアリマス、是ハ十
九條ノ法律ガ出來ルモノナリトシテノ後ノ
運用ニ付テノ只今御答辯デアツタノデアリ
マス、此ノ十九條ヲ拵ヘルカ拵ヘナイカハ
吾々ノ手中心アル權利デアリマスカラ、是
ガ必要ナリヤ否ヤ、邪魔ニナルカナラスカ
ト云フコトヲ今研究ヲ致スガ爲ノ質問デア
ルノデアリマス、此ノ法律ヲ作ツテ不都合
ノナイヤウニ運用シタイト云フ御答辯デア
ルガ、私共ハソレヨリモ、此ノ法律ヲ作ル
作ラヌト云フヨリハ、先決問題ト致シマシ
テ、斷種ヲ行ツタ者ヲ知ラズシテ貰フト云
フコトハ、其ノ家ニ取ツテハ重大ナル不幸
デアリマス、斯カルコトヲ防グ上ニ於テ、
必要ナル法律ヲ外ニ拵ヘルカ、之ニ加ヘル
カ、何カシナケレバナラス、其ノ意味ニ於
テ此ノ十九條ガ邪魔ニナルノナラバ、除カ
ナケレバナラス、斯ウ云フヤウニ思フノデ
アリマス、何處マデモ私ハ秘密一點張りデ
ヤルト云フコトハ人間ノ道トシテ忍ビ難イ
ト思フノデアアル、家族制度ヲ尊重シマス我
國ニ於キマシテ、結婚問題ト云フコトハ
非常ニ大切ナル問題デアリマスルガ、思フ
ニ此ノ種ガ殘ルカ殘ラヌカ、自分ノ所ノ娘
ガ斷種シテナクテモ婿サンガ斷種シテ居レ
バ何ニモナラス、是ハ絶對的デナイ、相對
的ノ問題デアリマス、ソレカラ自分ノ方ガ
斷種ヲシタル所ノ娘ヲ擱ンダラ、ソレデ子
ガ出來ナイト云フ不幸ニ陥ルノデアリマス
ルカラ、ドウゾ其ノ意味ニ於テ之ヲ除キタ
イト云フ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、此
ノ十九條ニ付キマシテハサウ云フ疑點ヲ持
ツテ居リマスルノデ、此ノ十九條ヲドウシ
テモ作ラナケレバ他ノ法律其ノ他ニモ差支

ヘルト云フノデアリマシタレバ、モウ一
項條項デモ設ケテ尋ネテ來タ先方ヘ之ヲ通
知シテヤル所ノ方法ト、ソレカラ健康登記
ノ方法トヲ採用スルト云フヤウナコトニ付
キマシテノ當局ノ御意見ヲ、モウ一ツ確メ
テ置キタイノデアリマス

○吉田國務大臣 當局ト致シマシテハ、此
ノ法律ノ條文ト致シテハ職務上取扱ツタコ
トニ付テ知リ得タ他人ノ秘密ヲ故ナク漏洩
スルト云フコトハ、禁止シタイト云フ意向
ニ變リハナイノデアリマス、正當ノ事由ナ
クシテ此ノ妊娠中絶ナリ或ハ優生手術ナリ
ト云フコトニ付テノ秘密ヲ世間ニ流布ス
ル、ソレハ禁止シタイ、禁止スルコトガ又
適當デアルト云フ建前ノ下ニ、其ノ運用ノ
御話ヲ先刻申上ダタ譯デゴザイマス、此ノ
法文自體ガ適當デナイト云フ御考ハ、ソレ
ハ御意見トシテハ承ツテ置キマスガ、斯様
ニ致シマシテ其ノ運用ニ付キマシテハ、實
地ノ行政ノ運用モゴザイマセウシ、或ハ是
ノ施行ニ付キマシテノ勅令以下ノ命令ノ規
定等ニモ、若干運用ニ關スルコトヲ規定シ
得ルコトガアラウカト思ヒマス、正當ノ事由
ガナケレバ其ノ秘密ハ漏ラシテハイケナイ
ト云フ建前ダケハ堅持致シタイト思フノデ
アリマス

○山川委員 サウ致シマス十九條ハ御存
置ニナルト云フ意味ノコトハ分リマシタ
ガ、其ノ他ノ法律ニ依ツテ此ノ知ラシメル
ト云フコトノ途ヲ設ケル方ガ宜イト思召シ
ニナリマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○吉田國務大臣 此ノ法律ニ規定シテアリ
マスル正當ノ事由ガナクテ秘密ヲ漏ラシテ
バナナイト云フコトノ建前ニ觸レマセヌ
限リハ、勅令以下ノ命令ニ於キマシテ、有

益ニシテ且ツ無害ナ手續ト云フヤウナモノ
ハ決メテモ差支ナイ、斯様ニ考ヘテ居リマ
ス

○山川委員 ソレデハ次ニモウ一ツ御伺申
上ダマスガ、先日田中委員ヨリ御伺ニナツ
テ居リマシタル所ノ去勢術、去勢ヲ行フト云
フコトガ此ノ中ノ條項ニナイノデアリマス、
ソレデ去勢ト云フコトヲ入レル必要ハナイ
ノデアリマセウカト云フコトヲ御伺シタイ
ノデアリマス、過日來ヨリ御答辯ニナツテ
居リマスルノハ斷種ハスル、斯ウ云フ風ニ
言ハレテ居ル、ケレドモ斷種ヲシタナラバ、
斷種ヲシタル爲ニ色慾ハ却テ旺盛ニナル、
斯ウ云フ御答辯ガアツタ、サウスルト斷種
ヲ行ハナケレバナラスト云フヤウナモノ
ハ、多少ハ精神的ニ低覺ナル——自覺節制
ノナイヤウナ者ニ行フ、サウ云フ者ニ斷種
ヲ行ツタ結果ガ所謂陰囊ノ中ニ何ト云フモ
ノデアリマセウカ澤山ノ精蟲ガ殘ル、其ノ
精蟲ノ放射ヲ止メルノデアアル、放射ヲ止メ
タナラバ其ノ止メタモノガ體ノ何處カニ循
環シテ出廻ルノデアリマス、ソレガ爲ニ精
神ニ異狀ガ起ルカ、體質ニ異狀ガ起ルコト
ガアルカナイカ、衛生學上サウ云フコトノ
研究ガ出來テ居ルカドウカト云フコトヲ伺
ヒタイノト、ソレカラモウ一ツハ若シ御答
辯ノ如ク旺盛ニナル——老人ガ旺盛ニナツ
テ若返リスルノハ宜シイガ、此ノ低覺ナル
自覺節制ノナイ無爲成年者、斯ウ云フ若者
ニ對スル、十六歳以上ノ既ニ生殖ノ機運ニ
達シタル所ノ者ニ行ウタラドウ云フ結果ニナ
ルカ、ソレ以前ニ行ウタラ全クナイト云フ
コトハ御答辯ニナツテ居ルケレドモ、色氣
ガ出タト云フ人間ニ對シテ之ヲ行ツテ見テ
モ、ヤハリ其ノ方ハチツトモ衰ヘナイ、唯

斷種ガ出來ルダケデアアル、斯ウ云フ風ニ承
ツタノデアリマス、サウスルトコンナ者ニ
性慾意識ガ増進シテ來テ益、色慾狂暴者ト云
フモノガ増大スル、是ハ大變ナ問題デアアル、
危險ヲ防ガウト思ツテ一層危險性ノアル者
ヲ作ツタト云フコトニナル、是等ヲ大變私
ハ案ズルノデアリマスカラ、此ノ法律ニサ
ウ云フ去勢ヲ伴ハシムルト云フコトノ必要
ガナイカドウカ、之ヲ承リタイト思フノデ
アリマス

○吉田國務大臣 今日ノ法制ノ建前、又私
共ノ確信ヲ以テ法文化シテ取扱ヒ得ル範圍
ハ、此ノ法案ニ規定シテアリマス程度デア
ラウト考ヘマシテ立案致シテアルノデアリ
マス、場合ニ依リマシテ、ソコニ所謂優生
手術以上ノ手術ヲセネバナラス、又ソレガ
適當デアラウト云フ人モアリ得ルト思フノ
デアリマス、ソレハ偏ニ醫術ノ領域ニ任セ
テ居リマスシ、ソレガ違法デアアル、適法デア
ルカト云フコトハ、刑法ノ判斷ニ俟ツト云
フ建前ヲ今日ノ所トシテハ執ツテ置クノガ
適當デハナイカト云フ建前デ、此ノ法案ノ
中ニハ所謂優生手術以上ノコトヲ規定シテ
ナイ譯デアリマスガ、事専門ニ互リマス次
第デアリマスカラ、其ノ方面ノ擔當ノ政府
委員カラ又詳細ニ互ツテ御答申上ダマス

○高野政府委員 只今御尤モナ御心配ノ御
質問デアリマシタガ、此ノ法案ニ去勢ヲ入
レテアリマセヌノハ、所謂優生手術ノミヲ
以テ目的ハ十分達シ得ル、所謂去勢ノ要ナ
シト云フ考カラ、斯様ナコトニ相成ツテ居
ル次第デアリマス、去勢ヲ致シマセヌデモ
此ノ優生制度ノ目的ハ達シ得ルト云フ考デ
アリマス、色慾ガ旺盛ニナリ、而シテ却テ
社會ニ危害ヲ及ボスコトガナイカト云フ

御懸念デゴザイマシタ、此ノ前申上ガマシ
タコトハ所謂性生活ニ異狀ガナイト云フコ
トヲ申上ダケノデ、別ニ色慾減退ハナイト
云フ意味申上ダケ積リデゴザイマシテ、
格別ソレガ旺盛ニ強マツテ困ルト云フコト
ハ申上ダケ積リデハナイトデアリマスケレ
ドモ、昨日又他ノ委員カラノ御質問デアリ
マシテ、特ニ色慾ノ頗ル強カツタ者ガ更ニ
興奮スルヤウナコトガナカラウカ、サウ云
フコトガアツテハ困ルト云フ御話モアリ
マシタ、私ハ答ヘマシテ、所謂性的異常者
ガ一時的ノ刺激トシテ、多少ノ興奮ヲスル
ヤウナコトハ一時的ニハ或ハアリ得ルカモ
知レヌ、併シソレハ直チニ鎮靜スルデアラ
ウカラ、是ノ爲ニ非常ナ危害ヲ及ボスト云
フコトハナイデアリマセウ、斯ウ云フ意味
デ、手術ノ結果精液ガ貯留スルト仰セラレ
ルコトハ其ノ通りデアリマス、ソレハ別ニ
害ノナイコトデアリマシテ、ソレハ禁慾生
活ニ於テモ必ズシモ有害デハナイデアリ
マス、殊ニ斯様ナ手術ヲシタ後ノ禁慾生活
ハ、其ノ禁慾ガ常態ニナリマスノデ、格別
ノ支障ハナイコトデアリマシテ、是ハ理窟
ヨリモ實情ニ依ツテ判斷スベキモノデアリ
マスルガ、此ノ手術ヲ受ケタ者ハ我國ニ於
テモ千人ハ能ク調べマスレバソレ以上澤
山アルコトデアリマセウガ、癩患者ニ付テ
千名以上ノ者ガ手術ヲ受ケテモ格別ノ支障
ヲ懸ヘテ居リマセヌシ、外國ノ調査ニ於キマ
シテモ格別ノ支障ガ懸ヘラレテ居リマセ
ヌ、ソレデ此ノ手術ハ其ノ目的ヲ達スルニ
ハ最モ適當ナコトデアルト云フコトガ醫學
界ニ公認セラレテ居リマスノデ、此ノ方法
ノミニ依リマシテ、支障ナク效果ヲ擧ゲ得
ルモノト斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○山川委員 大分分リマシタガ、モウ少シ
分ラヌ所ガアル、只今ノ御答辯ニ依リマス
ト、斷種ヲ行ツタラ一時的ニハ興奮スルコ
トガアルケレドモ、後ハ禁慾生活ガ體ニ習
慣性トナツタ以上ハ、モウ性慾ガナクナツ
テ來ル、唯斷種ハ出生ヲ防グデアツテ、
性慾ハ同ジデアル、サウ云フ風ニ昨年カラ
聞イテ居ルノデアリマス、ノミナラズ斷種
ノ爲ニ性慾ハ益々旺盛ニナル、斯ウ云フ風
ニ昨年ハ聞イタヤウニ思フノデアリマス、
又聞イタダケデハナイ、此處ニアル參考書
デハアリマセヌガ、外ノ參考書カ、人ノ書イタ
本カ何カラ一遍見マシタ時ニ、ソレガ旺盛
ニナルト云フコトガ書イテアツタ、決シテ
性慾ガ減退スルモノデハナイ、所謂性慾ノ
減退ハ人間ノ幸福ヲ奪フモノデアル、是ハ
人間ノ生レテ來テ居ル五大幸福ノ一ツデア
ツテ、其ノ五大幸福ノ一ツヲ奪フコトハ、
人間ノ幸福ヲ五分ノ一取ルモノデアル、是
ハ重大問題デアルト私ハ思フノデアリマス、
其ノ幸福ハ減退セヌモノデアル、唯害ノア
ル種ヲ斷ツタダケノコトデアルト斯ウ聞イ
テ居ルノニ、只今承リマス、自然ノ間ニ性
慾ハ減退シテ差支ナイ程度ニナツテ、一時
的ノ興奮ハアツテモ、アトハ自然ニ減退シ
テシマツテ性慾ハ無クナルノデアル、斯ウ
云フ風ニ今御答辯ニナツタヤウニ思ヒマス
ガ、サウナリマス、又一ツ問題ガ殖エ
タ譯ニナツテ來ル、ドウカ之ニ對シテ御答
辯ヲ願ヒタイ

○高野政府委員 私ノ申上ダケヤウガ言葉ガ
足リナカツタカモ存ジマセヌガ、減退ハシ
ナイノデス、興奮モシナイノデス、即チ性
生活ニ異常ガナイ、斯ウ云フ意味申上ダケ
ノデ、詰リ變リハナイ、性的生活ハ續ケラレ
マスガ、別ニ興奮シテ困ルト云フコトハナ
ク、其ノ爲ニ衰弱シテシマフト云フコトモ
ナイ、大體此ノ法ニ支障ガナイト云フ意味
ニ御取リヲ願ヒマス

○會和委員 關聯シテ一ツ……只今ノ御答
辯ハ私ハ甚ダ腑ニ落ち兼ネルノデスガ、性
生活上善イ意味ニ於テモ、惡イ意味ニ於テ
モ何モ變リハナイノデスカ、サウ云フ答ハ
ナイト思ヒマスガ……

○高野政府委員 性生活ニ著シキ支障ガナ
イト云フノガ定説デゴザイマス、ソレハ此
ノ手術ノ結果絕對何事モナイト申上ゲルコ
トハ困難ト思ヒマスガ、格別著シキ支障ハ
マス、斯ウ云フノデアリマス

○會和委員 先程來局長ノ御説ニ依リマス
ト、千何名ヲ實施シタコト云フデアツテ、其
ノ千何名ト云フノハ主トシテ癩病患者ガ主
デアラシイ、所ガ此ノ第三條ニ規定スル
所ニ依リマス、癩病患者デハナクシテ、
惡質デアルトカ或ハ畸形デアルトカ云フモ
ノガ一部分アツテモ、其ノ人間ノ性狀態ガ
普通デアル、サウ云フ者ノ兩端丸トモ輪精
管ヲ緊縛シテシマフト云フコトヲヤルナラ
バ、一時興奮ヲスル、或ハ其ノ他色々ナ作
用ガ起リマシテ、中ニハ性格ヲマルデ變ヘ
テシマフヤウナコトニモナルト云フノデア
リマスガ、サウ云フコトハナイト云フ御考
デアリマスカ

○高野政府委員 御話ニモゴザイマスヤウ
ナ心配ガ此ノ手術ヲ採用セントスル際ニ一
番問題デゴザイマシテ、種々研究モシ、日
本ノ内地ニ於ケル事例色々調ベタ譯デゴ
ザイマス、癩病患者ノコトヲ申上ダケマシタ
ノハ、手計ニアル調査ガ偶々長イコト此ノ方
ノ實驗ガ重ツテ居リマスシ、實例ガアリマス
ノデ、便宜上其ノ例ヲ申上ダケノデアリマ
スルガ、其ノ他普通ノ人デアリマシテ、妊
娠ノ爲ニ或ハ支障ガ起ルカモ知レナイ、オ
産ヲスル上ニ故障ガアツテハト云フヤウナ
意味合デ、婦人科ノ方デハ可ナリ多クノ手
術ガ行ハレテ居リマス、數ヲ申上ル程必要
ガアツテ調べタノデアリマシテ、
婦人科ノ專門家ノ意見ヲ聽イテ居ル譯デア
リマス、屢々手術ヲ致シマスケレドモ、此ノ
手術ハ少シモ異常ナク行ハレテ居リ、又世
ノ中ニ於テ其ノ支障ヲ懸ヘル者ガナイ結果
デゴザイマセウ、サウ云フ手術ヲ希望スル
者モ相當アル、是等ノ點カラ此ノ手術ニハ
直接間接ノ危害ガナイモノト心得テ居リ、
又外國ノ例證報告等ニ依リマシテモ、大體
左様ニ承知シテ宜シイト考ヘテ居ル譯デア
リマス

○會和委員 ドウモ今ノ御説明デモ確ニ事
實ハサウダト云フ御斷定デナクシテ、左様
ナ風ニ心得テ居ルト云フヤウナ御答デアリ
マス、私ハサウ云フ一種ノ假説ト申シマス
ルカ、サウ云フコトヲ根據ニサレルコトハ
ドウカト思フノデアリマス、是ハ決シテ假説
デハナイト云フ的確ナル證據ガアルナラ
バ、御示ヲ願ヒタイノデアリマス

○高野政府委員 私ノ申シヤウガ少シ臆病
過ギルカモ知レマセヌガ、私共ガ事實ヲ判
斷スルニハ、ヤハリ醫學上ノ各方面ノ經驗
ヲ信ズル外ゴザイマセヌ、吾々ノ持ツテ
リマス各般ノ報告、詰リ醫學上ノ事實トシ
テ、醫學上ノ知識トシテ、之ニ依ツテ判斷
スレバ、斯様ナ手術ヲ此ノ制度ニ採用スル
コトニ、聊カモ學術上ノ缺陷ハナイト信ジ
テ居リマス

○山川委員 其ノ事ハソレ位ニシテ置キマシテ、次ニモウ一ツ御同致シマス現在デハ避妊ヲ希望スル者ガ殖エテ居ル、斯ウ云フ風ナ社會情勢ニナツテ、所謂世ノ中ガ世智辛クナツテ來マシテ、結婚生活ガ容易ニ出來得ナイカラ、相當ノ年齡マデ結婚セズニ暮スト云フコトニナツテ來タ、隨ツテ避妊ノ必要ヲ感ズル人ガ多クナツタ、ソレヲ防ガナレバ人口ノ増殖ハ出來ナイ、サウスルト何處ノオ醫者サンハ斯ウ云フコトニハ非常ニ慣レタ人ダト云フコトガ分ツテ居リ、一方ニハサウ云フコトヲ考ヘル者ガアル、又一方ニハオ家騒動ニソレヲ應用シヤウトスル者モ出來テ來ル、祕密裡ニ簡單ニ斯ウ云フ手術ガ行ハレルト云フコトハ、オ家騒動ノ、種ヲ絶ツコトニ非常ニ便利ニナツテ來ル、斯ウ云フコトニ應用サレル範圍ハ非常ニ多クテ、二十年先ニ僅カノ斷種ニ依ツテ人種ノ改良ガ少シハ出來ルト云フ目的ノ爲ニ、一方ニハ斯ル大キナ弊害ガ伴フト云フコトガ多クハナイカ、斯ウ云フコトヲ案ズル者デアリマスガ、之ニ向ツテハ茲ニ設ケラレマシタ此ノ文字ニ書イタ規則位デ、ソレガ防ギ得ラレルモノデアリマセウカ、人間ノ性慾ト云フヤウナモノハ隨分烈シイ所マデ行フモノデアリマス、斯ウ云フ法律ガ出來タカラ恐イカラ、サウ云フコトヲ行ハナイト云フコトハ、神様カ佛様デナイ限りハ中々サウハ行カスト思フノデアリマスガ、サウ云フ弊害ガ伴フト云フ心配ハナイノデアリマセウカ、防ギ得ラレルノデアリマセウカ、避妊術ニ應用スルト云フ點デス

○吉田國務大臣 此ノ法制ガ出來マシタ爲ニ、左様ナコトニナルト云フ風ニハ當局ハ

考ヘテ居ラスノデアリマス、此ノ法制ヲ行フニ付キマシテ、十六條ノ規定ニ依リマシテ所謂優生手術或ハ其ノ外妊娠ヲ妨グルヤウナ方法ヲ行ツタ者ハ處罰スルト云フ裏ニハ、處罰ガ目的デハナイノデアリマシテ、銘々國民ハ健全ナル子供ヲ澤山生ンデ、ソレヲ健全ニ育てルト云フ積極的内容ヲ期待シテ、此ノ十六條ノ條文ハ出來テ居ル譯デゴザイマスシ、十八條ハ已ムヲ得ザル場合、十六條ニ違反シタ者ヲ處罰シヨウト云フコトデアリマシテ、是サヘアレバサウ云フ不心得ヲスル人間ハナイト云フ風ニ甘クハ考ヘラレナイノデアリマス、ソレデ人口ノ増加率ノ段々減少シテ參ルコトニ付キマシテハ、午前中ニモ申上ゲマシタ通り、皆ガ子供ノ生レルト云フコトニ付マシテ考ノ根本ヲ正シイ所ニ置イテ貫ヒタイト云フ趣意ノ徹底ガ、基礎トシテ一番大事デアルト思フノデアリマス、法律ノ力ノミニ依ツテソレガ行ハルベキコトデハゴザイマセヌ、又一方只今御質問中ニモ仰セラレマシタ通りニ、段々社會機構ガ複雑ニナツテ來ルニ連レテ、必ナラズモ避妊ヲシヨウト云フコトニナツテ來タコトモ事實デゴザイマス、無産階級ニ對シマシテノ諸々ノ社會政策ハ、或ハ只今御審議ヲ願ツテ居リマスル優生法ノ上ノ工夫、其ノ外ニ於キマシテ、國家トシテ良イ子供ヲ澤山持ツコトハ、國策ノ根本ダト云フコトハ、外ノ有エル方法デ積極的ニ明カニセラレル、サウシテ此ノ十六條ニ依ツテ故ナクサウ云フコトヲ禁止スルト云フコトト相應致シマシテ、日本ノ人口問題ニ付テノ健全ヲ發達ヲ期待スルコトニ致シタイト云フノガ、當局ノ心構ヘデアリマス、此ノ法律ガ出來タカラ、是ガ濫

用セラレルト云フヨリ、ソレハ今日自然ニ現ハレテ居ル社會ノ洵ニ憂慮スベキ傾向デアリマスノデ、其ノ傾向ニ對シマシテ禁止、處罰ト併セテ、積極的ナ各種ノ方策ヲ講ジテ、是非左様ナ傾向ヲ是正シナレバナラス、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○山川委員 此ノ問題ハソレ位ニシテ置キマス、次ニ申告者ハヤハリ本人ガ申告スルコトガ本則ニナツテ居ルヤウデアリマス、本人ノ申告ナキ場合、又ハ申告力ノナイ者ハ配偶者トカ父母トカガ申告スルヤウニナツテ居リマス、是ハドウモ自分ノ夫ヲ斷種シテ吳レト請求スル、自分ノ妻ヲ斷種シテ吳レト請求スル、我が子ヲ斷種シテ吳レト請求スルコトハ、人間ノ道カラ考ヘマシテ洵ニ容易ナラザルコトデアルト思フノデアリマス、私ハ之ヲ避ケル途ハナイカ、國家社會ニ有害ナリト認メ、劣惡ナリト認メル社會ノ或ル一方ノ代表機關、精神病院ノ院長トカ、サウ云フヤウナ人ガ寄ツテ請求スル、申告スルト云フ風ニ變ヘルコトハ出來ヌノデアリマセウカ、保健所ノ長トカ、命令ヲ以テ定ムル醫師トカ云フコトモ書イデアリマスケレドモ、根本ハ此ノ第四條ガ本則デアツテ、保護ヲ受クル本人カラ請求スル、其ノ他ノ懇意ナ者ヤ、父母ヤ、或ハソレヲ世話シテ居ル者、所謂後見人ノヤウナ者カラ請求スルコトハ、人ノ道ニ反スル、殊ニ我國ニ於テハ忠孝ガ本デアリマス、日本ハ忠孝本義ノ國デアリマス、外國トハソコガ違フノデアリマス、忠ト云フ關係ハ別ト致シマテモ、孝ト云フコトハ、子ハ親ニ孝ヲスル義務ガアルノデアリマス、先天的ニ孝ノ心ガナケレバナラス、ソレハドウカト云フノニ、親ハ子ニ對シテ、孫ニ對シテ、如

何ナル場合デモ絶對愛ガアルカラデアル、絶對愛ガナケレバ子ハ育タヌノデアリマス、人間ノ生殖ト云フコトハ出來ナイ譯デアリマス、其ノ絶對愛ガナケレバナラス親ガ申告者ニナルト云フコトハ、人ノ道ノ上カラ言ウデモ、亦神ノ道カラ言ウデモ、佛ノ道カラ言ウデモ、我國ノ道德觀念ニ反スルヤウナ心持ガ致スノデアリマス、之ニ對シテ何トカ良イ方法ガナイデアリマセウカ、御同申上ゲタイノデアリマス

○吉田國務大臣 只今御話ニナリマシタ夫婦間或ハ親子間ノ愛情ト云フコトハ、洵ニ尊イコトデアリマス、其ノ愛情ノ行ハレマスルニ付キマシテハ、ヤハリ單純ナ感情的ナ愛情ダケデナクシテ、其ノ配偶者ナリ或ハ我が子ニ對スル先ノコトマデ心配致シマシタ理知ノ働ガ伴ハナケレバ、本當ノ愛デアルトハ考ヘラレナイノデアリマス、左様ナ譯デ子供ノ將來ヲ考ヘ、更ニソレカラ生レテ來ベキ孫ノ將來ヲ考ヘマシテ、難キヲ忍ンデ、左様ナコトヲ已ムヲ得ナイト考ヘテ申請致シマスルコトハ、少シモ我國ノ家族制度ニ反シハシナイト思フノデアリマス、ソレカラ今一點御尋ニナリマシタ所ノ外ノ申請權者トシテ刑務所長デアリマス、トカ、或ハ病院長トカ、サウ云フ人ノ申請ハイカスモノデアラウカト云フ御尋デアリマスガ、ソレハ第六條ノ規定ニアリマス通りニ、其ノ疾患ノ遺傳ヲ防遏スルコトヲ公益上特ニ必要アリト認メル場合ニハ、前條ノ規定ニ依リ同意ヲ得ラレザル場合ト雖モ理由ヲ附シテ申請スルコトガ出來ル、斯様ニシテアリマシテ、公益上是ハドウシテモ手術ヲ行ハネバナラスト云フ認定ガ附キマシタ場合ニハ、五條ニ於テ必要ナ同意者ノ同

意ヲ得ラレナクテモ、優生手術ノ申請ガ出
來ル、斯様ニ致シテアルノデアリマス

○山川委員 大臣ニ御伺申上ゲマスコトハ、
アト一點措キマス、ソレハ優生法ハ劣惡
人種ヲ斷種スル、サウシテ劣惡人種ヲ少ク
スル、最後ニハ絶ヤスト云フノガ目的デア
リマス、然ルニ是ガ申請ハ自由ニナツテ居
マス以上ハ、之ヲ申請セントスル者ノ心理
狀態カラ言ウタラ、體ハ惡クテモ精神ノ立
派ナ人、精神ノ比較的正直ナ人、サウ云フヤ
ウナ人ガ之ヲ請求スルデアラウ、本當ニ體ハ
良クテモ心ノ惡イ人——劣惡ト云フハ體格
ノコトバカリヲ言フノデハナイ、兩方ヲ言フ
ノデアリマス、體質ノ惡イ者、ソレカラ精神
病ノ如キ心ノ惡イ者、惡性ノ者、薄弱ナ者、
斯ウ云フヤウニナツテ來マスガ、體ガ良ク
テモ心ノ惡イ劣惡ナ人種カラ斯ウ云フ請求
ヲスル者ハ殆ドナイト思フノデアリマス、
自分ガ國家社會ノ前途ヲ考ヘタリ、我家ノ
子孫ノ前途ヲ考ヘタリスルヤウナ者ハ、精
神ガ惡イ者ニハサウ云フ者ガナイノデアリ
マス、ソナコトヲ考ヘルヨリハ、自分ノ
今日ノ眼前ノ幸福ヲ願ツテ居ルノデアリマ
ス、又永久ニ國家社會ノコトヲ考ヘタリ、
我家ノ家系ヲ考ヘタリスル者ハ、優良ナル
精神ヲ持ツテ居ル人デアリマス、サウ云フ
人ハ却テ聊カナル缺點デモ大キクソレヲ考
ヘテ、之ヲ請求スル人ガアルダラウ、一方
非常ナ害ガアルト認メル程ノ者デモ、其ノ
人ノ精神ガ劣惡デアツタラ、コンナ請求ハ
必要ガアツテモシナイコトニナル、是ハ申
告ノ一點張リニ委シテ置クト、却テ優良人種
ニ斷種ガ行ハレ、劣惡人種ハ其ノ儘ニ放任サ
レト云フ心配ガアル、斯ウ云フ風ニナリハシ
ナイハ、サウ云フコトヲ考ヘルノデアリマス、

ソレニ對スル御答辯ヲ願ヒマス

○吉田國務大臣 優良ナル人種ガ斷種ヲ受
ケルヤウナコトガアツテハ困リマスガ、申
請ガアリマシタ以後ノ手續ヲ極メテ慎重ニ
致シマシテ、審査會ノ議ヲ經テ之ヲ決定ス
ルヤウニ致シテアルノデゴザイマス、唯總
テノ手術ノ場合ニ、本人以外ノ例ヘバ醫師
デアリマスコトカ、或ハ刑務所長トカ、サウ云
フ人ノ申請ヲ本ニシテ、本人ノ申請ヲ無視
スルト云フコトハ、人情ノ上カラ、又今日
ノ我國ニ於ケル各種ノ社會事情ノ上カラ行
過ギデアラウ、原則ト致シマシテハ本人又
ハ本人ニ代ルベキ申請ト云フコトヲ本ニシ
テアリマスガ、前ノ質問ニ對シテ御答ヲ申
上ゲマシタ通りニ、ドウシテモ其ノ人ガ子
孫ヲ後ニ殘スト云フコトガ公益上非常ナ有
害デアアル、手術ヲ行フコトガ公益上特ニ必
要デアルト認メラレル時ニハ、ソレハ同意
ナクシテヤリ得ル、斯ウ云フ途ヲ開イテア
ル譯デアリマシテ、兩々相俟ツテ御疑念ノ
ヤウナ不都合ノ起ラナイヤウナ用意ヲ致シ
テアルノデアリマス

○山川委員 大臣ニ對スル質問ハ是デ打切
リマス

○八木委員長 ソレデハ保留シテアリマス
會和サンニ願ヒマス

○會和委員 ソレデハ成タケ要點ヲ述ベテ
御伺シタイト思ヒマス、本法案ノ第三條ニハ
「左ノ各號ノ一ニ該當スル疾患ニ罹レル者
ハ其ノ子又ハ孫醫學的經驗上同一ノ疾患ニ
罹ル虞特ニ著シキトキハ」斯ウナツテ居ル、
洵ニ婉曲ナ書キ方ト申シマセウカ、複雑ナ
書キ方ト申シマセウカ、法文トシテ此ノ文
字ノ現ハス精神ト云フモノガ、如何ニ複雑
微妙デアリ、手心ニ依ツテドウニデモナル

ト云フコトヲ是デハツキリ現ハシテ居ルモ
ノダト思フノデアリマス、即チ醫學的經驗

上ト云フノデアリマスガ、是モ亦局長カラ、
ソレハ一般ノ學問上ノ報告ヲ根據トシナケ
レバナラヌノダカラ、斯ウ仰シヤルカモ知
レマセスガ、法文デハ斯ウ云フ風ニ抽象的
ニ記述セラレルガ、愈々是ガ實際ノ場合ニ於
テハ、一ニ其ノ患者ヲ診察シテ居ル醫師ノ
判斷ニ俟タナケレバナライ、所ガ此ノ問
題ニ付キマシテハ、實ニ色々ノ議論モアリ、
意見モアルノデアアル、ソレデアルカラ實施
運用上ニ當ツテハ非常ニ困難デハナイカト
云フ氣ガスルノデアリマスガ、大臣ハドウ
云フヤウニ御考ヘデアリマセウカ

○吉田國務大臣 私ノ辨ヘテ居リマス範圍
ニ於キマシテハ、醫學的ノ經驗上同一疾患
ニ罹ル、即チ遺傳ノ虞ガ特ニ著シイト云フ
コトハ、一定限度今日ノ我國ノ學界ニ於キ
マシテ定論ノアルコトト考ヘルノデアリマ
ス、醫學的經驗上ト申シマスコトハ、詰リ
何ト云ヒマスカ、理論的ト云フヨリ、經驗
的ニ實證セラレタ學問ノ上カラ、其ノ虞ガ
著シイト云フ場合ハ、相當列舉シ得ルト思
フノデアリマスガ、其ノ上ニ尙ホ、單純ナ
一個人ノ醫師ダケノ判斷ニ依ツテ間違ヒヲ
起シテハナリマセウカ、審査機關ト云フ
モノヲ拵ヘテ、事ヲ慎重ニ致シテアルノデ
アリマス、輕率ニ判斷シテナライコトハ
固ヨリデアリマスケレドモ、判斷ノ手段ヲ
盡シマスレバ、此ノ判斷ニ依リマシテ相當
程度明ニナルト思ヒマス、明ニナラス部分
ニ付キマシテハ、ソレハ優生手術ハ行ハナ
イ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、相
當明ニナル程度ガ多イト云フコトヲ期待致
シマシテ、此ノ法案ガ出來テ居ルノデアリ

マス

○會和委員 只今大臣ハ理論デヤナクシテ、
實際ノ經驗上カラ見ルノダト仰シヤツタ、
是ガ單ナル疾病ノ經過、或ハ豫後ニ對スル
治療方法ノ效果如何ト云フモノナラバ、今
日マデモ多數ノ材料ガアリ、實際上出來ル
ノデアリマスケレドモ、此ノ問題ハサウデ
ハナイ、サウ云フ素質ヲ持ツテ居ル者ガ其
ノ子ニ遺傳スルカ、其ノ孫ニ遺傳スルカ、
少クトモ二十年、三十年、五十年先ヲ見ナ
ケレバ分ラナイモノデアリマス、而モ日本
ノ國ニ於テハ之ニ對スル文獻ガ甚ダ少イ、
主トシテ外國ノ例ヲ頼リニシテ居ラレル、
現ニ二三日前ニ私ハ或席デ、開業醫ヤ醫學
博士ノ大學教授ト共ニ此ノ問題ニ付テ話ヲ
シタノデアリマスガ、開業醫ハ此ノ優生法
案ハ通シテ貫ハナケレバナラスト言フ、所
ガ大學教授ノ言フノニハ、是ハ極端ニヤレ
バヤルベキ方法ガアルシ、又最モ「ルーズ」
ニ此ノ法案ヲ運用スルナラバ運用スル方法
モアルノダ、ドナラニシテモ效果ガアルト
云フモノハ、又何等ノ效果ノナイ場合モア
ル、效果ノアルヤウニスルト、ソレニ附隨
シタル缺點ト申シマスガ、弊害ガアルノダ
カラ、私ハアノ法案ガ通ツテモ通ラナクテ
モ宜イト云フ考デ居リマスト云フコトヲ言
ツテ居ツタ、ソレハ何ニ依ルカト云フト、
詰リ理論デヤナイ、實際上カラ來ルノダト
仰シヤルケレドモ、ソレガ必ズ斯ウナルノ
ダト云フ根據ガナイカラダト思フ、ソレハ
素質ノ遺傳スルコトハ皆認メマス、所ガ此
ノ戴イタ資料ニモアリマス通り、人間ノ遺
傳因子ト云フモノハ二万以上アル、其ノ二
万以上ノ遺傳因子ト云フモノガ如何ニ遺傳
スルカト云フ問題ナノデアリマス、親ニ其

ノ病氣ガ出タ、其ノ病氣ガ出タカラト云ツテソレガ子ニ遺傳スルカ、其ノ素質ハ遺傳シマセウガ、果シテドノ程度ニ遺傳スルカ、五人ノ子供ガアレバ、長男、長女、次男、三男ニドノヤウニ遺傳スルカ、或ハ長男ニ惡イ素質ガ出タカラト云ツテ、次男ニ必ズシモソレ以上ニ惡イ者ガ出來ルトモ限ツテ居ナイ、長男一人惡イ者ガ出來タガ次男以下ハ健全ナ者ガ出來タト云フ事例ハ澤山アル、又此處ニ示サレマシタ此ノ「カール」ニモアリマスヤウニ、又村松君ノ要求ニ依ツテ出サレマシタ放火犯人ノ例モアリマスガ、之ヲ見マス、元健全ナ所カラボツボツ出テ來テ、サウシテ一番ヒドク出タ所ノ例ヲ舉ゲテ居ラレマス、是ハ此ノ中デ更ニ死ンダ者モアルダラウシ、結婚シタ者モアルダラウ、此ノ子孫ガ更ニドウナツタカト云フト、又段々少クナツテ行ク、拾テテ置イテモ自然ノ攝理デサウナツテ行ク、此ノ調子デ殖エテ行ツタ日本人ハ全部病人ニナリマス、此ノ一番ヒドクナツタ所マデヲ例ニ出シテ、ソレモ何十方カアルト云フ中デ僅カナ例ヲ出サレタ、是カラ後ドウナルカト云フコトヲ明ニシテ居ナイ、サウ言ヒマス、其ノ代リ一方ニ於テハ疾患ニ出シテアルト斯ウ仰シヤルカモ知レナイ、之ヲ御覽ナサイ

〔委員長退席、村松委員長代理著席〕
之ヲ見テモ、例ヘバ精神分裂病ニ於テモ、精神分裂病患者ノ子供ガ發病シタ率ト云フモノハ一三%シカナイ、百人ノ中デ十三人シカ出ナイ、アト八十七人ト云フモノハ出ナイ、サウ云フコトニナツテ居ル、或ハ其ノ次ノ躁鬱病ニシテモサウデアル、是ハ東大ノ腦研究所ノ調査ニ依ルト、躁鬱病患者

ノ子供ノ發病率ハ七%六デアルカラ、之ヲ線ノ上デテハ%ト見ルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナツテ居ル、デアルカラ私ガ言フノハソコナンデス、醫學的經驗上同一ノ疾患ニ罹ル虞特ニ著シキトキ」特ニト書イテアルガ、其ノ判定ハドウシテモ付カヌダラウト思フ、是ハ現ニ醫者ト話ヲシタ時ニモ付カヌト言フ、ソレハ付ク筈ガナイ、ダカラ私ハ實際上困ルノデハナイカト思フノデアリマスガ、ソレデモ實際上困ラヌト仰シヤルノデアアルカ、ソレヲ伺ツテ置キマス

○吉田國務大臣 御尋ノ點ハ此ノ法案ノ學問的乃至技術的ナ部分ニ係ツテ居ルコトデゴザイマシテ、政府ト致シマシテハ今日ノ日本ノ學問研究ノ成就シテ居リマス業績ヲ網羅致シマシテ、此ノ程度ノ法案ヲ御審議戴キ、之ヲ立法手續ニ移シマスルコトハ、今日ニ於キマシテ必要デアリ、又此ノ程度ニ止メテ置クコト云フコトガ限度デアルト、サウ云フ丁度ノ所ヲ取リマシテ、是ハ立案ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、只今縷々御述ニナリマシタ學問上、技術上ノ點ニ付キマシテハ私カラ御答申上ゲルヨリ係ノ政府委員カラ御答申上ゲル方ガ宜イト思ヒマス、政府ガ斯様ニ建前ヲ以テ立法致シマシタ趣意ダケヲ私カラ御答申上ゲマス

○高野政府委員 私カラ少シ補足サシテ戴キマス、遺傳ノ豫斷ヲスルコトハ困難ナ場合モアラウト云フ御話デアリマス、洵ニ御説ノ通りト思ヒマス、其ノ困難ナ、又或ハ不可能ナ場合ヲ除キマシテ、又醫學ノ經驗上ト申シマスコトハ、ヤハリ今ノ醫學ノ知識ニ依ツテ判斷シ得ル、詰リ遺傳ノ豫後ヲ判斷シ得ル、其ノ場合ニ此ノ適用ガ行ハレマス譯デ、只今御示ニナリマシタヤウ

ニ、精神分裂症ニ於テモ其ノ調査ノ結果ハ約一〇%アリマス、ダカラ精神分裂症全部斷種スルト云フコトデハナイノデアリマシテ、精神分裂症ノ中ノ其ノ家計調査、之ヲ主ニ致シマス、詰リ個人ノ診斷ノ場合ハ其ノ五體ヲ見レバ判斷ガ付キマシテ、何病氣デアルト云フコトガ分リマスガ、是ハ遺傳病デアルト云フコトヲ決定スル爲ニハ、其ノ病名ガ決ツタダケデハイケマセヌノデ、成ベク上マデ廻リマシテ家系調査ニ重點ヲ置キマシテ、是ハ間違ナク遺傳ヲ來ス疾病デアアル、此ノ家系ニ此ノ疾病ハ遺傳ノ結果現ハレタノデアルト云フコトヲ慎重ニ調査研究シテ、判斷シ得ル場合ニ此ノ手術ガ行ハレルコトニナル譯デアリマス

〔村松委員長代理退席、委員長著席〕

斯ウ云フノデアリマスカラ、危險ノ所ハ大體ナイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○會和委員 ソレ以上質問シマシテモ何ダカ議論ニナリマスカラ、其ノ問題ハソレニ止メマスガ、次ニ此ノ資料ノ中ニモ厚生省ノ御集メニナツタ資料モ色々アルノデアリマスガ、大體オ醫者サンガ法規上色々報告スルノニ非常ニ不眞面目ダト云フ點ガアル、ソレハモウオ醫者自身モ言ハレル、例ヘバ死亡診斷書一ツ書クニシテモ、ソレハソコノ家ノ困ル病氣ナドデアルト云フト外ノ名前ヲ書ク、肺結核デ死ンデモ急性肺炎、斯ウ書ク、オ醫者サンガ現ニ言ウテ居ル、ドウモ人情上オ頼ミシマスト言ハレタナラバ、斷ル譯ニ行カヌケレドモ、生命保險ニ入ツテ居ツテ、保險金ヲ取ラナケレバナラヌ場合ニ嘘ハ書ケナイカラ、其ノ時ハ正シク書クケレドモト云フコトヲ言ウテ居ル、隨テ其ノオ醫者サンナリ、私ガ先日話シタ大學

ニ、精神分裂症ニ於テモ其ノ調査ノ結果ハ約一〇%アリマス、ダカラ精神分裂症全部斷種スルト云フコトデハナイノデアリマシテ、精神分裂症ノ中ノ其ノ家計調査、之ヲ主ニ致シマス、詰リ個人ノ診斷ノ場合ハ其ノ五體ヲ見レバ判斷ガ付キマシテ、何病氣デアルト云フコトガ分リマスガ、是ハ遺傳病デアルト云フコトヲ決定スル爲ニハ、其ノ病名ガ決ツタダケデハイケマセヌノデ、成ベク上マデ廻リマシテ家系調査ニ重點ヲ置キマシテ、是ハ間違ナク遺傳ヲ來ス疾病デアアル、此ノ家系ニ此ノ疾病ハ遺傳ノ結果現ハレタノデアルト云フコトヲ慎重ニ調査研究シテ、判斷シ得ル場合ニ此ノ手術ガ行ハレルコトニナル譯デアリマス

校教授ナドハ、詰リ今マデダツタ内務省ノ統計ダガ、其ノ統計程當デニナラヌモノハナイト云フコトヲオ醫者サンガ言明シテ居ル、隨テ單ニサウ云フ風ナ法文ノミナラズ、醫師トシテ——醫師ハ社會ノ公人デス、醫師トシテ開業サレテ、色々疾病ノ治療ニ當ツテ居ラレル間ニ、中ニハ國民カラ指揮サレルヤウナ行爲ガアルノデアリマスガ、一向ソレニ對シテ直接ノ監督ト云フモノハ行届イテ居ナイヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、勿論刑法ニ觸レルヤウナコトガアレバ速ニ警察カラ行キマス、ソレデモ尙且ツ墮胎ナドハドン／＼ヤツテ居ルノデス、實際ヤツテ居ルノデス、刑法ニドシナ規定ヲサレテ居ツテモヤツテ居ル、時タマ警察引張ラレルト能ク府縣會議員ダノ代議士ナドニ頼ンデ、警察ニ貫ヒニ行ツテ下サイト云フコトヲ言ハレマス、ダカラ私ガ心配スルノハソコデアリマシテ、勿論法律ヲ制定シマス時ニハ其ノ法律ニ關係スル人ハ完全ニ其ノ法律ヲ遵守スルト云フコトヲ前提トシテヤツテ居ラレル、ソレハ勿論當然デアリマセウ、併シナガラ事實ハサウデヤナイ、濱ノ眞砂ハ盡クルトモ世ニナントカノ種ハ盡キヌト言ツタヤウニ、法ガ出來レバ出來ル程、其ノ法ヲ潛ラウト云フコトヲ考ヘテ居ル人間ガ可ナリアルト云フコトヲ御考ヘニナラナケレバナラヌト思フ、ダカラサウ云フ點カラ見マシテモ、開業醫ノ人々ニ對スル直接監督ト云フモノヲ如何様ニ今後ナサル積リデアアルカ、是ガ第一點デアリマス、次ニ然ラバ官立、公立、私立ノ大病院ハドウデアアルカト云フト、是ハ又官憲カラ相當信用ヲ得ラレテ居ル、信用ヲ得ラレテ居ルノデ公然ト脱法行爲ヲヤル、例ヘバ或ル婦人ガ墮胎ヲヤル、妊娠中

校教授ナドハ、詰リ今マデダツタ内務省ノ統計ダガ、其ノ統計程當デニナラヌモノハナイト云フコトヲオ醫者サンガ言明シテ居ル、隨テ單ニサウ云フ風ナ法文ノミナラズ、醫師トシテ——醫師ハ社會ノ公人デス、醫師トシテ開業サレテ、色々疾病ノ治療ニ當ツテ居ラレル間ニ、中ニハ國民カラ指揮サレルヤウナ行爲ガアルノデアリマスガ、一向ソレニ對シテ直接ノ監督ト云フモノハ行届イテ居ナイヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、勿論刑法ニ觸レルヤウナコトガアレバ速ニ警察カラ行キマス、ソレデモ尙且ツ墮胎ナドハドン／＼ヤツテ居ルノデス、實際ヤツテ居ルノデス、刑法ニドシナ規定ヲサレテ居ツテモヤツテ居ル、時タマ警察引張ラレルト能ク府縣會議員ダノ代議士ナドニ頼ンデ、警察ニ貫ヒニ行ツテ下サイト云フコトヲ言ハレマス、ダカラ私ガ心配スルノハソコデアリマシテ、勿論法律ヲ制定シマス時ニハ其ノ法律ニ關係スル人ハ完全ニ其ノ法律ヲ遵守スルト云フコトヲ前提トシテヤツテ居ラレル、ソレハ勿論當然デアリマセウ、併シナガラ事實ハサウデヤナイ、濱ノ眞砂ハ盡クルトモ世ニナントカノ種ハ盡キヌト言ツタヤウニ、法ガ出來レバ出來ル程、其ノ法ヲ潛ラウト云フコトヲ考ヘテ居ル人間ガ可ナリアルト云フコトヲ御考ヘニナラナケレバナラヌト思フ、ダカラサウ云フ點カラ見マシテモ、開業醫ノ人々ニ對スル直接監督ト云フモノヲ如何様ニ今後ナサル積リデアアルカ、是ガ第一點デアリマス、次ニ然ラバ官立、公立、私立ノ大病院ハドウデアアルカト云フト、是ハ又官憲カラ相當信用ヲ得ラレテ居ル、信用ヲ得ラレテ居ルノデ公然ト脱法行爲ヲヤル、例ヘバ或ル婦人ガ墮胎ヲヤル、妊娠中

絶ヲアル、他ニ理由ハナイノデス、又母體ニ危險ガアルト云フノデハナクシテ、所謂因果ノ種ヲ宿シタ兒デス、ソレヲ墮胎シヨウトシテモ、開業醫デハ怖ガツテヤラナイ、ソレヲ大病院ニ行クト直グヤツテ呉レル、サウ云フコトガ行ハレテ居ル、アノ廣大ナ建物ノ中ニ於テ、其ノ信用ヲ看板ニシテサウ云フ行爲ガ行ハレル、之ニ對スル監督ヲドウ云フ風ニオヤリニナルカト云フコトヲ伺ヒタイ

○吉田國務大臣 只今御例示ノアリマシタヤウナ問題ニ付キマシテハ、法制ノ上ニ於キマシテハソレモ、スウ云フ行爲ハ爲スベカラザルモノ、ソレヲ犯シタ者ニハドウ云フ制裁ガアルト云フコトハ定ツテ居リマスシ、今度ノ此ノ優生法案ニ於キマシテ更ニ其ノ點ヲ一層明カニセラルレ譯デアリマスルガ、御説ノ通り、唯法律ヲ出シタダケデハ脱法行爲ノ行ハレルト云フコトモ、事實ニハアリ得ルコトダト云フコトヲ十分承知致シマシタ上デ、是等ノ法律ノ運用ニ於テ誤ナキヲ期スルト云フコトガ必要デアルト思フノデアリマスガ、根本ニ於キマシテハ丁度御質疑ノ最初ニモ御話ニナリマシタヤウニ、醫師ノ公ノ職任ト申シマスガ、責任ト申シマスガ、ソレハ益、時代ト共ニ重クナツテ來ツアルノデアリマス、其ノ事ノ建前ヲ明カニシ、醫師自身ニモ、又世間ノ人々ニモソレヲ能ク意識シテ貰フト云フコトガ元デアルト考ヘルノデアリマス、サウ云フ考ノ下ニ總テノ制度ガ立テラレ、運用セラレルト云フコトガ必要ダト思フノデアリマス、只今厚生省ニ於キマシテ、醫藥制度調査會ニ於キマシテソレ等ノ問題ヲ全面的ニ、元ヲ申セバ醫藥教育ノ問題カラ

致シマシテ取扱ハレテ居ルノデアリマス、マダ遺憾ナガラ私ノ就職致スマデニ結論ヲ得テ居リマセスカラ、其ノ結果ニ付キマシテ、議會ノ御審議ヲ仰グ運ビニ今回ハ至リマセデシタガ、是非トモ醫師ノ本道ト申シマスガ、ソレガ正確ニ行ハレルヤウニ、心持ノ上ニ於キマシテモ、制度ノ上ニ於キマシテモ、萬全ガ盡サレナケレバナラスト思ヒマスシ、今日ノ現狀ニ於キマシテ其ノ點若干遺憾ノアリマスコトハ、私共モ認メテ掛ル必要ガアル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○會和委員 私ハモウ一點ダケ大臣ニ御伺シタイト思ヒマス、山川君モ先程一寸申サレマシタガ、本法案ヲ見マスと云フト、各條項ノ中ニ命令事項ガ可ナリアルノデアリマス、本法案ヲ審議シ、本法案ニ對スル所ノ態度ヲ決定スルニ付テ、此ノ命令事項ノ内容ガ必要デアリマス、第一條ニハ「命令ヲ以テ定ムルモノ」ト云フノガアル、ソレカラ第五條ニモ「命令ヲ以テ定ムル醫師」ト云フノガアル、其ノ他第十四條ニモ「本人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ」トアリ、其ノ他隨所ニアルノデアリマス、十二條ニモ「勅令ヲ以テ之ヲ定ム」是ハマア審查會ニナルノデアリマスカラ別デアリマスガ、其ノ外本法案ノ本質上、關聯シマシテ私共委員ノ者ガ了知シテ置カナケレバナラス事項ガ澤山アルノデアリマスガ、之ヲ出來ルダケ早く御示シ願ヒタイノデアリマス

○高野政府委員 承知致シマシタ

○江原委員 一寸關聯シテ大臣ニ私ハ此ノ點ダケ確カメテ置キタイト思フノデアリマスガ、此ノ法案ガ先ヅ假ニ成立スルトシマス、公ノ機關ヲ經テ優生手術ヲ行フ、隨テ此ノ條文カラ見ルト、有ニル方面デ其ノ

祕密ガ外部ニ現ハレナイヤウニ罰則ニ付テ用意ガシテアリマスルガ、一度優生手術ヲ受クル者トナツテ、其ノ者ガ自發的ニ優生手術ヲ受ケタ、其ノ事實ガ如何ニ隱シテモ外部ニ知レルト云フコトニナリマス、其ノ一族全部ガエライ影響ヲ受ケル、アア云フ優生手術ヲ受ケタ者ガ、アノ人ノ身内ニアルト云フコトニナリマス、其ノ身内ノ人々ハ婚姻ヲスル上ニ於テ非常ナ障礙ヲ來タス、相當大キナ弊害ガ起ルト思フ、此ノ弊害ト、自發的ニ申出タコトニ依ツテ優生手術ヲ行ツテ、社會ニ惡質性ノ人々ノ殖エナイヤウニ之ヲ防止スル國家的利益ト、其ノ國家的利益ヲ得ル爲ニ生ズル非常ニ大キナ弊害ト睨ミ合シテ、如何ナル御用意御意見アツテ、此ノ法案ヲ出サレタカ、此ノ點ヲ伺ヒマス

○吉田國務大臣 祕密ヲ漏洩シテハナラナイト云フコトハ其ノ用意ノ一ツデアリマスガ、是ハ條文ノ上ダケノコトデアリマス、事實取扱ガ拙ケレバ此ノ條文ノ趣意モ立チ難イコトニナルト思ハレマス、只今御指摘ニナリマシタヤウニ、其ノ人ガ優生手術ヲ受ケタト云フコトガ世間ニ公知セラレルト云フヤウナコトノアリマセスヤウ、一切ノ手續ノ進行ニハ萬全ノ實際ニ用意ヲ致スコトガ、最モ大切デアルト思フノデアリマス、尤モ此ノ優生手術ヲ受ケル人ハ、原則ト致シマシテ發病シタ本人デアリマス、何レノ場合ニ於キマシテモ廢人同様ノ人デゴザイマス、其ノ人ガ廢人同様ノ人ダト云フ事ハ、豫メヤハリ世間ニ知レテ居ル場合ガ多カラウト思フノデアリマス、隨テ此ノ優生手術ヲ受ケタ事ニ依ツテ、更ニ迷惑ガ一層増スト云フコトハ、其ノ點カ

ラ申シマス、サシタル程度デナカラウト考ヘルノデアリマス、素質ヲ持ツテ居ツテモ發病シテ居ラス人ハ、原則トシテ入ツテ居ナイノデアリマス、併シソレダカラト云ツテ決シテ之ヲ大ツピラニヤラウト云フノデアリマセス、成ベク萬全ノ同意ヲ以テマシテ、左様ナ御心配ニナルヤウナ、迷惑ノ掛ラヌヤウニスルニハ全力ヲ擧ゲテ努メネバナラスト思ヒマス

○伊東委員 厚生大臣ハ御疲レノヤウダカラ、成ベク厚生大臣ニ御尋セヌ積リデアリマシタガ、折角オ居デアリマスカラ、極ク簡單ニ一二御尋シタイト思フノデアリマス、本案ノ内容ニ付テハ、色々意見モアリマスルケレドモ、大體ニ於テ目的其ノモノニ對シテ、吾々ハ大賛成デアリマスカラ、本案ノ成立ハ希望シテ居ル譯デアリマス、ソコデ、本案ニ關聯シテ私ハ厚生上ノ問題ニ付テ、一二御伺シタイト思フノデアリマス、醫藥分業ノ確立ノ問題デアリマス、是ハ醫藥界、藥業界ノ大問題デアリマス、一舉ニ決スルコトガ出來ナイデ、今日マデ段階調査サレテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ問題ニ對シテ只今政府ハドウ云フ工合ニ決セラレル積リデアリマスガ、其ノ點ヲ御伺シタイト思フノデアリマス

○吉田國務大臣 醫藥分業ノ問題ハ、御説ノ通り是ハ年來ノ非常ニ重大ナ且ツ解決困難ナ問題デアリマス、醫藥制度調査會ニ於キマシテモ、種々論議ノ行ハレタコトハ御承知ノ通りノ事實デ今日ニ至ツテ居リ、未ダ確定意見ノ答申ヲ正規ニ見テ居ラスヤウナ次第デゴザイマスガ、私豫メ醫藥分業ガ宜イトカ惡イトカ、サウ云フコトヲ輕々ニ自分トシテ只今申上グベキ段階ニ到達シテ

居リマセス、其ノ問題ハ非常ニ大切ナ問題デアルト同時ニ、最モ慎重ニ取扱ハネバナラス、ト言ツテ永ク放ツテ置ケナイ、何トカ裁斷ヲセネバナラス問題デアリ、裁斷ヲスルニ付テハ理論ノ方面カラモ、我國ノ實際狀態ノ上カラモ、我國ノ事實ノ現狀、日本ノ國民性、有ユルコトヲ綜合致シマシテ、慎重ニ考慮判斷スベキコト考ヘテ居リマス、未ダ就任以來日淺ウゴザイマスノデ、ソレ等ノ判斷ノ資料ト云フモノヲ十分ニ取扱ヒ得テ居リマセヌノデ、何トモドウ致スト云フ御約束ヲ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、是非其ノ問題ニ付テ眞面目ナ検討ヲ致シ、出來レバ適正ナ判斷ヲ下シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

○伊東委員 御話ノ如ク醫藥分業ノ制度確立ノ問題ハ、非常ニ重大性ヲ持ツテ居ルノデアリマス、併シハ成ベク早く御解決ニナルコトガ宜イト思ヒマスノデ、出來ル限リ速カニ御裁斷アラレルヤウニ希望シマス、更ニモウ一點御尋致シタイコトハ、今マデノ厚生政策ト致シマシテハ、大體花柳病、傳染病、癩病、「トラホーム」、結核、此ノ豫防法ノ法律ヲ中心ニシテ、今日マデ衛生、醫療其ノ他ノ施設ニ付テ進ンデ居ラレタノデアリマスガ、今回劃期的ノ體力管理制度、及ビ此ノ今回ノ優生法案ハ、洵ニ私共結構ナコトト思フノデアリマス、然ルニ只今制定サレテ居リマスル、以上申上ゲタ數多ノ法律ノ實施ノ狀況ハ、此ノ法律ノ命令ニ依ツテ、地方デハソレ／＼施設ヲヤツテ居リマスルケレドモ、奈何セン、補助金ガ六分ノ一デアリマスノデ、其ノ他ハ總テ地方負擔ニ依ツテ支出ヲヤツテ居ルト云フヤウナ關係デ、其ノ目的ガ十分ニ達セラレナイノ

デアリマスルガ、無論補助額ノ十分ナル増額ヲ政府トシテモ希望サレテ居リマセウ、併シ財政ノ關係上出來ナイト致シマシテモ、是ハ何トカサレナケレバ、唯此ノ法律ガ斯ウ云フ工合ニナリマシテモ、事實施設ノ上ニ金ガナケレバ出來ナイト思ヒマスガ、此ノ補助金ヲモウ少シ御増シ下サルヤウナ御決心ハナイデアリマセウカ、今年ハ已ムヲ得スト致シマシテモ、何トカシテ戴カナケレバナラスト思フノデアリマスガ、御意見ヲ承リタイ

○吉田國務大臣 國民ノ保健衛生ノ上ニ於テ改善ヲ圖リマスル爲ニ、御説ノ通り法制ノ力ニ依ルコトモアリマスルガ、結局事實其ノ仕事ガ十分ニ舉リマセヌケレバ、一片ノ法律ダケデハドウニモナラス點ガ大部分デアルト思フノデアリマス、法律ヲ運用スルコト自體、法律ノ效果ヲ舉ゲル爲ニ全力ヲ盡クスト云フコトハ、是ハ爭ハレナイ事實デアリマシテ、今日マデ左様ナ衛生保健方面ニ關シマシテ、是デ十分ダト云フマデノ經費ヲ國家ガ支出致シテ居リマセヌコトハ甚ダ遺憾ニ私モ考ヘテ居リマス、併シ一方國庫財政ノ都合モアリマスルノデ、已ムヲ得ズ斯ウ云フ現狀ニナツテ居ルコトトハ思ヒマスガ、今後ノ日本ノ發展ト云フコトニハ殊ニ其ノ點ニ重點ヲ置カナケレバナラスト思ヒマス、又世間一般ノ其ノ問題ニ對スル重要性ノ認識モ、昔ト比ベマスト餘程程度ガ高マツテ參ツテ居リマスルニ付キマシテハ、一方輿論ノ御後援ヲ得マシテ、精々其ノ點ニ於キマシテモ經費ヲ充實シ、施設ヲ完成スルト云フコトニ萬全ヲ盡シタイト云フ覺悟ヲ持ツテ居ル譯デアリマス、今年ハ私就任日淺ウゴザイマシテ、其ノ方面ニ

關スル何等新シイ、目ボシイモノノ提案モ出來マセヌデシタガ、ソレデモ前内閣カラ受繼ギマシタ豫算ノ中ニ相當積極ナ衛生施設トシテノ經費ガ——不満足トハ仰セラレカモ知レマセヌガ、見積ラレテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、今後ハ一層其ノ點ニ力ヲ致サネバナラスト思フテ居リマス

○伊東委員 モウ一點極ク簡單デス、只今ノ補助額増額ニ付テハ特段ノ御配慮ヲ願ヒタイノデアリマス、モウ一ツ無醫村ノ問題デアリマスガ、是ハ始終私主張致シテ居リマスルガ、無論厚生省トシテハ主ナル施設ノ一ツニナツテ居リマス、然ルニ統計ニ依リマスルト、全然醫療機關ノナイ、町村ガ二千六百七十六、出張診療ノアル町村ガ九百二十二、計三千五百九十八只今無醫村ガアルノデアリマス、而モ一ツノ縣デ百箇町村以上ノ無醫村ヲ持ツテ居ル縣ガ十三アルノデアリマス、福島縣ノ如キハ二百二十五、茨城縣ノ如キハ二百五十六ト云フヤウナ洵ニ氣ノ毒ナ事實ガアルノデアリマス、又私ノ宮崎縣ノ如キハ、無醫村ハ此ノ頃非常ニ少クナツテ參リマシタケレドモ、交通不便ナ所ガアリマシテ、一遍醫者ヲ頼ミマスルト其ノ往診料ガ段々アリマシテ、隨テ、一服ノ醫藥モ戴クコトガ出來ズニ遂ニ見殺シセナケレバナラスト云フヤウナ、實ニ憐ムベキ事情ガアルノデアリマスルカラ、此ノ無醫村ニ對スル施設ニハ特段ノ御留意ヲ願ヒタイト思フノデアリマスガ、先程ノ御話ノ通り今後特ニ此ノ問題ニ付テノ御配慮ヲ願ヒタイト云フ意味合ニ於テ、大臣ノ御意見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

只今御述ニナリマシタコトハ、私共全然感ヲ同ジウスル者デゴザイマス、一舉ニ此ノ問題ヲ解決スルト云フコトハ中々ムツカシイカモ分リマセヌガ、精々左様ナ氣ノ毒ナ村ノナクナルヤウニ力ヲ致シタイト存ジマス、方策ト致シマシテハ色々ノコトガ考ヘ得ラレト思フノデアリマスガ、是ハ既ニ御存ジノコトデアルト思ヒマスカラ、事々シク一ツ／＼ノ方策ヲ列舉スルコトハ致シマセヌガ、有ユル手段ト方法ヲ盡シマシテ、左様ナ醫療ヲ受ケヨウニモ絕對受ケラレナイト云フヤウナ氣ノ毒ナ無醫村ヲナクスヤウニ致シタイト思ヒマス

○青木委員 私大臣ガオ出デノ機會ヲ幸ニ一寸癩豫防ノ問題ニ付テ御尋シタイト思ツテ居リマシタガ、實ハ私ノ質問ハ丁度今伊東君ガ全ク同様ノコトヲ御尋ニナリマシタノデ、繰返サユウデ甚ダ恐入リマスガ、私モ伊東君ノ御説ノ通り、結核及ビ癩ナドノ豫防法ガ如何ニモヤリ方ガ消極的デアリマシテ、是ハ何トカシテ一ツ大々的ニ勇敢ナ御覺悟ヲ御持チ下サツテ、豫防法ノ完備ヲ期スルヤウニシテ戴キタイト思ヒマスガ、特ニ私ハ一言大臣ノ御勇敢ナル御處置ヲ御願シタイノ癩ノ癩養所デアリマス、癩ノ癩養所ヲ國ナリ縣ナリ建テヨウト思ヒマシタ所デ、現在ノ所癩病ノ癩養所ナドト申シマスルト、其ノ村ハ尙更ノコト、其ノ附近村落ハ全部之ニ反對致シマス、容易ナコトデ此ノ癩養所ヲ設置スルニ至リマセヌ、所ガ癩患者ハ、此處ニモ大分統計ハ出デ居リマスガ、私ハ此ノ統計ナドハ逆モ信ヲ措クニ足ラヌノダト存ジテ居リマス、恐ラクハマダ／＼多イ患者ノ數ヲ見出スニ達ヒナイト思フノデアリマスルガ、此ノ場合ニ

癩療養所ノ設置ノ必要ナルコトハ申スマデ

モナイニモ拘ラズ、其ノ癩療養所ノ設置場所ニ付テハ相當苦心ヲシナケレバナラヌト云フ状態デアリマス、私ハ此ノ場合ニ大臣ガ一段下御勇敢御處置ニ出マシニナツテ、或ハ何處カノ離レ島デアルトカ、或ハ何處カノ別天地ヲ一ツ區劃サレマシテ、其處ニ大々的、積極的ナル癩療養所ヲ御建テニナルド云フダケノ御考ハナイカ、現在ノヤウデアレバ私ハ無イヨリハマシダト云フ位ノ程度ノ結核ナリ癩ノ豫防療養所ヲ存ジマシテ、此ノ場合ハ今伊東君モ御述ニナリマシタ通り、殆ド國家ノ元氣ノ本ニナル國力ノ充實デアリマスルノデ、ドウカ此ノ意味ニ於テハ大臣ノ一段ノ勇敢ナル御決心ヲ願ヒタイト存ジマス、是ハ希望デアリマスルカラ、御説明ヲ願ヒマセスガ、是非トモ何等カ大的、積極的ノ御處置ヲ願ヒタイト存ジマス、ソレカラ衛生局ナリ豫防局ノ方ガオ居デデアリマシテ、甚ダ何デスガ一ツ御尋ラシテ置キタイノハ、現在「レプラ」ノ遺傳的學說ハドノ位マデ進ンデ居リマスルカ、私共癩ノ傳染性ノアルト云フコトハ、是ハモウ何人モ疑ヲ容ルルコトハ出來マセスガ、遺傳關係ニ於テノ御調査ガアリマスルナラバ、癩ノ遺傳關係ガ現在ノ學術上ドレダケノ所マデ進ンデ居リマスルカ、御聽カセヲ願ヒタイト存ジマス

○高野政府委員 癩ガ傳染病デアリマスル

コト、是ハ御話ガアリマシタ通りデアリマス、唯實際ノ狀況ヲ見マスルト、癩ノ家族ニ癩患者ガ出來ルコトハ是ハモウ事實デアリマシテ、癩患者ニ付テ其ノ家系ヲ調べマスト、家族ニ癩患者ノアツタ者ノ方ガ何モ患ヒノナカツタ者ニ比ベマシテ遙ニ多イノデアリマス、隨テ何カ遺傳ノ關係モナイカト云フコトガ疑問トナリマシテ、即チ癩ニ罹リ易キ體質ガ遺傳シハセスカト云フ點デアリマス、是ハ新シイ一ツノ想像デアリマシテ、確實ナル證據ガゴザイマセスシ、目下ノ所癩菌ト云フ癩ノ病原體ガ證明サレテ居ルノデアリマスルカラ、假ニ體質ニ多少罹リ易キ素質ヲ遺傳スルト云フコトガアルトシマシテモ、是ハ意味ガ輕ウゴザイマス、丁度結核ガ元ハ遺傳病ト謂ハレタ程度ト同ジ類カト思フノデアリマス、又前ニハ母胎内ニ於テ感染スルコトガアリハシナイカト云フ研究モゴザイマシテ、極メテ稀ニハ或ハソレモ起リ得ルカモ知レヌト云フ報告ガ僅カデアリマスルガ、恰モ胎内ニ於テ癩菌ヲ受取ツタ如キ胎兒ヲ研究報告サレタ例ガゴザイマスレドモ、只今申上デマシタヤウナ程度デ癩ノ遺傳ハ意味ガ極メテ輕イモノデアアル、斯ウ考ヘテ居リマス

拓クト云フコト、是ハ是カラ御審議ヲ願フ

點デアリマス、優生遺傳ト云フ點ニ於テハ是ハ行ハナイノデアリマス

○青木委員 私ノ質疑ハ終リマシタ

○伊東委員 先程農村衛生施設ニ付テ御尋シタノデアリマスガ、此ノ農村衛生ノ破壊ノ原因ハ色々アリマスガ、其ノ一番主ナルモノハヤハリ結核デアリマス、殊ニ最近農村ノ勞力ヲ或ハ女工トシテ、或ハ職工トシテ都會ノ工場ニ持ツテ行キマス、此ノ工場ノ施設ノ不完備ノ爲ニ遂ニ結核ノ傳染ヲ受ケルト云フ此ノ系統ガ一番多イヤウデアリマス、而シテ傳染ヲ受ケルト工場資本家ハ之ヲ農村ニ追還ヘルスノデアリマス、是ガ農村ニ段々結核ノ殖エル大キナ系統ダト考ヘテ居リマス、ソコデ此ノ問題ニ付テハドウシテモ何トカ方法ヲ考ヘテ戴カケレバ農村ノ衛生ト云フモノハ本當ニ破壊シ切ルノデアリマス、仍テ先ヅ是等ノ費用モ此ノ工場資本家ニ全部治療費ヲ出サセルバカリデナクシテ、是ハ斷ジテ農村ニ追還ヘサナイ方法トシテハ、ドウシテモ結核療養所ヲウシト造ツテ、其處ニ持ツテ行カケレバナラヌト云フコトニナリマス、或ハ資本家ガ獨自ノ立場デ責任ヲ負フベキモノダト思ツテ居リマスガ、此ノ點如何デアリマスカ、モウ一ツ結核ノ問題トシテ小學教員ノ結核問題デアリマス、是ハ極ク最近ノ統計デアリマスガ、宮城縣デ結核ノ診斷ヲ行ツタ統計ニ依リマス、二千人中ニ再検査ヲ要スル者ガ百二名、内四十名ハ勤務ニ注意ヲ要スル者、四十七名ハ保養ヲ要スル者、斯ウ云フ工合ノ統計ヲ發表シテ居リマス、而シテ保養ヲ要スル者ガ兒童等ト共ニ同室デ教育ヲシテ居リマスノデ、洵ニ以テ危險千

萬ダト私ハ考ヘルノデアリマス、而シテ是

等ノ原因ハ無論薄給或ハ激務ト云フヤウナ點モ其ノ一ツデアリマセウガ、或ハ此ノ小學教員ニ特ニ結核ノ多ク發生スル原因等ニ付テ御調査ガアルナラバ此ノ點、及ビ是等ニ對スル對策如何ト云フヤウナ點ニ付テ御答願ヒタイト思フノデアリマス

○高野政府委員 結核ノ問題デゴザイマスノデ私カラ御返事申上デマス、工場労働者ニ結核患者ノ澤山ゴザイマスノハ事實デアリマス、此ノ對策ト致シマシテハ、工場内部ノ衛生施設ヲ漸次改善スルト云フコトガ一ツデアリマスガ、一方健康保險ニ依リマス診療ヲ充實致シマシテ、殊ニ結核療養所ノ施設、或ハ健康相談ノ施設等ガ逐次整備セラレテ參リマスルカラ、只今ノ所マデハ甚ダ不完全デアルヤウニ存ジマスレドモ、段々ト此ノ方ノ改善ノ跡モ示スデアラウト存ジマス、小學校ノ教員ニモ結核ガ甚ダ多ウゴザイマス、是ハ年齡ノ關係モゴザイマスガ、從來ハ身體虛弱ナル青年ガ却テ教育者ヲ志願シタト云フヤウナコトモ考ヘラレタノデアリマス、師範學校ノ生徒ノ健康狀態ハ他ノ同年齡ノ學校ノ生徒ノ健康狀態ヨリモ今マデ概シテ惡ウゴザイマシタ、ソコデ先生ガ學校ニ在ル時カラ既ニ結核ヲ患ツテ居ル者ガ相當アツタヤウナ次第デアリマス、又小學校教員ノ職務モ概シテ結核ヲ誘發シ易イヤウナ生活環境ヲ持ツテ居リマスノデ、斯様ナ色々ノ原因ガ重ナリマシテ小學校教員ニ結核ノ多イト云フ事實ヲ作り出シタノデアラウト思ヒマスガ、此ノ對策トシマシテ是ハ文部省ニ於テ考ヘテ居ルコトデアリマスガ、漸次小學校教員ノ身體検査等モ結核豫防ノ目的ヲ以テ嚴密ニ致シマス、又

其ノ發見致シタル患者ノ處置トシテ、小學校員ノ保養所ヲ作ツテ參リマス、斯様ニ致シマシテ段々ト此ノ問題モ解決ノ緒ニ就クコトト思フテ居リマス

○伊東委員 結核ノ豫防ニ對スル對策ニ付テハ、特段ノ御注意ヲ御願致シテ置キマシテ、更ニ優生問題ニ付テ御尋ヲ致シマスガ、日本ガ世界デ一番生産率ガ多イト云フコトニ大體ナツテ居ルノデアリマス、昭和十年ノ世界各國ノ出生率ハ英國ガ十五、佛蘭西ガ十五、亞米利加ガ十七、獨逸ガ十八、伊太利ガ二十三、日本ガ三十一ト云フコトニナツテ居リマシテ、日本ハ文明國中最モ其ノ率ガ高イノデアリマス、茲ニ御尋致シタイコトハ、私印度ト支那ト露西亞ノ繁殖率ノ統計ヲ發見致シマセヌノデ、此ノ數字ヲ御示シテ願ヒタイト思ヒマス、大體繁殖力ノ多イ國民ガ戰爭ニ強イト云フコトニナツテ居リマス、サウ致シマス私ノ見ル所デハ日本以上ニ印度、支那、露西亞ハ繁殖力ガ多イト想像ヲ致シテ居ルノデアリマス、將來日本ノ國力發展及ビ國防上ノ立場カラ對象ニナルノハ、ヤハリ支那、露西亞或ハ將來ノ印度ナドハ餘程考ヘナケレバナラナイ問題ダト思フノデアリマスガ、但シ支那ノ中デモ北支南支ノ方ハ繁殖力ガ非常ニ多イノデアリマスケレドモ、ズツト北ノ方殊ニ蒙古ハ繁殖力ガ少イト考ヘテ居リマス、殊ニ蒙古ニハ純粹ナ蒙古人種ト云フモノハ段々減ツテ參リマシテ、只今ハ所謂漢人種ガ蒙古人ノ大部分ヲ成シテ居ルト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ原因ニ付テハ私共見聞ガ狹クテ分リマセヌガ、大體ニ於テソレハ遺傳病ノ關係デアリマス、殊ニ惡性ノ梅毒ノ關係デアル、其ノ媒介者ハ誰カト云フト、

向フハ政治其ノ他ノ關係デ實ハ喇嘛僧ガ一番勢力ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ喇嘛僧ソレ自體ガ亂淫デアル、喇嘛僧ノ遺毒保菌者ガ澤山アルト云フコトデ、是ガイツノ傳染系統ダト云フヤウナコトモ聞イテ居ルノデアリマス、何レニ致シマシテモ唯繁殖力ダケアツタノデハ駄目デアリマス、健全ナ優秀ナル素質ヲ有スル國民ガ澤山居ルト云フコトガ必要デアリマスノデ、是等ノ諸點ニ付テ政府ハドウ云フ工合ニ御考ニナツテ居リマスカ、御伺致シマス

○高野政府委員 只今ノ御尋ノ支那、印度、露西亞、共ニ統計ノ餘リ完備シテ居リマセヌ所デアリマシテ、手許ニ正確ナ數字ハゴザイマセヌガ、出來マスルダケ良イ數字ヲ見付ケマシテ、見付ケ得ラルルダケ調ベマシテ、追テ御答致シタイト存ジマス、蒙古方面ノ人口増加ノ低キ原因トシテ梅毒ノ蔓延ガ考ヘラルルサウデアリマスガ、是ハ多分事實デアラウト存ジマス、數ガ多イト云フコトノミデハ國力發展ノ根基ヲ強クスル譯デハナイコトハ御話ノ通りデアリマシテ、是ハ優質ナル者ガ數ヲ増サネバイケナイノデアリマスカラ、其ノ爲ノ一端トシテ優生法案モ考ヘマスルシ、其ノ他良ク生レマシタル者ガ良ク育ツ、長ク生キルト云フコトデアリマスルカラ、公衆衛生全般ノコトト相伴ヒマシテ十分努力セネバナラヌコト、先程大臣カラ御答申上デマシタ通りデアラウト、斯ウ信ジテ居リマス

○伊東委員 多產獎勵ト人口政策ニ付テ御尋スル前ニ、一ツ統計ヲ示シテ戴キタイモノガアルノデアリマス、ソレハ結婚シテ子ノナイ者、一人、二人、三人、四人トソレゾレ子供ノアル數ガ全國的ノ統計デドウナツテ居ルカ、私町村々々デハ調ベタコトガアルノデアリマス、一村ニ付テ、五人子供ヲ生ンダ者ガ幾ツ、或ハ八人ガ幾ツ、十人ガ幾ツト云フヤウナ統計ヲ數箇町村ニ付テハ調ベタコトガアリマスルケレドモ、全國的ニ厚生省デ御調べニナツテ居ル數字ガアレバ此ノ點ヲ一ツ、モウ一ツハ九十歳以上ノ現在ノ生存者ノ統計ヲ、是ハハツキリシタモノガアルドラウト思ヒマスカラ此ノ點ヲ御示シ願ヒタイト思フノデアリマス、是ハ八人數デアリマス

○高野政府委員 只今ノヤウナ數字、是ハ非常ニ必要デアリマスノデ人口問題研究所ナドニ於キマシテモ、全國ニ互ツテ是カラ調査シヨウ、斯ウ云フ譯デゴザイマス、只今餘リ正確ナ數字ヲ持ツテ居リマセヌ

○伊東委員 此ノ數字ガハツキリ致シマセヌト人口政策ノ解決ハ出來マセヌ、又一面多產獎勵ト云フコトモ出來マセヌノデ、此ノ基本數字ノ統計ガ世ニ現レテ、初メテ總テノ根據ガ出來テ政策ガ行ハレルモノト思フノデアリマスカラ、出來ルダケ早急ニ御調査ヲ願ヒタイ、私ハ數箇町村ニ付テ調ベタモノハ持ツテ居リマスガ、是非全國的ニ御願致シタイト思ヒマス、ソコデ多產獎勵ノ手段トシテ、ドウスレバ宜イカト云フコトニ付テ外國デハ色々ノ多產獎勵ノ方法ヲ採ツテ居ルヤウデアリマス、例ヘバ伊太利ニ於キマシテハ多產家庭ニ對スル課税ノ輕減、子供ニ對スル加俸ノ制度、家庭手當ノ制度、結婚貸付金、獨身税ノ制定、多產者ノ無料乗車、或ハ母性保護、又佛蘭西デハ多子家庭ノ補助、多產者、求妻者ノ法律、多產者官吏ノ手當、學資ノ無料又ハ輕減、或ハ多產家庭ノ住居保護、家庭保證金

庫ノ制度、獨逸デハ結婚貸付金、租税ノ輕減、或ハ子供ノ補助金制度等ガ法制的ニ、或ハ補助政策的ニ設ケラレテ居ルヤデアリマス、日本デハ多產獎勵ノ方法トシテハ大體母子保護法ノ制定ガ前々議會デ行ハレマシタ、ソレカラモウ一ツハ多數軍人家族表彰規定、只今ハ優良兒ノ展覽會ニ表彰ヲヤツテ居ル位デアリマスガ、私ハ優生法ノ制定ト共ニ一番注目シナケレバナラヌ要點ハ、如何ニシテ優生健康兒ヲ多ク繁殖セシムルカト云フ方法デアリマス、之ニ付テ何等ノ施設ガナイヤウデアリマスガ、如何様ナル御考ヲ持ツテ居ラレルノデアリマスカ、御答辯願ヒタイト思フノデアリマス

○高野政府委員 只今ノ點ハ目下研究中デアリマシテ、只今申上ゲル程ノ熟シタル對策ハゴザイマセヌ

○伊東委員 豫算ノ上ニモゴザイマセヌカラ無論其ノ點ハナイト思ヒマス、併シ私ハ此ノ問題ガ當面セル大キナ日本ノ大政策ダト考ヘテ居リマス、日本ノ多產獎勵ヲ如何ニスルカト云フコトニ付テ、私及バズナガラ私案ヲ持ツテ居リマスルノデ、一部小サイ本ニ發表シタヤウナコトモアルノデアリマスガ、是モ一ツ政府ト致シマシテハ相當ナ施設ヲサレンコトヲ特ニ希望致シテ置キマス、只今議會ヲ通ジテ生産力擴充ト云フコトガ絶叫サレテ居リマス、是ハ私共獨リ物資資材ノミデハナイ、第一ノ問題ハ人的資源ノ確保デナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、唯單ニ石炭、木炭、米、肥料ヲ多ク作レバ補助金ヲヤル、獎勵金ヲヤル、又議會デモ獎勵金ヲヤレ、補助金ヲ渡セト云フ主張ガ非常ニ多イノデアリマス、又現ニ地方ノ町村ノ農會邊リデハ馬ノ仔ガ餘計出來テ

庫ノ制度、獨逸デハ結婚貸付金、租税ノ輕減、或ハ子供ノ補助金制度等ガ法制的ニ、或ハ補助政策的ニ設ケラレテ居ルヤデアリマス、日本デハ多產獎勵ノ方法トシテハ大體母子保護法ノ制定ガ前々議會デ行ハレマシタ、ソレカラモウ一ツハ多數軍人家族表彰規定、只今ハ優良兒ノ展覽會ニ表彰ヲヤツテ居ル位デアリマスガ、私ハ優生法ノ制定ト共ニ一番注目シナケレバナラヌ要點ハ、如何ニシテ優生健康兒ヲ多ク繁殖セシムルカト云フ方法デアリマス、之ニ付テ何等ノ施設ガナイヤウデアリマスガ、如何様ナル御考ヲ持ツテ居ラレルノデアリマスカ、御答辯願ヒタイト思フノデアリマス

モ、豚ノ仔ガ餘計出來テモ、鶏ガ出來テモ、之ニ補助金ヲヤルノデアリマス、況ヤ一番大切ナ人間ノ子ガウント出來デ之ニ何等ノ助成ノ方法モナイト云フヤウナコトハ、甚ダ以テ適當デナイト考ヘテ居リマス、一體金持ニハ子ガ出來マセス、是ハ統計ガ明ニ示スデアリマス、然ルニ貧乏人ノ子澤山ト申シマシテ、貧乏人ハ頗ル子ガ多イデアリマス、私ノ調査シタ所ニ依ルト、大體生レテカラ徴兵検査ヲ受ケルマデニ、中以下ノ家庭デアツテ所謂女學校、中學校ニ入レナイ家庭デアツテ金ガ掛ルカト云フコトヲ緻密ニ調べテ居リマスガ、先ヅ二千圓掛ルノデアリマス、一年平均百圓ヅツノ金ガ掛ルノデアリマス、ソコデ一人ノ子ヲ育テルノニ徴兵検査所謂成人サセルマデニ二千圓要ルトスルナラバ、貧乏人ニ十人ノ子供ガ出來タト致シマスト二萬圓ノ金ガ茲ニ要ルノデアリマス、貧乏人ノ子澤山ト云フコトヲ申シマスガ、是ハ貧乏スルガ故ニ子ガ澤山出來ルノデヤナイノデアリマス、子ガ出來ルカラ貧乏スルノデアリマス、先程申上ゲマスヤウニ二千圓掛レバ十人デ二萬圓金ガ掛ル、其ノ金ヲ出サナケレバナラス、反面ニ金持ハ子ガ出來ヌカラサウ云ツタヤウナ金ハ出サヌデモ宜シト云フコトニナル、是ハ可笑シイヤウナ話デアリマスケレドモ、相當根據ノアル問題ダト考ヘルノデアリマスカラ、私ハ此ノ見地カラ子ノ澤山出來ル者ニ對スル助成ノ途ヲ開イテ貴ヒタイト思ツテ居リマスガ、如何デアリマスカ、大臣カラ御答願ヘレバ幸デアリマス

問題デアリマスノデ私カラ御答致シマス、洵ニ御著眼御尤モニ存ジマス次第デ、全然御同感デアリマス、優良ナ素質ヲ持ツタ子供ガ澤山出來ル、ソレガ健全ニ育ツヤウニト云フコトノ爲ニハ、國家ハ今後全面的ニ力ヲ致サネバナラスト思フノデアリマス、單ニ豫防局ノ主管ノミナラズ厚生省ノ有ユル部局、社會問題ヲ取扱フ所モ、勞働問題ヲ取扱フ所モ、有ユル部局ヲ舉ゲマシテ此ノ問題ノ爲ニ力ヲ注ガネバナリマセス、尙ホ厚生省ノミデナクシテ、例ヘバ税制ノ上ニ於キマシテ大藏省、農村生活ノ上ニ於キマシテ農林省、産業生活ノ上ニ於キマシテ商工省或ハ國防ノ見地カラ陸海軍省ト云フヤウニ、各省ガ十分聯繫ヲ保チマシテ、ソレゾレノ受持ニ於テ日本國民ノ優良ナ素質ヲ持ツタ者ノ充實致シマスコトニ全力ヲ注グ必要ガアルト思フノデアリマス、私共主トシテ其ノ問題ヲ取扱フ職責ヲ持ツテ居リマスニ付キマシテハ、各省ト十分ナ聯繫ヲ保チマシテ、此ノ問題ヲ誤ナク解決シテ行クコトニ努力致シタイト思ヒマス

○伊東委員 只今厚生大臣カラ洵ニ力強い御答辯ヲ得マシタガ、恐入リマスガ、モウ一點厚生大臣ニ御尋ラシテ置キタイト思フノデアリマス、多產獎勵ノ方法トシテハ、現在ノ所デハ體力ノ國家管理ト云フヤウナコトヲヤリマシタガ、是ハ出來タ子供、青年ニ對シテ行フ健康ノ保全方法デアリマス、併シ多產獎勵ノ根本ハ多產系ノ母性ヲ保護スルト云フコトデアリマス、ソレトモウ一ツハ生レタ子ニ對スル助成ヲシナケレバナラナイ、現在乳飲兒ノ死亡率ノ如キハ世界デ日本ガ一番多イノデアリマス、是ハ色々ナ關係モアリマセウガ、主トシテ經濟的係ヲ考ヘナケレバナラスト思フノデアリマスカラ、此ノ母性保護ト經濟的ノ援助ノ立場、モウ一ツハ子ヲ澤山生ム者ノ社會的幸福ヲ表徴スル爲ニ、母ノ勳章ノ制度ヲ設ケテ戴キタイト私ハ考ヘルノデアリマス、私ノ試案ニ依リマス、先ヅ四人マデハ勳章ヲ與ヘル必要ハアリマセス、五人以上ニ對シテハ是非母ノ勳章ヲヤル、ソレカラ一人ヲ増ス毎ニ一ツツ母ノ勳章ヲ増ス、十人子ガ出來タ場合ニハ五ツノ母ノ勳章ヲ渡ス、勳章ヲヤツタダケデハイケマセスカラ、一ツノ勳章ニ對シテ少クトモ年金百圓ヲ附ケテヤルト云フ方法デアリマス、十人子ガ出來ルナラバ、五ツノ母ノ勳章ト五百圓ノ年金ヲ貰ヘルト云フ方法デアリマス、之ニ付テ先程ノ統計ガアルト、ドレ位ノ金ガ要ルカト云フコトガ分ルノデアリマスガ、私ノ調査ニ依ルト、五人以上子ヲ生ム夫婦ト云フモノハ餘計ニハナイノデアリマス、況ヤ十人、十二三人ト云フヤウニ子ヲ生ム人ハ極メテ少イノデアリマス、是ハ左様ナ制度ヲ設ケレバ非常ニ金ガ要ラウト云フ御想像ガアルノデアリマスガ、是ハ大シタ金ハ要ラナイノデアリマシテ、而モ其ノ方法タルヤ多產獎勵ノ最モ效果的ノ方法ダト考ヘテ居リマス、獨逸ニ於ケル母ノ勳章ノ制度ハ極メテ貧弱ナ方法デアリマスカラ、日本ハ左様ナ方法デナク、一ツ獨特ナ方法ヲ御考願ヒタイト思ヒマス、私ハ優生法ノ法制ヨリモ何ヨリモ人口問題ノ解決ハ此ノ方法ニ限ルト考ヘテ居ルノデ、日頃ノミ考ヘテ色々研究致シテ居ル譯デアリマス、大臣ノ御所見ヲ伺ヒマス

○吉田國務大臣 洵ニ結構ナ案カト存ジマスガ、只今人口問題研究所ニ於キマシテ、國民全部デハアリマセヌケレドモ、都市、農村、有ユル職業分野ニ分チマシテ子供ヲドウ云フ風ニ生ンデ居ルカ、男女別ガドウデアルカ、人數ハドウデアルカト云フコトノ「カード」ヲ配付シテ調ヲ致シテ居リマス、數十萬ノ人ニ付テ調ベラレマシタナラバ、我サウ云フモノガ調ベラレマシタナラバ、我國人口問題解決ノ上ニ非常ニ貴重ナ資料トナルト考ヘルノデアリマス、是ハ今調査中デアリマシテ、調べ上リマスマデニハ相當ノ日月ヲ要スルト思ヒマスガ、サウ云フコトノ調ト併セテ如何ニシテ澤山ナ、而モ優良ノ子供ヲ生ミ且ツ育テルカト云フコトニ付テノ獎勵方法等ニ付キマシテ、十分考慮シテ行キタイト思ヒマス

○伊藤委員 大臣ノ非常ニ力アル御答ヲ得マシテ、是ハ人口政策ノ上ニ相當興味アリ、且ツ適當ナ施設制度ダト思ツテ居リマスノデ、是非一ツ他ノ事務當局ニ於テモ御研究ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、モウ一點御尋シテ置キマスコトハ、是ハ大臣デナクテ、局長ニ御答辯ヲ願ヒマスガ、日本ハ多死多產ノ國デアリマス、日本位多死デアリ、多產ノ國ハ先ヅアリマセス、此ノ多死ノ中デモ、乳兒ノ死亡率ハ日本ハ非常ニ高イノデアリマスガ、大體ニ世界デ二番目ニナツテ居ルヤウデアリマス、印度ノ二百四十九ニ對シテ日本ハ百八十九、一番少イノガ獨逸ノ百八デアリマス、是ハ先程申上ゲマシタヤウニ、此ノ死亡率ヲ中心ニシテ乳兒ニ對スル健康保持及ビ完全ナル育成ヲセシメルト云フコトガ、人口問題解決ノ上ノ重點デアルト考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル御所見、ソレカラ壽命ニ於キマシテハ世界文明國ノ中デ日本ガ一番短命デアリ

マス、丁抹ノ六十歳三分ニ對シテ日本ハ男子ガ四十二歳一分、女子ガ四十三歳二分ニ相成ツテ居リマス、人口問題ノ關係カラシテ、今度ハ逆ニ此ノ人口ノ維持ヲ致シマスコトハ、獨リ繁殖力ダケデナクテ此ノ長命策ヲ立テルコトガ非常ニ必要デアリノデアリマスガ、一體此ノ長命策ニ對スル對策如何ト云フ問題ニ付テ御尋スル次第デアリマス

○林政府委員 只今御質問ノ中ノ前段ニ付キマシテハ、御説ノ通りニ多死多産ノ國デアリマス、併シ最近順次死亡率ガ減ツテ居ルノデアリマスガ、乳幼児、特ニ乳兒ノ死亡ニ於テハ中々減ラナイノデアリマス、若シ過去三十年間ニ於ケル英獨佛等ノ如ク、一歳マデノ乳兒ノ死亡率ヲ半減スルガ如キ勢ヒヲ以テ、日本モ三十年間ニ衛生其ノ他ノ施設ガ進ミシタナラバ、今日ヨリハ遙ニ少イ死亡率ニナルベキ筈デアリマシタモノガ、我國ニ於テハ過去三十年間ニ僅カニ十五・一ノモノガ十一・一ニシカ下ツテ居ナイノデアリマス、洵ニ残念ナコトデアリマシテ、今日ノ事情カラ申シマス、多産ヲ獎勵スルコトノ必要ヨリ以上ニ、私共ノ方ニ於テハ折角生レマシタ子供ノ死亡セザルコトヲ念願シテ居ルノデアリマス、本年厚生省ト致シマシテ、是等乳兒ニ對スル檢診ヲ初メ是ガ健康ニ育ツベク育兒上ノ注意ヲ與フベク相當多額ノ費用ヲ計上致シマシタノモ、是等ノ必要カラ起ツテ參ツタノデアリマス、後段ノ問題ニ付キマシテハ、我國平均壽命ハ最近ニ於テ相當ノ延長ヲ見タノデアリマスガ、御説ノ通り外國ニ較ベマスト尙ホ及バザルコトガ甚ダシイノデアリマス、併シ本問題ハ所謂我國ノ結核其ノ他一

般ノ衛生狀態ガ改善サレマセス限リニ於キマシテハ、特ニ取立テテ言フ程ニハ平均壽命ヲ延長セシメルノ方法ハナイモノト考ヘテ居ルノデアリマス、特ニ御承知ノ如ク、二十三・四歳頃ニ於ケル結核死亡ノ實情カラ見マス、是等結核對策ノ一ツガ我國國民ノ平均壽命ノ上ニ相當ノ響キガアルコトハ無論デアリマスケレドモ、今日我國ニ於ケル死亡ノ原因ヲ調べマシテ、及バズナガラ其ノ最モ大キイ原因ト思ヒマスモノカラ順次之ヲ排除シテ行クヨリ外ニ途ハナイト考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ此ノ機會ニ御許シテ得テ先程青木サンカラノ御質問ニ一寸御答サシテ戴キタイト思フノデアリマスガ、寄生蟲ノ問題ニ付キマシテ、八十五箇町村ニ對スル前後數年ニ互ル調査ノ結果、千人ニ付キマシテ七百八十二人ガ寄生蟲ヲ持ツテ居ルト云フノガ、今日ノ日本ノ農村ノ姿デアリマス、特ニ七十九箇町村ノハツキリシタモノノ出マシタ結果ニ見マス、蛔蟲ニ罹ツテ居リマス者ガ六八%デアリマス、其ノ他十二指腸蟲ガ約一〇%、ソレカラ鞭蟲、是ハ豫防局長ニ伺ヒマス大シテ保健上害アリトモ限ラナイサウデアリマスガ、是ガ約二〇%以上、兎ニ角蛔蟲ガ六八%、農村住民千人ニ付テ約八百人ガ普通ノ場合ニ寄生蟲ニ罹ツテ居ルト云フ實情デアリマス

○伊東委員 乳兒死亡率ニ對スル對策トシテノ完全育成ノ問題ニ付テハ、此ノ上ナガラ十分ナル御配慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、尙ホ私先程農村衛生ノ問題ニ關聯シテ寄生蟲ノ質問ヲ致シマシタガ、今洵ニ適切ナル材料ヲ提供シテ戴イテ深く御禮ヲ申上ゲル譯デアリマス、私ノ知ツテ居ル統計ニ依リマシテモ、最高八割五六分ノ寄生蟲ヲ持ツテ居ル小學校ガアツタコトヲ承知致シテ居ルノデアリマス、併シ只今ノ統計ハ洵ニ是ハ貴重ナ統計ト考ヘマス、更ニ御尋致シマスコトハ、小學校生徒ノ病弱兒ニ對スル對策デアリマスルガ、是ハ若干ノ施設モアルヤウデアリマスケレドモ、尙ホ是デハ駄目デアアル、只今ノ問題ハ乳兒ニ對スル完全育成デアリマスガ、乳兒期ヲ離レテ小學校ニ入ルヤウニナリマシテ、先ヅ入ツテカラ二三年經ツト大體健康兒ニナリマスルガ、ソレマデノ間ガドウモ弱イヤウデアリマスカラ、之ニ對スル對策ヲ如何ニスルカト云フ問題、及ビ各小學校ニ出來得ル限リ衛生婦、所謂看護婦ノ常設ヲスルコトガ必要ダト思ツテ居リマス、只今常設シテ居ル所モ段々アリマスケレドモ、其ノ率モ極メテ少イノデアリマスルガ、是ハ總學校數ノ何割マデ只今常設施設ガアルカ、「パーセンテージ」ダケデ差支アリマセス、先ヅ此ノ點ヲ御伺シタイノデアリマス

○高野政府委員 小學校兒童ノ健康保護ハ實ハ文部省ノ方ノ問題デゴザイマスノデ、或ハ御答申上ゲテモ十分デナイカモ知レマセス、小學校ニ於キマシテハ從來智能ノ啓發ニ割方重キヲ置イタ傾向ガアリマシテ、健康法ハ十分デナカッタヤウナ氣持モ致スノデアリマスガ、追々ト學校衛生施設モ良クナリマシテ、即チ學校ノ校舍設備ノ問題、學校ニ於テ教育ヲスル負擔ノ問題、或ハ試験制度ナドモ近時非常ニ論ゼラレテ居リマスガ、斯様ニシテ身體發育、疾病豫防ノ點モ段々ト進シテ參ツテ居ルヤウニ思ヒマス、結核ノコトナドハ、恰モ私ノ方ト共同デ致シマスノデ稍、承知シテ居リマス、今後學校衛生ニ於キマシテ結核性ノ疾患ノ防退ニハ格別ノ力ヲ致スヤウナ仕組ニ相成リマシテ、健康診斷ヲ特ニ結核豫防ノ目的トシテ十分ニ行ヒ、又其ノ發見シマシタ兒童ニ付キマシテハ、或ハ收容保護ヲスルトカ、各般ノソレノ適當ナ取扱ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、學校ノ先生ノ健康保護ト相竝ビマシテ、兒童ノ健康モ段々良クナル譯デアリマス、學校看護婦、是固ヨリ必要ナコトデアリマシテ、段々ト専門ノ看護婦ガ置カレテ居リマスルガ、只今常置シテ居ル「パーセンテージ」ハ、實ハ文部省ノコトデアリマスルノデ、油斷ヲシテ居リマシテ手許ニハゴザイマセス、適當ノ時ニ問合セマシテ御答申上ゲマス

○林政府委員 尙ホ只今ノ點デ補足致シテ置キマスガ、學校ノ子供達ノ爲ノ看護婦ト云フモノヲ、所謂看護婦以上ノモノデアリマスガ、ソレヲ置キタイト云フ希望ガ先年來文部省ニアリマシテ、私共ノ方ト共ニ協力シテ近キ將來ニ學校看護婦ト云フモノガ置カレルコトニナラウト思ヒマス、是ハ現在ノ小學校ノ先生ト同様ノ待遇ヲ與ヘマシテ置カレルコトニナル、詰リ判任官ノ待遇ヲ以テ學校看護婦ト云フモノヲ置キ、小學校ノ生徒達ノ養護、竝ニ校醫ノ指揮ヲ受ケマシテ適當ナル子供ノ指導ヲスル、斯ウ云フコトニ相成ラウカト思ツテ居リマス

○伊東委員 モウ一點御尋シテ私ノ質問ヲ終了致シマス、是モ文部省ノ關係デアリマスルガ、併シ厚生省ノ立場カラ一ツ御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、試験地獄ノ弊ヲ改メル方法トシテ愈、今年カラ其ノ方法ガ變リマシタガ、其ノ方法トシテハ、學校ノ内申、口頭試問及ビ體格檢査ノ大體三ツニナツテ居ルヤウデアリマス、此ノ體格

検査ノ問題デアリマス、口頭試問ノ點數ノ如キハ違フデモ一點カ二點ト云フコトニナラウト思ヒマス、或ハ學校ノ内申ノ問題ニ付テモ、是ハ事實ノ儘デ出テ行クコトト思フノデアリマスガ、唯問題ニナルノハ體格検査ノ採點ノ問題デアリマス、若シ之ヲ採點スルト云フコトニナリマスルト、子供ニ依ツテ十點モ二十點モ違フノデヤナイカト考ヘマス、サウ致シマスルト是ハ及落ニ非常ニ關係ノアルコトデアリマス、一體中學校ニ入ルト云フヤウナ年ノ頃ニハ弱イ者デモ、中學校ニ入レルト云フコト自體ガ學問ダケノ目的デハナクテ、體ヲ良クスルト云フコトモ中學校ニ入レル一ツノ眼目ダト致シマスルナラバ、私ハヤハリ此ノ點ニ重キヲ置キ過ルト云フコトハ適正デヤナイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、厚生省ニ於キマシテハ如何様ニ之ヲ御考ニナリマスカ、モウ一點ハ對校競技ノ問題デアリマス、就中小學校ノ對校競技ト云フモノハ全廢スベシト云フコトヲ私ハ毎年強調シテ參ツテ居リマスガ、今日マデ、多少其ノ弊ハ認メラレテ居ルケレドモ、ヤハリ職業的化シタ對校競技ガアルコトハ、是ハ私共、結核ノ發生率ヲ多カラシメタリ、或ハ貧弱兒ガ尙ホ貧弱ニナルト云フヤウナコトニ相成ルト考ヘテ居ルノデアリマシテ、斯様ナ競技ノ如キハ全廢スベキモノダト思ツテ居リマス、現在ノ日本ハ、競技ニ於キマシテモ、體操ニ於キマシテモ、全部西洋模倣デアリマス、是ガイケナイト思ヒマス、日本ハ獨特ノ競技ガアリ、體操ガアリマス、私ハ日本精神ノ確保ノ如キハ、唯精神バカリデナク、斯ウ云ツタヤウナ美シイ日本精神ニ立脚シタ總テノ體育ノ方法ナドモ保存スベキモノダト考

ヘルノデアリマス、即チ相撲ダトカ、或ハ擊劍ダトカ、或ハ弓ダトカ、サウ云ツタヤウナモノヲ中心ニスル日本獨特ノ體育ガ日本人ニ適シテ居ルノデアル、何ヲ以テ亞米利加或ハ歐洲方面カラア云フモノヲ輸入スルノデアラウカト考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、無論ソレニ特性モアレバ特徴モアリマス、全然ソレヲ除外スルト云フ譯ニハ行キマセヌケレドモ、今ノ如ク餘リ偏シテハ適當デハナイト考ヘテ居リマス、尙ホ體操ノ形式ノ如キデモ、文部省ノ體育關係デハ色々主張ガアルヤウデアリマス、殊ニ體操ノ形式等ニ付テハ派閥ガアツテ、俺ノ體操ノ形式ヲウント獎勵スル、アレノハ惡イノダト云フヤウナ派閥ガ出來テ居ルコトヲ私共承ツテ、洵ニ遺憾ニ考ヘテ居リマス、是モ何ガ根據カト言ヘバ、總テ外國カラ輸入シタ體操ガ中心ニナツテ居ルカラデアルト考ヘマス、是等ノ弊害ハドウシテモ改メナケレバナナイト考ヘテ居リマスノデ、以上ノ諸點ニ付テ御高見ヲ拜聽シタイノデアリマス

○高野政府委員 體格検査ノコトハ私實ハ詳シク存ジマセヌガ、厚生省ノ官吏トシテノ立場カラト云フ御話デアリマスカラ、一言私見ヲ申上ゲマス、私ハ體格検査ニ付テハ斯ウ思ツテ居リマス、是ハ細カナ點數ナドヲ付ケル必要ハナイ、及落ヲ付ケレバ宜シイ、學習ニ堪ヘル適當ナ體格ヲ持テバ宜イ、後ハ其ノ中カラ智能ノ検査ナリ、或ハ籤引ナリ、何ガ宜イカ私ニモ實ハハツキリシタ方法ハアリマセヌガ、少クトモ體格検査ハ體力ノ強イ者カラ入レルト云フ必要ハナイノデアリマシテ、學習ニ堪ヘル身體デアレバ宜シイト云フ私ノ意見ダケヲ申上ゲマス、對抗競技ニ於キマシテモ、甚ダ弊害ノアルコトハ私モ感ジテ居リマス、是ハ必ズシモ總テノ對抗競技ガ不都合ナモノデアラカドウカ問題ダト思ヒマスガ、其ノ兒童ガ過勞ニ陥ルヌヤウニ、要スルニ體育向上ニ資スルヤウナ效果ヲ期待シツツヤルベキコトデアツテ、其處ニ工夫ガアラウト存ジマス、外國舶來ノ體操ニ偏スルト云フコトハ、洵ニ宜シクアリマセヌ、日本古來ノ武道ナリ、體育ノ方法ヲ十分ニ重要視スル、但シ必ズシモ外來ノ遊戲ヲ過酷ニ排斥スル必要モアリマスマイカラ、本當ニ國民ノ體力向上ニ適スルヤウナモノデアリマスレバ、虚心坦懷ニ之ヲ採用シ、派閥ノ爭ナドト云フヤウナモノハ、唾棄スベキモノデアルト考ヘテ居ル次第デアリマス

○伊東委員 長ラク時間ヲ掛ケマシテ恐入リマシタ、是デ私ノ質問ハ終了致シマシタルマデ

○八木委員長 然ラバ中野サン

○中野委員 私ハ極ク簡單ニ申上ゲマス、此ノ法律ハ憲法第二條ノ精神ニ背カナイカト云フコトヲ伺ヒマス、憲法第二條ニハ「皇位ハ皇室典範ノ定ムル所ニ依リ皇男子孫之ヲ繼承ス」トシテ、皇位繼承ノ規定ヲシテアリマス、是ハ明ニ我國ガ家族制度ヲ大本トスルト云フ御趣意ガ籠ツテ居ルと思フノデアリマス、然ルニ今種ヲ絶ヤスト云フノデアラカラ、臣民ノオ手本トナル皇室ノ方デハ家族制度ヲ儼然トシテ守レト仰セラレテ居ツテ、此ノ法律ハソレト精神ニ於テ相反スルヤウニ考ヘルガ、政府ハドウ考ヘテ居リマスカ、ソレヲ伺ヒマス

○一松政府委員 本法案ノ趣旨ハ家族制度ヲ破壞シヨウトカ、家系ヲ絶ツトカ云フコトガ主タル目的デハナイノデアリマシテ、御承知ノ通りニ第一條ニ明ニ致シテ居リマスルヤウニ、遺傳性疾患ノ素質ヲ有スル者ノ増加ヲ防遏スルト云フコトト、健全ナル素質ヲ有スル者ノ増加ヲ圖ルト云フコトガ目的デアリマシテ、ソレ等ノ目的ヲ達スル爲ニ必要ナスノ如キ方法ヲ執ラウ、斯ウ云フ趣旨デアルノデアリマス、憲法ノ第二條ノ問題ハ、御承知ノ如ク皇室ニ關スル問題デアリマシテ、我國ノ皇室ハ萬國無比、萬世一系ノ皇室デアリマシテ、是ハ尊嚴犯スコトノ出來ナイ實ニ優秀ナル御血統デアルト、吾々ハ拜察致シテ居ルモノデアリマシテ、此ノ第二條ノ法文ト優生法トニ於テハ、何モ相違スル所ハナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、茲ニ此ノ第二條ノ問題ニ論及スベキモノデハナイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○中野委員 ソレコソ衰龍ノ袖ニ隠レルヤウナ詭辯ト思フ、憲法第二條ハ明ニ我國ノ家族制度ノ大本ヲ御示ニナツタモノデアアル、ソレト是ト別々ニ考ヘルト云フコトハ、違憲デアルト思フ、御上ハ家族制度ヲ以テ國ノ大本トスルゾト云フ仰セナノダカラ、ソレニ從ツテ吾々臣民ガヤツテ行クノガ本當ト思フ、是ハ私ハ法律家デアラアタノ御意見トモ思ハレナイ、若シ遺傳性疾患ノアル者ヲ、是モ遺傳性ダ、アレモ遺傳性ダト云フコトヲ斷ツテシマツタナラバ、家族制度ハナクナツテシマフデハナイカ、臺ナシニナツテシマウデハナイカト思フ

○一松政府委員 私ハ皇室ニ關スル事柄ニ付テ此處ニ論及致スコトヲ避ケマス、憲法ノ第二條ノ法文ハ、是ハ炳トシテ日月ノ如シデアリマス、御承知ノ通り萬世一系ノ皇室ニ於カセラレマシテハ、常ニ此ノ第二條

ノ御趣旨ニ從ヒマシテ世々御位ヲ御繼ギナ
サルト云フ意味デアルノデアリマシテ、本
法第三條ハ所謂家系ヲ斷ツト云フコトデハ
ナイノデアリマス、家系ハ所謂家系トシテ
繼ガセルヤウニシヨウケレドモ、國民ノ體
位ヲ向上スル意味ニ於テ、第三條ニ規定シ
テアルヤウナ素質ノ者ニ對シテハ、其ノ申
請ニ依ツテ斷ツコトガ出來ル、サウシテ國
民ノ體位ノ向上ヲ圖ラウト云フノデアリマ
シテ、即チ益々我國ノ家族主義ト云フモノヲ
一層旺盛ナラシメ、一層盛シナラシメ、一
層優秀ナラシメルト云フ趣旨デアリマスル
カラ、アナタノ御心配ニナルコトト少シモ
背馳スル所ハナイト思フノデアリマス

○中野委員 遺傳性ノ疾患アル者ノ種ヲ斷
ツテシマウト云フガ、種ヲ斷ツテドウシテ
家族ガ殘ルノデスカ、殘ラナイデアリマ
セスカ

○松政府委員 中野君御承知ノ如ク我國
ニ生ヲ享ケタ者ノ間ニ、不幸ニシテ子ガナ
イ人ガアル、サウ云フ時ニハ我國ニハ養子
制度ト云フモノヲ認メテ居ツテ、其ノ養子
ニ依ツテ、祖先ノ祭祀ヲ絶ヤサナイヤウニ
スル、是ガ我國ノ慣習デアリ、且ツ我國ノ
法制ニ於テ認メテ居ルコトデアリマス、血筋
カラ言ヒマスナラバ其ノ場合ニハ血筋ハナ
イコトニナル、ソレデモヤハリ家族制度ト
云フモノヲ益々榮エサセテ行クト云フ趣旨
ニナルノデアリマシテ、其ノ點ニ付テノア
ナタノ御考モヤハリ私ト同ジ御考ダト思フ
ノデアリマス、ソレカラ家族全體ヲ斷ツト
云フ意味デハナイノデ、是ハ家族ノ中デ特
ニ斯ウ云フ疾患ノアル者即チ三條ニ規定シ
テアルヤウナ疾患ノアル者デ、自分カラ斷
種ヲ希望シテ申出ル者ガアツタ時ニ之ヲ行

フト云フノデアリマスカラ、アナタノ御心
配ニナルヤウニ、家族全體ヲ斷ツテシマツ
テ、世ノ中カラ其ノ家系ヲ全ク無クシテシ
マフト云フ意味デハナイノデアリマス、ノ
ミナラズ今此ノ制度ヲ設ケヨウト云フ趣旨
ハ、斯ウ云フ惡質ナ者ガ一人デモ多ク漏蔓
スルト云フコトニナレバ、眞ニ我が日本ノ
優秀ナル國民性ニ瑕ヲ付ケ、益々優秀ナル
國民性ヲ發揮スルト云フコトニ禍根ヲ貽ス
ノダ、所謂珠ニ瑕ガ出來ル、サウ云フコト
ヲ取除イテ、健全ナル國民トシテ立ツコト
ノ出來ルヤウニシヨウト云フ趣旨デアリマ
スカラ、家系ヲ絶ツト云フヤウナ趣旨ノモ
ノデハナイト考ヘテ居ルノデアリマス

○中野委員 結局家系ヲ絶ツコトニナル、
詰リ親一人子一人ノ時ニ子供ガ斷種シタラ
誰ガ跡ヲ繼グノデスカ

○松政府委員 自分カラ進ンデ斷種ヲ希
望シテ來ルト云フヤウナ場合ニハ、サウ云
フコトニナラヌトモ限リマセヌケレドモ、
ソレハ數千人數万人ノ中ニ一人二人デアリ
マシテ、ソレガ國民全部ノ體位向上ノ爲利益
デアルト云フ場合ニハ、是ハ已ムヲ得ナイ
コトデハナカラウカト思フノデアリマシテ、
總テ事柄ニハ利害得失ガ伴フモノデアリマ
スルカラ、悉ク利ノ方面ノミヲ考ヘルト云フ
コトニモ行キマスマイシ、又害ノ方面モ考
ヘテ見ナケレバナリマスマイガ、サウ云フ
時ニハ國家ノ建前カラ致シマシテ、何レガ
利ガ多イノデアルカ、何レガ害ガ多イノデ
アルカト云フコトヲ比較研究シテ立案シナ
ケレバナルマイト思フノデアリマスルカラ、
今アナタノ御説ノヤウナ、極ク稀有ノ例ハ
是ハ已ムヲ得ナイノデヤナイカト思ヒマス
ガ、サウ云フ場合ニハ或ハ自分カラ斷種ヲ

申出ズ、サウシテヤハリ妻ヲ迎ヘ、婿ヲ迎
ヘテ、子孫ヲ繁榮ナラシムルト云フコトマ
デ法律ガ禁ジテシマフト云フヤウナ強制的
ナ法案デナイコトニ御留意ヲ賜リタイノデ
アリマス

○中野委員 稀有ノ例ト言ヘバ寧ロ此ノ法
案ガ稀有ノ例デス、日本ノ國民ハ幾ラ居ル
ト思ヒマスカ、斯ウ云フ遺傳性ノ疾患ニ罹
ツテ居ル者ハ其ノ中ノ何割デス、ソレコソ
アナタノ謂フ稀有ノ例、ソノ稀有ノ例ヲ取
ツテ來テ、サウシテ一般ニ皆斯ウ云フコト
ヲヤルト云フコトハ、是コソアナタ方ガ詭
辯ト云フモノデアアル、サウ云フ稀有ノ例ヲ
以テ斯ウ云フ法律ヲ作ラントスルモノデア
ルト私ハ思フ

○松政府委員 私ノ申上ゲルノハ、今ア
ナタノ御説明ニナリマシタ親一人子一人ノ
場合ニ、其ノ子供ガ斷種シテシマウ、サウ
シテ見ルトソレト同時ニ其ノ家系ハ絶タレ
ルデハナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスル
ガ、私ノ申上ゲマシタノハ、此ノ三條ニ認
メラレタヤウナ惡質ノ精神病者若クハ疾患
者ガ、日本ノ國民ノ大體ノ數ヲ例ヘバ八千
万ト見ルト致シマスレバ、少クトモ其ノ中
ニ二十五万人ノ斯ウ云フ者ガアル、其ノ二
十五万人ノ斯ノ如キ適格者ガアリトスレバ、
ソレヲ其ノ儘ニ放置シテ置ケバ、ヤハリ其
ノ數ヲ増シ、一面ニハ公安ヲ害スルト云フ
ヤウナコトニナリ、一面ニハ國民ノ體位ヲ
低下セシムルト云フコトニナルカラ、サウ
云フ者ヲ除去シタ方ガ國力ノ發展上宜カラ
ウ、斯ウ云フ建前カラ之ヲ立案シ提案ヲ致
シタノデアリマスルカラ、其ノ意味カラ申
シマスレバ、八千万ノ國民中二十五万人ト
云フモノガ稀有デヤナイカト仰セニナレバ、

ソレハ其ノ通りデアリマスガ、其ノ意味デ
ナク、親一人子一人ノ例ヲ御擧ゲニナツタ
カラ、ソレハ二十五万人ニ比レバ稀有ナ
例デアアル、斯ウ云フ意味ニ申上ゲタノデア
リマシテ、言葉ノ足ラナカツタ所ハ御諒承
ヲ願ヒタイト思ヒマス

○中野委員 是ハ斯ウナサツテハ如何デス
カ、全國民體力管理法ト云フノガ出テ居リ
マス、是ハ總テノ病氣ニ付テ體力ノ健全デ
アルヤ否ヤヲ見ル爲ニ作ラレル法律ナノダ
サウデアリマス、此ノ法案ガコツチニ廻ツ
テ居リマスガ、此ノ法律ノ施行ノ結果ヲ見
テ、今一度慎重ニ調査シテ國民優生法ノ案
ヲ出サレタラ如何デスカ、先刻山川賴三郎
氏ノ質問ニ答ヘラレテ厚生大臣ハ、全國ノ
健康狀態ヲ知ル資料ガ初メテ國民體力管理
法デ得ラレル譯デアルト述ベテ居ル、ソレ
ダカラ國民體力管理法ヲ施行シテ其ノ上デ
國民優生法ヲ御出シニナツテモ遅クハナイ
ト思フ、而シテ大臣ハ、國帑ヲ澤山費シテ
居ナイカラ體力調査ガ審カニ出來テナイ、
併シ逐次體力調査ノ範圍ヲ擴大シテ、大イ
ニ體力ノ向上ニ努メル譯デアアル、斯ウ御答
ニナツタノデアルカラ、是ハ國民體力管理
法ノ實行ヲ見テカラ此ノ優生法ヲ御出シニ
ナツテハ如何ナモノデアリマスカ

○高野政府委員 私カラ御答申上ゲマス、
體力管理ノ方ハ未成年者ノ身體検査ヲ行ツ
テ、疾病ニ罹ツテ居ル者等ガアリマスレバ
指導ヲシヨウト云フコトデアリマス、詰リ
全國民ノ身體検査ヲ行フト云フコトガ基本
ニナルノデアリマシテ、只今御話ニナリマシ
タヤウニ、未成年ノ國民一人々々ヲ擱ヘテ、
胃ガ惡イ腸ガ惡イト云フコトノ精細ナ記録
ガ出來マスルカラ、ソレデ全國民ノ健康狀態

ガ初メテ分ル、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、此ノ問題ハソレトハ少シ趣ガ異ナリマシテ、是ハ遺傳スル病氣ニ付テノミノ問題デゴザイマシテ、就中其ノ中デ量ノ多イモノハ、精神病患者ト低能、白痴者、是ガ數ニ於テ最モ多イノデアリマス、此ノ方ノ調ハ、殊ニ精神病患者ニ付テハ相當出來テ居リマシテ、現在警察調査ニ依リマシテモ精神病ハ八十万人ニ近クアリマス、警察調査漏レノ者ヲ入レマスト更ニ相當多イモノト考ヘラマレス、低能白痴ニ類スル者モ非常ニ多數ゴザイマス、小學校ニ就學スルコトガ出來ナイ程度ノ魯鈍ナル兒童モ相當アル譯デアリマス、斯様ナ者ハアリマスガ、只今ハ著シキモノヲ申シマス爲ニ精神異常者、低能、白痴ト云フ頭腦ノ缺陷ノアル者ニ付テ申上ゲテ居リマス、遺傳ニ依ツテ起ル病氣ハ、他ニモ例ヘバ嘔、盲、聾ナドノ遺傳モアリマスノデ、兩方ニ互ツテ居リマスガ、數ニ於テ多イノハ詰リ頭腦ノ缺陷デアリマス、其ノ可ナリ多クノ分ガ遺傳ニ依ツテ起ルコトガ既ニ相當ハツキリ分ツテ居リマス、是ハ體力管理ノ方デハ到底處置ノ出來ナイモノデアリマス、尤モ體格検査ヲ致シマス時ニ、是ガ氣狂ヒデアル、是ガ低能デアル、白痴デアルト云フコトハ固ヨリ發見出來マセウガ、ソレトハ問題ガ自ラ別デアリマシテ、斯様ナル既ニ明カデアル所ノ精神異常者ニ向ツテドウ云フ對策ヲ執ルカト申シマスト、是ハ體力管理ノ對策ノ如ク簡單ニハ參リマセス、體力管理ノ方ハ、オ前ハ結核患者デアルカラ結核療養所ヘ行ケ、オ前ハ榮養ガ足りヌカラ斯ウ云フ飯ノ食べ方ヲセヨト云フヤウナ指導デ片付ケヨウト云フ譯デアリマス、併シ此ノ方ハ持ツテ生レタ因

果デアリマシテ、是ハ到底避ケルコトガ出來ナイ、今ノ醫學デ何トモ仕様ノナイ者ダケヲ相手ニスルノデアリマス、隨テ斯様ナ非常ニ荒ツボイヤウナ文字デアリマスガ、斷種ト云フコトニナツテ參ルヨリ外ニ手ガナイ、斯様ニ思召ヲ願ヒタイト思ヒマス

○中野委員 委員長モ野方サンモ醫者デアリマスガ、是ハ寧ロ私ハ醫ノ普及ヲ誤ツタ爲ニコンナ風ニナツテ來タノダラウト思ヒマス、デアリマスカラ、モウ少シ之ニハ構ハナイデ置イテ、醫者ヲウント殖ヤシタラドウデスカ、國費ヲ以テ醫者ヲウント殖ヤス、サウシテ何處デモ醫者ニ診テ貰ヘルト云フコトニナレバ、斯ウ云フ病氣モ撲滅シ得ルモノト私ハ思フノデアリマス、今ハ非常ニ醫者ガ不足デ、吾々ノ方ハ福島縣ノ山村デスカ、其處ニ行ツテ開業ナドヲスル醫者ハ一人モ居ナイ、ソレデ困ツテ居ル、ソレハ八木サンハ醫者ガカラ御分リダラウト思ヒマス、詰リ八木サンガコンナ法律ヲ御出シニナル前ニ、今マデ醫者ノ普及スルヤウナ方針デモ立テヤツテ居ラレタナラバ宜カッタラウト私ハ思フ、ソコデハ文部省ノ關係ダガ、一ツ私立ノ醫學校ノ保護助成デモシテ醫者ヲウント殖ヤス、醫者ヲ澤山殖ヤシテ、斯ウ云フモノヲ一ツ撲滅サセタイ、斯ウ云フ御趣旨ニサレタ方ガ宜カラウト思フ、ソレカラ又精神病者デモ必ズシモ遺傳性ノ者バカリデモナイ、花柳病ガコデレテ精神病ニナルノモ澤山アル、又政府ノ政治ノ惡イ爲ニ生活困難ニ陥ツテ、ソレガ爲ニ精神病ニナル者モ澤山アルノデアラカラ、必ズシモ遺傳性ニ依ルト云フ斷言ハ出來ナイト私ハ思フノデアリマス、デアラカラ先決問題トシテ先ツ醫ノ普及ヲ圖

ル、ソレカラモウ少シ社會組織ヲ改良シテ、生活難ナドノナイヤウニスル、之ヲ先ニヤツタ方ガ宜カラウト思フ、ソレカラ私ハ醫學ノ學問ノコトハ分ラナイケレドモ、果シテ此ノ斷種法ニ依ツテ精神病者ノ撲滅ヲ圖リ得ルヤ否ヤ、サウ云フコトヲ斷言出來ルカドウカ、茲ニ小冊子ヲ配ツテ來タノガアル、生長ノ家ノ谷口雅春ト云フ人ガ著ハサレタ本ニ斯ウ云フコトガアル、「甘露ノ法雨」ト云フ書物ヲ讀ンデ、其ノ書物ノ説キ方ニ感心シテ十一人ノ精神病者ガ癒ツタ、是ハ福岡縣社會教育會館ニ居ル高山滿ト云フ人ノ話デアル、其ノ精神病者ノ中ニハ九州大學附屬病院其ノ他デ、入院シテモ全快ノ見込ガナイト入院ヲ拒絶サレタ精神病者モアル、而モ此ノ十一名ノ中ニハ、ソレガ完全ニ癒ツテ或ル發明品ノ特許マデモ受ケタ者モアル、其ノ話ハ大牟田市ノ安川榮三郎ト云フ人ガ谷口雅春先生ニ話シタ、安川サンモ、精神病者ハ私モ今マデ九名程癒シマシタ、噓ダト思フナラバ、福岡市ノ高山滿氏ニ直接照會シテ下サイト斯ウ本ニ斷言シテアル、ソレダカラ精神病ハ必ズシモ唯物的ニノミ考ヘテ、精神方面ノコトヲ閑却シテハ相成ラナイ、斯ウ言ウテ居リマス、私モ是ハ一理アルト思フノデアリマス、精神病者ノ子供ガ必ズ精神病者ニナルト云フコトハ私ハナイト思フノデアリマス、此ノ點ハドウ御考ニナツテ居リマスカ御同致シマス

○高野政府委員 醫師ガ不足デ、地方ニ依リマシテハ大變御困リノコトハ、是ハ御話ノ通りト思ヒマス、唯此ノ問題ニ限ツテノコトデアリマスガ、此ノ優生法デ處置ヲ致サウト思ヒマスルノハ遺傳ニ依ツテ起ル病氣デ、醫者ニ掛ツテモ癒ラナイ、斯ウ云フモノダケヲ扱ハウト云フノデゴザイマシテ、能ク癒ル病氣デアレバ斷種スルナドト云フコトハ必要ゴザイマセス、ソレカラ又遺傳ニ依ラザル精神病デアリマスレバ、是モ此ノ手術ヲ必要ト致シマセス、只今ノ御話ニモゴザイマシタヤウニ、精神病ハ必ズシモ遺傳デアリマセスノデ、固ヨリ微毒デ起ルノガアリマス、微毒デ起リマシタ精神病ハ大抵癒リマス、「マラリヤ」治療法ト云フノガアリマス、色々工夫ガアリマシテ癒ルノデアリマス、又遺傳ノ關係ガナクデモ、或ハ微毒ガゴザイマセスデモ、生活困難ト精神過勞ノ結果或ハ病氣ヲ惹起スト云フヤウナコトモアルカモ知レマセス、色々原因ガアリマシテ、殊ニ近代ノ生活デハ精神病患者ヲ多クスル虞ガアル次第デゴザイマスルガ、其ノ原因ガ世ノ中ト申シマスカ、外界環境ノ方ニゴザイマシテ、後天性ノ原因ニ依テ起ツタヤウナモノハ此ノ制度デハ對象トシナクテ宜シイ譯デアリマス、只今御述ニナリマシタヤウナ精神病患者ノ治リマシタ事例ハ、精神ノ方面ノ指導ニ依リマシテ治ルコトモ間々アラウカト思ヒマス、ソレデ精神病ト云フモノハ其ノ發生モ色々複雑デアリマシテ、治療ノ成績モ色々込入ツテ居リマスガ、此處デ問題ニナリマスノハ遺傳ニ限ツタモノデアリ、治シテモ中々治ラナイ、詰リ本質的ノ精神病ナリ其ノ他ノ遺傳病ヲ考ヘル譯デゴザイマスカラ、應用ノ範圍ハ大分狭クナリマシテ、遺傳デナイ精神病患者等ハ、其ノ遺傳デナイコトガ確實ナ場合ハ勿論問題外トナリマスノデ、其ノ點御含ミ置キヲ願ヒタイト思ヒマス

○中野委員 此ノ遺傳性ノ精神病患者ト、

ソレカラ後天的ノ精神病患者トノ見分ハド
ウシテ付ケマスカ

○高野政府委員 ソレハ大體家系ヲ能ク調
ベマセスコトニハ、遺傳ノ關係ガ確實ダト
云フコトハ斷言シニクイノデアリマス、尤
モ患者ヲ診マシテ精神分裂症ト云フ病名ガ
付イタト致シマスルト、此ノ精神分裂症ト
云フ病氣ハ屢、遺傳スルモノデアルト云フ
コトガ分ルノデアリマス、ソコデ今度ハ其
ノ患者ノ體ヲ診ルダケデナク、モツト血統
調ベラズツトシテ成程ハハスクノ關係
大體精神病ガ出テ來ルカラ、此ノ血統ニ
ハ此ノ病氣ニ罹ル素因ガアルノダ、此處マ
デ確メテ初メテ此ノ措置ヲスルト云フ譯デ
アリマス

○中野委員 先刻一松政務次官ヨリ憲法第
二條ノコトハ觸レタクナイト云フヤウナ御
話デアリマシタガ、此ノ憲法第二條ノ御精
神コソハ、實ニ是レ吾々國民トシテ尊マネ
バナラスノデアリマス、是ハドウシテモ日
本國民トシテ皇室ノ御方針ト云フモノハ實
系主義、之ヲ尊重シテ行クト云フ御示デア
ルカラ、吾々臣民ト雖モ此ノ方針ハ狂ゲテ
相成ラナイノデアリマス、憲法論デスカラ
何モ皇室ノ尊嚴ヲ冒シ奉ルト云フヤウナ考
ハナイ、胤ヲ絶ヤスト云フコトハイケナイ、
皆日本人ノ胤ヲ絶ヤシテシマツタラ、今度
ハ「スターリン」ミタヤウナ者ガ來タラドウ
シマスカ、ソレコソ日本ハ眞赤ニナツテシ
マヒマス、神武天皇様ノ御妃ハ事代主命ノ
御女デアツテ五十鈴媛、其ノ神武天皇様ト
ノ御間ニ神八井耳命、神渟名川耳尊ト云フ
御二人ノ偉イ方ヲ擧ゲラレテ、サウシテ皇
統ガ續イテ居ル、之ヲ別ノ言葉デ言ハバ即
チ日本民族ガズツト續イテ居ル、今胤ヲ絶

ヤスト云フ問題ナノデアルカラ、精神病者
ノ子供必ズ精神病者ニ生レルト云フ斷案ガ
付カナイ以上ハ、斯ウ云フ法律ヲ輕々ニヤ
ツテハイケナイ、殊ニドウモ吾々代議士ト
シテ、斯ウ云フ人ノ種ヲ斷ツ法律ヲ作ツタ、
即チ昭和十二年ヨリ十五年マデ出テ居ツタ
代議士ハ人胤ヲ絶ヤシタト云フ風ニ後世ニ
遺ルヤウナコトハシタクナイカラ、ソレデ
慎重審議スル譯デアアル、憲法第二條ノ御精
神ハ、是ハ私ハ尊バナケレバナラスト思フ
カラ、一松政務次官ニ於カレテモモウ一度
深ク御考下サツテ、サウシテ是ハ御答下サ
ルニモ及ビマセヌガ、私更ニ教ヲ垂レテ貴
ヒタイト思フノデアリマス

○八木委員長 中野サンハ私ニ問ウタ譯デ
ハアリマセヌガ、私ノ出シタ話ニ付テノ御
議論ノヤウニ思ヒマスカラ、私モ私ノ立場
カラ一應申譯ヲシテモ宜シウゴザイマスカ、
去年一昨年カラ斯ウ云フモノヲ出シタト云
フ御話ガアリマシタカラ……

○中野委員 ソレデハ一ツ委員長カラ聽カ
シテ下サイ

○八木委員長 一寸先程カラ承リマス、
精神病即チ遺傳病ナリ、斯ウ云フヤウナコト
ヲ根據ニシテノ御話ノヤウニ承リマシタガ、
丁度例ヘテ言ヒマス精神病者ト傳染病者
ハ同ジヤウナモノデス、其ノ傳染病ノ中ニ
ハ「コレラ」モアレバ、「チフス」モアル、「チ
フス」ニモ發疹「チフス」モアレバ色々アリマ
ス、ソレト同様ニ精神病ト云フ中ニモドウ
シテモ遺傳スルモノト、遺傳シナイモノト
澤山アルノデス、而シテ此處ニ掲ゲタルモ
ノハ遺傳スルコトガ殆ド九十「パーセント」
位遺傳スルモノダケ掲ゲタルノデ、精神
病ソレ自身ガ遺傳スルモノナリト云フコト

デハナイノデ、丁度傳染病者ト云ツテモ色
色ナ病氣ニ依ツテ治シ方ガ違ヒマス、猩紅熱
トカ「デフテリヤ」トカ或ハ「チフス」トカ赤
痢トカデ皆違フノデス、ソレト同様ニ一口ニ
精神病者ト云フノハ大キク精神病ト云フノ
デアツテ、其ノ中ニ是レノ遺傳スルモノ
ヲ遺傳サシテ血液ヲ濁サシテハ困ル、濁サ
レタ者ハ大變質ガ惡クナルト云フノデ出シ
タノデアリマスカラ、御議論ハ別ニシマシ
テ、サウ云フ意味デアラナラバ、精神病必
ズ遺傳病ナリト云フコトデナイト云フコト
ダケ一寸申譯シテ置キマス、御承知置キヲ
願ヒマス

○中野委員 私人質疑ハ是デ終リマス
○一松政府委員 一寸今中野サンカラ憲法

論ニ付テノ御話ガアリマシタ、憲法第二條
ノ所謂皇位ハ皇男子孫之ヲ繼承スト云フ御
精神ガ我國ニ於ケル家族制度ノ根本義デア
ルト云フコトニ付テハ、我が日本國民誰一人
トシテ之ニ異論ヲ挾ム者ガナイノデアリマ
ス、私ノ御答ヲ致シマシタ趣旨ハ、アナタガ
本法案ノ趣旨ハ憲法第二條ニ違反シナイカ
ト云フ御尋デアリマシタカラ、ソレハ違反
ハ致シマセヌ、斯ウ御答ヲシタノデアリマ
ス、其ノ違反シナイト云フ趣旨ハドウ云フ
譯カト申シマスルト、アナタノ御質問デハ、
皇室ハ世々皇男子孫ガ之ヲ繼承スルト云フ
憲法第二條ノ明文ガアルデハナイカ、ソレ
ナラバ日本國民全部ガ其ノ血統ヲ絶ヤサズ
シテ世々其ノ血統ヲ受繼イデ行クト云フコ
トガ日本ノ建前デハナイカト云フ御質問ノ
ヤウニ拜シタノデアリマス、ソレハ其ノ通
リデアリマス、アナタト少シモ私ノ考ハ違
ツテ居リマセヌ、唯併シサウ云フ趣旨ノ中
デ、此ノ法案ノ建前ハ其ノ家系ノ中ニ特ニ

斯ウ云フ惡質ノ遺傳的精神病者ガアルトス
レバ、之ヲ此ノ儘ニシテ置ケバ又出來ル子、
出來ル孫ガ同ジヤウニ斯ウ云フ惡質ノ精神
病者ガ生レルノデアルト云フコトガ顯著デ
アルト云フヤウナ場合ニ、之ヲ此ノ儘ニシ
テ置イテ、世ノ中ニサウ云フ子孫ヲ生マセ
テ悲慘ナル生活ヲサセルト云フコトガ、其
ノ家ニ取ツテ幸福デアルカ、國家ニ取ツテ
幸デアルカト云フヤウナコトヲ比較研究シ
テ見レバ、又國民ノ體位向上ト云フ方面カ
ラ見レバ、是ハ其ノ希望申請ニ依ツテ斷種
スルト云フコトガ宜シカラウ、斯ウ云フ趣
旨デ此ノ法案ヲ提案致シタノデアリマシテ、
之ニ依ツテ家系ヲ絶ツト云フ建前デハナイ
ノデアリマス、ソレガ爲ニサウ云フ家ニハ
他カラ立派ナ親戚ノ血筋ノ良イ人ヲ婿ニ迎
ヘルトカ、或ハ嫁ニ迎ヘルトカ云フヤウナ
方法モゴザイマセウシ、其ノ家ノ血統ヲ絶
ヤサナイト云フ方法ニ付テハ色々方法モア
リマセウ、此ノ法案ハ血統ヲ絶ヤシテシ
マフト云フ建前デハナイコトヲ御諒承願ヒ
タイノデアリマス、尙ホアナタノ御承知ノ
通り、民法ニハ、長男ガ非常ニ素行ガ不良
デアツテ家系ヲ繼グニ困難デアルト云フ場
合ニハ、之ヲ裁判所ニ申出テ廢嫡ノ手續ヲ
スルコトノ出來ルト云フコトハ、現行法ニ
規定モゴザイマスガ、是ハ詰リ嫡男ノ相續
ト云フコトガ我國ノ建前ニナツテ居ルケレ
ドモ、其ノ者ニ相續サセルヨリモ、次男、
三男若クハ娘ニ相續ヲサセタ方ガ其ノ家系
ノ將來ノ爲ニ宜シイ、或ハ他ノ事情ノ爲ニ
ソレガ最モ適當ダト云フヤウナ場合ニ、サ
ウ云フ廢嫡ノ手續マデモ認メタルノデア
リマシテ、此ノ法ノ建前カラ見レバサウ云
フ趣旨ト少シモ違ハヌノデアリマシテ、ア

ナタガ御疑問ニシテ居ラレルヤウニ、我國ノ家系ヲ絶ツテシマフ云フヤウナ、所謂憲法第二條ノ皇男子孫ガ之ヲ繼承スルト云フ我ガ尊キ萬世一系ノ御趣旨ニ反スルヤウナ趣旨デ、此ノ優生法案ヲ提出シタノデハナイ、斯様ニ申上ゲタノデアリマスルカラ、其ノ邊ハ誤解ノナイヤウニ御願シテ置キマス

○八木委員長 土屋君

〔委員長退席、村松委員長代理著席〕

○土屋清三郎君 字句ニ付テ御伺シタイ、

最初ニ前提トシテ二三伺ツテ、ソレカラ全體ノ問題ニ付テ少シ御尋致シタイと思ヒマス、第一此ノ法律ガ制定サレタ曉ニ、此ノ適用ヲ受クベキ病名ヲ列記セズシテ、漫然總括的ナ條文ヲ掲ゲタノハ一體ドウ云フ譯デスカ、例ヘバ傳染病豫防法ニ於テハ一々明確ニ病名ヲ列記シテ居ル、他ノ法律ニ於テモハツキリ病名ヲ掲ゲテ居ル、然ルニ此ノ法案ハ例ヘバ遺傳性精神病、遺傳性精神薄弱等々以下、病名ニアラズシテ條文ヲ總括的ニ掲ゲラレテ居ルコトハ、此ノ適用上非常ニ影響ガ大キイ、何故ニ病名ヲ列記セズシテ總括的ニ條文ヲ掲ゲラレタノデアアルカ、此ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ、ソレカラ次ニ「其ノ子又ハ孫醫學的經驗上同一ノ疾患ニ罹ル虞特ニ著シキトキ」ト既ニ病氣ヲ斯ウト決メテ置キナガラ、其ノ病氣ノ中カラ「特ニ著シキ」ト云フコトヲ此ノ法ノ適用ニ現ハサレテ制限サレタ意味ハ何處ニアルカ、ソレカラモウ一ツハ「公益上特ニ必要アリ」ト云フコトヲ前提ト致シテ「本人ノ疾患著シク惡質ナルトキ」斯ウサレタノハドウ云フ譯カ、此ノ三點ヲ先ツ御尋シテ置キマス、

○高野政府委員 病名デゴザイマスガ、傳

染病豫防法等デアリマス、病氣ガ洵ニ歷然トシテ居リマシテ、其ノ病名ヲ掲ゲレバ萬事明確デアリマスガ、精神病其ノ他茲ニ列舉シテアリマスモノデ、例ヘバ精神病ノ中デ實例ヲ申上ゲマス、精神分裂症ト申シマシテ、是レ必ズシモ遺傳スルモノトハ限ラス、病名ヲ折角舉ゲマシテモ其ノ中ニ遺傳スルモノトシナイモノトアリマスカラ、且又病名ヲ悉ク舉ゲマス、非常ニ數ガ多クナリマス、精神分裂症其ノ他實ハ私モ暗記シニクイ程澤山アリマス、又精神異常デゴザイマセヌデ、身體ノ疾患遺傳スルモノモ甚ダ數ガ多クアリマシテ、之ヲ全部舉ゲルコトハ相當體裁上煩ハシイヤウニモ感ジマス、説明ヲ加ヘマスレバ病名列舉主義デモ別ニ支障ハナカタクカト思ヒマス、便宜上斯ウヤリマシテモ格別之ニ依ツテ支障モナイト云フ譯デアリマス、「特ニ著シキ」ト云フ言葉ガ時々出テ居リマスノハ、此ノ疾病遺傳ノ關係ガ中々複雑デアリマシテ、其ノ遺傳ノ診斷ヲスル場合、例ヘバ、腸「チフス」菌ヲ發見シテ腸「チフス」ヲ診斷スルト云フヤウナ的確ナモノデナイノデアリマシテ、ヤハリ其ノ程度ヲ示シマシテ、「特ニ著シキ」ト云フ言葉ヲ以テ其ノ強度ヲ表スコトニシタ次第デアリマス

○土屋清三郎君 病名ヲ一々列舉スルコト

ハ煩ハシイト云フコトデアリマスガ、苟モ憲法上保障セラレタル人ノ自由權、身體權、更ニ其ノ血族ヲ斷絶スル重大ナ法ノ適用ヲ受ケル者ガ、漫然大キナ病氣ノ群ノ中ニ包含サレルト云フコトハ、適用ノ上ニ非常ナ危險ガアリハシナイカ、又適用ガ非常ニ區々ニナリハシナイカ、恰度是ハ胃腸病ハ胃腸ニ關スル病氣ヲ包含シテ胃腸病ト言ヒマス、或ハ呼吸器ニ關スル病氣ハ肺病デモ氣管支デモ皆呼吸器病ト云フト同様ニ、遺傳性精神病、遺傳性精神薄弱ヲ包括的ニサレルトハ、非常ニ危險ナコトデハナカラウカ、私ノ知ツテ居ル範圍デハ、恐ラク斯ウ云フ法律ハ未ダ曾テ政府ノ提案トシテ議會ニ現ハレタコトハナイと思フ、是ハ便宜的ノモノデハナク根本的ノ問題デアリマスカラ、ハツキリ列記的ニ出來ルカ出來ナイカラ一ツ承リタイ

○高野政府委員 御說御尤モデアリマスル

ガ、此ノヤウナ記述ノ仕方ヲ用ヒマシテモ、此ノ場合支障ハ起ルマイト云フ見込デ此ノ案ガ出來タ譯デアリマスガ、若シ何カ不都合ノアルヤウナ點ガゴザイマシタナラバ、御申出ヲ願ツテ考ヘタイと思ヒマス

○床次政府委員 一寸只今御說明致シマシ

タノニ補足サセテ戴キタイと思ヒマス、茲ニ一、二、三、四、五ト舉ツテ居リマス病名ニ依リマシテ、適用スベキ病氣ノ範圍ハ明瞭ニナツテ居ル譯デアリマスガ、唯具體的ニ如何ナル病氣カト云フコトニ付キマシテハ、是ハ素人デハ或ハ困難カト思ヒマスガ、醫學的ノ知識ヲ持ツテ居ラレル方ニ於キマシテハ、其ノ範圍ハ決シテ濫ニ流レルト云フ虞ハナイと思フデアリマス、唯ドウ云フ種類ノ病氣デアルカト云フコトニ關シマシテハ、御手許ニ疾患例トシテ參考ニ差上ゲテ居ルモノガアリマスガ、アノ程度ノ病氣ニ付テ適用サレルコトヲ豫想サレテ居ルノデアリマス、而シテ何レモ是ハ遺傳性ノ精神病、遺傳性ノ精神薄弱、其ノ他遺傳性ノ病的性格ノ茲ニ掲ゲラレテ居リマス範圍内デアリマス、併シナガラ實際ノ

適用ニ於キマシテハ、委員會其ノ他ノモノガ統一ガ取レナクナル虞ガアリハシナイカト云フ御懸念ガアルノデアリマスガ、之ニ對シマシテハ命令ニ依リマシテ基準ヲ定メマシテ、此ノ法律ノ範圍ヲ出ナイ内ニ於キマシテハ、疾患ヲ例示致シタイト存ズルノデアリマス、尙ホ適用ノ範圍ニ於キマシテモ、其ノ統一ヲ期スルト云フコトガ必要ナノデアリマシテ、審査會等ニ於キマシテモ、其ノ程度ノ診斷ニ付キマシテ統一ナ指示ヲ致シタイ、又中央審査會ニ於キマシテ最後ノ診斷ヲ致シマス時モ同様デアリマス、疾患ノ著シイト云フ場合ノ標準ト云フモノハ困難ニナラスヤウニ注意致シタイト存ズルノデアリマス

○土屋清三郎君 只今ノ御答辯ノヤウニ容

易ク考ヘラレバ、成程斯ウ云フ法律ヲ勇敢ニ御出シナラレマセウガ、併シナガラ精神病ト云フモノノ本體ヲ能ク考ヘテ見ルト、私共非常ニ不安ニ感ズルノデアリマス、御說明ノ中ニ精神病ガ遺傳スル、遺傳性ノ精神病ダト斯ウ言ハレマスガ、精神病程今日醫學上不明ナ分野ハアリマセヌ、隨テ今マデ遺傳スルト傳ヘラレテ居ツタ精神病ガ、果シテ遺傳スルモノデアルカドウカ、是ハ甚ダ疑問デアアル、有名ナ獨逸ノ精神分析學ノ創始者デアアル「フロイド」ト云フ人、此ノ人ハ精神病學ニ於テハ今日世界ノ精神病學者ハ非常ナ碩學泰斗トシテ尊敬シテ居ル人デアリマスガ、其ノ人ハ精神病ノ遺傳性ニ對シテ大ナル疑惑ヲ抱イテ、一體精神病ト云フモノガ今マデ遺傳病ト考ヘテ居ツタコトハ間違ヒデアアル、人ハ生レナガラ生物トシテノ素質ヲ持ツテ居ル、サウシテ環境ニ依ツテ精神ニ異常ヲ來スモノデアアル、其

ノ現ハレタノガ精神病デアル、環境ニ依ツテ受ケル所ノ大キナ「シヨック」ガ人ヲシテ精神病ニ罹ラシムルノデアル、例ヘバ震災デビツクリシタカ、火事デビツクリシタカ、或ハ戦争等ニ依ツテ非常ニ苦勞シテ、ソレガ原因ダ精神病トナツタ、或ハ戀愛其ノ他精神的ノ大キナ「シヨック」ガ人ヲシテ精神病タラシメルモノデアル、斯ウ云フコトヲ強調シテ居ル、新シイ精神病學者ノ間ニ於テハ此ノ説ヲ奉ズル者ガ段々多クナツテ來タト承知致シテ居リマス、彼ハ獨逸ノ人デアリマシタカラ、今「ナチス」一黨專制ノ獨逸ニ於テ猶太人ノ種ヲ斷ツト云フコトガ政策ノ一ツニナツテ居リマス關係カラ、猶太人デアアル所ノ此ノ精神病學者ハ遂ニ國外ニ放逐サレテ、異國ニ於テ客死シタト承知シテ居リマスガ、此ノ精神病ガ果シテ遺傳ガアルカドウカ、今マデ遺傳々々ト言ハレテ居ツタ精神病ガ果シテ遺傳スルモノデアアルカドウカト云フコトニ付テハ、是ハ餘程考ヘナケレバナラナイと思フノデアリマス、最近マデ精神病デアル、遺傳病デアアルト思ハレテ居ツタ所ノモノガ段々病源ガ判明シテ、遺傳病デナイト云フコトガ分ツテ來タ、例ヘバ誇大妄想狂、アレハヤハリ遺傳病ニ考ヘラレテ居ツタノガ、是ハハツキリ微毒ニ因ルト云フコトガ分ツタ、癲癇ハ血統デ遺傳スルト考ヘラレテ居ツタノガ、ハツキリ傳染病ト云フコトガ分ツタヤウニ、段々遺傳デナイト云フ風ニ考ヘテ來タ、併シマダハツキリ致シマセヌ爲ニ、血統ヲ調べテ見ルト同一病氣ガ段々其ノ血統ノ中ニ現ハレテ居ルト云フ故ヲ以テ、遺傳説ヲ尙ホ保持スル者モアリマスケレドモ、精神病患者ノ家系ニ必ズ精神病患者ガ生レルモ

ノデモナイト云フコトハ是ハ明白デアル、即チ精神病ガアル家系ニ出テ來ルト云フコトハ是ハ遺傳ト云フモ、一體人ハ誰ニモ精神病ニ罹ル素質ヲ持つテ居ル、其ノ精神ニ非常ニ衝激ヲ受ケタ場合ニ、ソレガ一時的ノ、或ハ永久的ノ精神病ニナル、是ハ「フロイド」ノ言ツテ居ルコトハ私ハ眞理ダト考ヘマス、而シテ遺傳ト云フモノハ生物ノ本質ノ變態デアリマスカラ、段々代ヲ重ネテ行ケバ斯ウ云フ一時的部分的ノ變態ト云フモノハ段々ナクナツテ來ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、親ガ精神病デアツテモ其ノ子供ガ全部精神病ニナルノデハナイ、精神病ノ者モ生レルガ、健全ナル者モ生レル、中ニハ非常ナ類才モ生レテ來ル、之ヲ以テ見マシテモ、精神病ハ總テ遺傳性デアルト云フ斷定ハ私ハ出來ナイと思フ、同時ニ精神病患者必ズ精神病患者ノミヲ生ムモノデナイト考ヘマス、御説明ヲ承リマシテモ、同ジ病氣デ或ハ精神乖離症、或ハ他ノ病氣モサウデアリマスガ、遺傳モアリ遺傳デナイノモアルト云フ御説明デアリマスガ其ノ同ジ病氣ガ、遺傳デモアリ遺傳デモナイト云フコト自體ガ、既ニ精神病患者ヲ血筋、遺傳ト見テ處理スルコトガ當ヲ得ナイト云フコトニナルノデハナイカト私ハ考ヘマス、簡單ニ申シマスレバ、精神病ハ必ズ遺傳ノミニ因ルモノデハナイ、精神病患者必ズ精神病患者ノミヲ生ムモノデハナイ、斯ウ考ヘマスガ、此ノ點ドウ云フ風ニ御考ヘナリマスカ、ソレニ依ツテ次ノ問題ガ新シク起ツテ來ルト思フノデアリマス

○高野政府委員 色々承リマシテ、洵ニ御尤モト思フ點ガ多イノデアリマス、精神病ノ中ニハ遺傳スルモノモ確カニアル、其ノ遺傳スル分ニ付テハ斯様ナ制度ガ必要デアル、斯ウ信ジマス

○床次政府委員 先程一寸御話ガアリマシタガ、個々ノ病名ヲ擧ゲテ置キマス、病名ノモノガ全部ソレニ該當スルカノヤウナ感じヲ與ヘルノデアリマス、只今御説明申上デマシタヤウニ、一ツノ精神病デアリマシテモ遺傳ニ依ルモノアリ、遺傳ニ依ラナイモノアリ、兩方アリマス、個々ニ付キマシテ遺傳ニ依ルコトガ確實ニ證明セラレタモノ、單ニ遺傳ダト言ハレテ居ル病氣デナクシテ、遺傳ダト言ハレテ居ル病氣ノ中デ確ニ遺傳ダト云フコトガ確認セラレルモノダケヲ此ノ中ニ入レル、サウ云フ意味ダト解シテ居ルノデアリマシテ、隨テ個々ノ病名ヲ擧ゲズニ、其ノ意味ヲハツキリ現ハセルヤウニ斯ウ云フ書キ方ニシタノデアリマス、此ノ書キ方ニ付キマシテハ色々專門委員等ノ意見ヲ聽イタノデアリマスガ、ヤハリ其ノ意味ヲ現ハスニハ斯ウ云フ程度ガ一番宜クハナイカト云フ意見デアリマシタ、單ニ遺傳ダト言ハレルモノハ勿論此ノ中ニ入ラス、遺傳ダト云フコトガハツキリ分ツタモノダケニ使フト云フ意味デゴザイマスカラ、病名ヲ列記のニ擧ゲテ居リマセヌ、先程ノ説明ガ少シ足りマセナカツタノデ、改メテ追加スル次第デアリマス

○土屋清三郎君 精神病者ト精神病デナイ人トノ間ニドウ區別ガアリマスカ、私ハ精神病學者ニ聽イデ見マシタガ、其ノ點ハ非常ニ難カシイ、詰リ精神病者ト精神病デナイ者トノ間ハズツト一ツノ移行行キトナツテ居ル、他ノ病氣ノヤウニ、例ヘバ癌ハ癌ノ細胞ヲ研究スレバ分ル、「チブス」ハ「チブス」菌ヲ證明スレバ「チブス」デアアル、然ラザルモノハ癌ニアラズ、「チブス」ニアラズト斷定出來ルケレドモ精神病デアアルカナイカト云フコトハ其ノ間ノ限界ト云フモノハ實ハナイ、ソレデアアルカラ或ル刑事被告人ガ精神鑑定サレル時ニ或ル精神病學者ハ之ヲ精神病ト斷定スル他ノ精神病學者ハ之ヲ精神病ニアラズト斷定スル、ドウチガ正シイカト云フコトハ皆其ノ人ノ判斷ニ俟ツ外ハナイ、斯ウ云フコトヲ私ハ聽キマシタ、數年前引續イテ或ル婦人ニ關シ、或ハ或ル武官ニ關シ獵奇的ノ犯罪ガアツタ、ソレハ皆刑ノ處分ヲ受ケマシタガ、或ル精神病學者ガ之ヲ鑑定スレバ確ニ精神病デアアル、或ル精神病學者ハイヤ精神病デハナイト言フ、其ノ精神鑑定ハドウ云フ結果ニナツタカ知りマセヌガ、同ジ精神病學者デモ色々考ガ違フト云フ所ニ、抑、精神病ノ本體ニ不明ナ所ガアル、同ジ精神病デモ、是ハ遺傳性デアルト云ツテモ、其ノ精神病ガ全部遺傳性デアアルカト云ヘバサウデナイ、併シ全部成程變ダト思ハレルモノモアル、同ジ全部ガサウ云フモノデハナイ、サウスルトヤハリ「フロイド」ガ言ツタヤウニ、精神病ハ遺傳ニアラズシテ、後天的ノ環境ニ因ル精神上ニ大キナ「シヨック」ヲ受ケテ起ルモノデアルト云フ説ヲスル者ガ多クナルコトハ已ムヲ得ナイと思フ、是ガ絶對ニ遺傳スル精神病ダト云フコトニナレバ、其ノ兩親カラ生レタ子供ハ、ヤハリ其ノ病人ダケガ出ナケレバナラナイ譯デアリマスガ、只今マデ色々御説明ニナル如ク、病氣ハドレ一ツトシテ必ズ遺傳スルト立證ノアルモノハ私ハナイヤウニ思フ、澤山材料ヲ戴キマシタガ、ドレヲ見デモ、ソレヲ肯定サレルモノハナイヤウデアリマス、此ノ點ハドウ御考ヘナ

ツテ居リマス

○高野政府委員 ドノ病名ヲ舉ゲマシテモ、絶對ニ遺傳スルト云フコトハ言ヘナイノデス、是ハ個々ノ場合ヲ舉ゲルカライケナイノデ、此ノ病人ハ遺傳性ノ病氣ヲ持ツテ居ル、ダカラ優生處置ヲスルト云フコトニ付テ綿密ニ判斷シヨウト云フノデ、個々ニ付テ問題ハ解決シナケレバナラス、是ト結核トカ「チブス」ナドト云フ他ノ病氣トハ同様ニ行カナイノデアリマス、言葉ガ足りナイカモ知レマセヌガ、概括的ニ遺傳性ノ精神病ヲ舉ゲテ置キマシテ、之ニ前後ノ事情ト其ノ人ヲ診斷シ、家系診斷マデシテ、是ハ遺傳性ノ精神病デアルト云フコトガ分ツタ時ニ、初メテ申請等ノ手續モ出來マスシ、更ニソレヲ基礎ニシテ、醫師ノ權威者ガ判斷ヲ下シ、是デ間違ナキヲ期シ得ルノデハナカラウカト思フノデアリマス

○土屋清三郎君 ソコニ此ノ法律ノ非常ニ難カシイ所ガアルノデハナイカ、同じ病氣ニ罹ツテモ遺傳スルト遺傳シナイノトアルトスルト、家系カラ判斷サレコトニナル、サウ云フ曖昧ナコトデ、血統斷絶ノ法ノ適用ヲ受ケルト云フ所ニ、非常ニ大キナ問題ガアルノデハナイカ、今マデ精神病ノ中ニ治ラナイト見ラレテ居ツタノモアリマシタガ、段々醫學ガ進ンデ、病氣ノ本體ガ分ツテ來テ、治療モ出來ルヤウニナツテ來タ、例ヘバ先程申シマシタ誇大妄想狂ノ如キ、私共醫學生時代ニハ遺傳スル、或ハ遺傳スルノカ不明デアルト教科書デ教ハツテ居リマス、其ノ後微毒ノ病源體ガ分ツテ、是ガ微毒カラ來ルコトガ分ツタ、ソウシテ治療ノ方法モ考ヘラレタ、今度茲ニ舉ゲラレテ居リマス強度且ツ惡質ナル遺傳性ノ病的

性格、是ナドモ精神病學者ニ聽クト、隔離マデノモノハ殆ド癒ル、今日ハ「インシュリ」ヲ持續シテ用ヒテ眠ラセル療法トカ、ソレカラ百「ボルト」以上ノ電流ヲ通ジテ「シヨック」ヲ起サセル電氣療法、斯ウ云フモノニ依ツテ段々癒ツテ來ル

〔村松委員長代理退席、江原委員長代理著席〕

最近科學ノ進步ハ非常ナモノデ、昔ハ水ハ水素ト酸素ガ一緒ニナツタモノデ、總テ同一ダト考ヘテ居リマシタ、其ノ水ニモ色々種類ガ出テ來テ、特別ナ重水ト云フモノモ出來タ、ソレヲ醫學上ニ利用シテ、食鹽水ヲ拵ヘテ注射スルト、精神病患者ガ非常ニ鎮靜シテ治ツテ行ク、斯ウ云フヤウナ報告モ出テ來タ、今原因ガ不明デアルト思ハレタ精神病ノ原因ガ分ツテ來、ソレカラ治療ノ不可能ト思ツテ居ツタ治療法ガ段々出來テ來ルコトヲ考ヘマス、今日原因ガ不明デアリ、治療ガ不可能デアルト考ヘテ居ル精神病ガ、幾年カノ後ニ原因ガ分リ、隨テ療法ガ判明スル時期ガ來ナイト誰ガ言ヒ得ルカ、而シテ此ノ法律ノ適用ハ、サウ云フ方面ニ對シテ、將來子孫ヲ作ツテ行ク能力ヲ全然ナクシテシマフモノデアルトコトヲ考ヘマス、其ノ適用ヲ受ケタ者ハ、幾年カノ後ニ新ニ其ノ病氣ノ原因ガ分リ、療法ガ現ハレタ時ニ於テ、如何ニ悔イテモモウ再ビ回復ハシナイ、サウ云フコトヲ考ヘマス、尙更遺傳デアルカナイカ分ラス、同じ病氣デアツテモドウモハツキリシナイト云フヤウナモノニ對シテ、斯ウ云フ法律ヲ適用スルコトハ、國家トシテ一體ドウデアルカ、斯ウ私ハ考ヘマスガ、政府ニ於キマシテハ將來其ノ不安ナシト云フハツキリシタ

御考ガ付キマスカドウデアリマス

○高野政府委員 今ノ御心配ハ或ル程度御尤モデアルト思ヒマス、唯實際現在ノ醫學、殊ニ精神病學ト云フモノノ治療診斷等ガ、短日月ノ間ニ幾何進歩スルカ、是ハ先ノコトデアリマスカラ、先ヅ進歩ヲ期待シテ勉強スルノダト云フコトニシテ置キマスガ、今ノ醫學ノ知識ヲ以テ、此ノ病人ハ遺傳デアルトコトガ確實デアルト判斷シ得ル範圍、又治療モ不可能デアルト判斷シ得ル範圍、斯様ナ已ムヲ得ザルモノト、少クトモ今マデノ知識デ確認シ得ル場合ニノミ、此ノ事ガ行ハレルノデアリマスカラ、非常ニ慎重ヲ期シテヤリマスレバ、是ハ將來ノ醫學ノ發達ヲ俟ツテ、當分斯様ナ事ヲセヌ方ガ宜イト云フヤウナ議論モ、或ハ成立ツカトモ思ヒマスケレドモ、要スルニ衛生ノ問題ハ、概シテ多少デモ實際ノ效果ガアレバ、他ニ支障ノナイ限り之ヲ行フ方ガ宜イト云フヤウナ立場ニ、私共ハ立ツテ居リマス、百「パーセント」ノ利ヲ考ヘナクテモ宜シイ、害ガナイナラバソレハ「パーセント」デモヤル、併シ著シイ危害ガ目前ニアツテ、利害相約合ハナイト云フコトデアレバ、斯様ナコトヲ考ヘルノハ無理ダト思ヒマスガ、現在ノ精神病ノ知識、又優生遺傳學ノ知識ヲ以チマシテ、此ノ程度ノ施設ハヤル方ガ國民體力向上ノ上ニ宜シイモノデハナイカ、斯ウ云フ風ナ者ノ下ニ立案サレテ居ルノデアリマス

○土屋清三郎君 度々他ノ委員カラ色々質問モ出マシタガ、只今數回ニ互ル御説明中ニハツキリ致シマシタ通り、精神病ノ患者ガ必ズシモ精神病者ヲ產ムトハ限ラナイ、是ハ著シイ例トシテ茲ニ御示シニナリマシタ參考書類ヲ見マシテモ明カデアリマスガ、政府ガ此ノ法律ヲ作ルニ熱心ナ點ハ私尊敬致シマスガ、此ノ法律ヲ作ルニ熱中スル餘リ、精神病ノ遺傳ト云フ惡イ方面ダケノ材料ヲ一生懸命ニ睨ンデ、同時ニ其ノ家庭ニ健全ナ優秀ナ人間ノ生レテ來ルコトヲモ、併セテ無クシテシマフト云フコトハドウカト思フ、是ハ國全體ノ素質ヲ良クスルト云フ考カラ行ケバ領カレル點モナイデアリマセヌガ、精神病ノ家系ガ全部精神病患者ノミヲ產ムト云フコトガハツキリシテ居ナイ限りハ、サウシテ精神病患者ノ家系ガ代ヲ重ネルニ從ツテ、精神病患者ガ餘計多クナルト云フコトガ事實デナイ以上ハ、寧ロ其ノ儘產マシテ、生レテ來タ精神病患者ハ出來得ル限り醫學ノ新シイ手ニ依ツテ之ヲ手當シテヤツテ、生レタ子供ヲヨリ優秀ナル國民ニ仕上げて行クト云フコトガ、本當ノ醫學ノ理想デハナイカ、又國家モソコニ目的ヲ置カナケレバナラスノデハナイカト思フ、精神病ノ患者必ズシモ精神病ノ子供ノミヲ產ムモノデハナイト云フコトガ明白ニナツテ居ル、最惡ノ例ヲ以テシテモ此ノ點ハ明カデアルニ拘ラズ、其ノ惡イ者ノ生レル危險ガアルト云フ其ノ一事ヲ以テ、良イ者ノ生レルコトマデモ併セテ之ヲナクシテシマフト云フコトハ、一體ドウ云フモノデアラウカ、國家トシテモハ餘程考ヘナケレバナラスト思ヒマス、ソレガ我國ノ家族制度、社會上、國民思想ニ及ボス影響ヲ考ヘマス、餘程是ハ考ヘテ戴カナケレバナラスト思フ、ドウシテモソレヲ一遍ヤラレバモウ產マレナイ、サウシテ此ノ法律ガ出來テ、サウ云フ適用ヲ受ケタ者ガアレバ——成程此ノ

法律ハ秘密ヲ守ルヤウニシテ居リマス
ケレドモ、其ノ秘密ト云フモノハ決シテ守
レルモノデハナイ、結婚ナドラスル場合ニ
ハ必ズ何等カノ方法ヲ以テ之ヲ知ルコトガ
出來ル、サウスルト其ノ適用ヲ受ケタ本人
バカリデナク、是ト血ノ繋ツテ居ル一族ト
云フモノハ、結婚上ニ於テ大ナル障礙ヲ受
ケ、精神的ニソレコソ非常ナ打撃ヲ受ケテ、
其ノ結果精神病患者ガ出ルト云フヤウナコ
トモ無キニシモアラズデアルト私ハ思フ、

結婚ハ遺傳スルト考ヘラレタコトガ、御承
知ノ通り有名ナル徳富蘆花ノ不如歸ヲ生シ
デ、ア、云フ家庭悲劇ヲ演ジタ、ソレカラ
癪ヲ遺傳スルト信ジテ居ツタコトガ、名前
ヲ言ハナイデモ皆御分リデセウガ、有名
ナ一世ノ詩人ノ家庭ニア、云フ社會悲劇ヲ
起シタ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ見マス、
是ハ確ニ遺傳スル、絶對ニ必ズサウ云フ者
ダケガ生レルノダト云フコトノ斷定ガナイ
限り、斯ウ云フ法律ノ適用ハ餘程考ヘテ貴
ハナケレバナラスト私ハ思フ、數日前私ハ
本會議場ニ於テ、松本代議士ノ政府ニ對ス
ル質問ヲ聽イテ、松本代議士ガ自分ノ最
後ノ血ノ一滴マデモ此ノ問題解決ノ爲ニ闘
フト叫バレタ時ニ、私ハ實ニ涙ガ出タ、結
婚ノ時ニヤハリ此ノ血統問題ガ起ツテ、此
ノ調ベヲ受ケマス、其ノ一家及ビ一族ハ
同ジ被害ノ立場ニ立タレテ、非常ニ結婚ガ
困難ニナルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ
考ヘマス、唯莫然ト一ツノ病氣ノ群ヲ風
呂敷ノ中ニ包シシマツテ、其ノ中ニハ同
ジ病氣デアツテモ、遺傳スルモノモアリ、
シナイモノモアルト云フヤウナ曖昧ナコト
デ、斯ウ云フ法律ヲ作ラレタコトハ、實際
ドウ云フモノデアルカ、私ハ政府ノ折角ノ御

苦心デスカラ、之ニ賛成シテ見タイノデス
ケレドモ、反面ヲ見ルト、其ノ影響ハ非常
ニ大キナコトヲ考ヘテ、此ノ點ニ他日果シ
テ悔ユル時ナキヤ否ヤト云フ點ヲ一ツ伺ツ
テ置キタイ

○高野政府委員 先程モ申上ゲタト思ヒマ
スガ、一人々々ノ場合ヲ綿密ニ調べマシテ
間違ヒナイ遺傳性ノ精神病デアルト云フ
ガ如キ場合ニノミ是ガ行ハレルノデアル、
而シテソレモ決シテ原則トシマシテハ強壓
強制デハアリマセヌ、本人或ハ之ニ代ルベ
キ家族ノ者ガ任意ニ申請シテ初メテ行ハレ
ル、而モ申請ヲシマシテモ、其ノ條件ヲ精
査シマシテ、間違ヒナク該當シマセヌケレ
バ、手術ヲ行フコトヲ許サヌノデアリマ
スカラ、御心配ノヤウナコトハ甚ダ少イデ
アラウ、唯如何ニ精神病ノ人デアリマシテ
モ、健康ナル人ト結婚シテ、其ノ間ニ生レ
ル者ガ全部精神病患者デアルト云フ意味デ
ハアリマセヌカラ、ソコニ或ハ稍、良キ者ガ
生レルカモ知レナイト云フコトヲ犠牲ニス
ル懸念モアルカモ知レナイケレドモ、是ハ
大局カラ考ヘマシテ、ヤハリ民族ノ綱ノ目
ノ一ツガ弱ツテ汚クナツタ時ニハ、ソレヲ
寧ロ取替ヘル、其ノ後ハ弱イ狀態ガ續クヨ
リモ、ソコヲ取替ヘテ、民族ト云フモノハ
一ツノ大キナ——何レ祖先ハ源ヲ同ジウス
ル譯デアリマスカラ、民族ハ一箇ノ有機體
デアリマスカラ、少シ位惡イ所ヲ摘出シマ
シテモ、ソレハ忽チニシテ其ノ缺損ノ部分
ハ直ル、天衣無縫トモ言フベキ日本民族ノ
發達ニハ少シモ差支ナイモノト思フノデア
リマス、而シテ尙且ツ斯様ナ制度ヲ餘リ熱
心ニヤルノハドウカト云フ意味ノ御批判ヲ
受ケマシタガ、是ハ他ノ言葉デ以テ申シマ

スレバ、疾病豫防法デアリマス、結核豫防法
アル如ク、花柳病ノ豫防法アル如ク、是ハ
一ツノ疾病豫防法デアリマス、遺傳性疾病
豫防法ト云フ方ガ却テハツキリ分ルカモ知
レマセヌ、遺傳性疾病デアアル、此ノ遺傳素
質ヲ除ク以外ニハ豫防ノ方法ガナイ、治療
ノ方法ガナイ、處置ノ仕方ガナイト云フノ
デアリマスカラ、豫防醫學ノ最後ノ段階ト
シテ、是ガ殘ツタ方法デアリマシテ、之ヲ
完成シナケレバ豫防醫學ト云フモノガ相當
大キナ缺陷ヲ殘スモノデアルト信ジテ居ル
譯デアリマス、詰リ環境ノ改善等ニ依ツテ到
底成シ遂ゲ得ナイ所ノ豫防醫學ガ茲ニアル
ノデアリマスカラ、之ヲ成就シマシテ初メ
テ私共豫防局ノ使命ガ其ノ完遂ノ緒ニ就
ク、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、餘
リ贅澤デヤツテ居ル譯デハナイコトヲ御諒
承願ツテ置キマス

○土屋清三郎君 今ノ政府委員ノ御説明
デ、熱心ナ點ハ敬服致シマス、之ニ依リマ
スト申中々鄭重ニ審査サレルノデゴザイマス
ケレドモ、御承知ノ通り吾々オ互ノ先輩
デアル故後藤伯ガ政治ノ倫理化ヲ説イテ、
自分ガ是ヲ政界ニ入レルヤウニナツタ動機
ハ、衛生局ノ技師トシテ、サウシテ時ノ相
馬事件ニ義憤ヲ發シテ——アノ身ヲ挺シテ
巢鴨ノ精神病院カラ精神病患者ヲ擔ギ出シ
タ、隨分突飛ナヤウナコトデアリマスガ、
アレニ依ツテ初メテ政界革新ノ必要ヲ痛感
シタ、斯ウ云フコトヲ申シテ居リマス、當
時アノ相馬一家ヲ繞ツテ、之ヲドウスルカ
ト云フ場合ニ、後藤伯ガ醫界カラ出テ、而
モ勅任ノ榮位ニアル非常ナ偉イ其人ガ、
病氣ヲ診斷サレタ、後藤伯ガ自分デ行ツテ、
自宅ヲ訪問シテ、應接間デ追究シテ見ルト、

答辯ガ出來ナクナツテ、慌テテ立チ上ツタ、
サウ云フ事實ガ先生ヲシテ衛生技師ヲ投出
シテ志ヲ政界ニ向ハシメタト云フコトヲ、
繰返シテアノ人ハ言ハレマシタガ、制度ハ
色々出來マシテモ、今日獨逸ガ國內ノ「ユダ
ヤ」人ヲ撲滅スル一ツノ手段トシテ、此ノ斷
種法ヲ利用シテ居ルト同ジヤウニ、惡用サ
レナイコトガナイト云フコトハドウモ私ハ
斷言ガ出來ナイト思フ、先程ノ御話ノ中
ニ、社會ニ危害ヲ及ボスト云フヤウナ患者
ガアリマシタ場合ニハ、是ハ保護手段ニ依
ツテ隔離シテ行クコトガ出來ル、必ズシモ
此ノ法律ノ適用ヲ俟タナイト思ヒマス、隔
離スルコトニ依ツテ自然斷種ガ出來ル、寧
ロ私ハ此處デ厚生省ガ、世ノ中ニ於テ最モ
氣ノ毒ナ精神病患者ヲ、現狀ヨリモツト良
イ環境ニ置イテ治療セラレルヤウニ骨ヲ折
ラレテハドウデアアルカ、ソレカラ此ノ精神

病患者ヲ生ムコトハ何トシテモ其ノ原因ハ
環境ニアル、複雑怪奇ナル社會生活ノ現狀
ガ多クノ精神病患者ヲ作りツツアル、此ノ
環境ヲ改善シテ行クト云フコトガ、新ニ出
來タ厚生省ニ與ヘラレタ使命デハナイカ、
其ノ方面ニウント力ヲ入レテ——是ハ豫防
局ダケノ力デハイケマスマイガ、豫防局ガ
中心ニナツテ厚生省總動員ノ意味デオヤリ
ニナルト云フコトガ必要デヤナイカト思ヒ
マス、サウシテ此ノ精神病ハ我が醫學界ニ
於テ最モ不明ナ分野デアリ、最モ研究ノ遲
レタル分野デアリマス、隨テ此ノ精神病學
ノ方面ハ、ソレヲ原因的ニ、診斷的ニ、治
療的ニ、各方面カラ研究スルコトニ依ツテ
新ニ發見サルベキ部分ガ非常ニ多イト私ハ
思フ、ソコデ豫防局トシテハ此ノ點ヲ提唱
サレテ、厚生省ノ今度ノア、云フ研究所ヨ

リモ、精神病ノ原因、治療ニ關スル研究ニ對シテ、文部省ノ力ヲ俟タズシテ、厚生省自身ノ名ニ依ツテ研究所ヲ起スカ、或ハ廣ク精神病學者ニ補助ヲ與ヘテ、此ノ不明ナル醫學ノ方面、此ノ氣ノ毒ナル精神病患者ヲ斷ツ意味ニ於テ一ツ骨ヲ折ラレルコトガ、寧ロ斯ウ云フ消極的ナ、家系ヲ重シズル我が國民性ニ反シテ其ノ家系ヲ遮斷シ、延イテハ其ノ一族ニ非常ナ不安ヲ與ヘルヤウナコトガナクテ濟ムノデハナイカト私ハ考ヘマスガ、此ノ點ハドウ御考ニナリマスカ

ソレカラモウ一ツ、是ハ私ガ今マデ質問シタ點カラ考ヘレバ、大體御判斷ガ出來ルト思ヒマスガ、此ノ適用ヲ受ケル者ハ本人ニ限ル、精神病ハ遺傳病ダトハ私ハ信ジナイ、是ハ「フロイド」ノ説ガ正シイト思フ、夫婦共精神病患者デアツテモ、精神病患者バカリガ生レテ來ナイト云フ點カラ出發シテ、精神病ヲ以テ遺傳病ナリト斷定スルコトハ、マダ精神病學ガ幼稚ナ今日ノ現狀ニ於テハ出來ナイ——サウ云フ私ノ議論ハ他ノ反對ヲ受ケテ對立致シマセウケレドモ、私ハサウ云フ風ニ考ヘラレル、隨テ此ノ法律ノ適用ヲ受クル程、現ニ惡質ノ精神病ニ罹ツテ居ル者ノミニ限定スルトシテ、政府ハドウ御考ニナルカ、殊ニ四等親以內ノ血族中ニサウ云フ病氣ニ罹ツタ者ヲ各自ガ持つテ居ツテ、或ハ持つテ居ツタ者ガ結婚シタ場合ニ、オ互ニ子供ガ出來ナイヤウニシヨウ、或ハ自分ノ子供ガ病氣ニ罹リ、ソコデ、後ノ子供ガ出來ナイヤウニ此ノ法ヲ適用サセヨウト云フコトハ、精神病其ノモノノ原因治療ガ不明デアツテ、サウシテ將來年ヲ逐ウテ、段々治療ノ途ガ開カレルコトガ明カデアル現在ニ於テ、此處マデ適用ノ範

圍ヲ擴メナイデ、曩ニ申シマシタ通り現ニ此ノ病氣ニ罹ツテ居ル最モ惡質ナル者ノミニ限定スルト云フコトニ付テ、政府ハドウシテモ同意ガ出來ナイカドウカ

○高野政府委員 便宜只今ノ點カラ御答ヲ申上ゲマス、患者デナイ者ガ斷種ヲ申請シ得ルト云フ場合ハ、此處ニゴザイマスヤウニ、惡イ家系ノ者ガ血族結婚ヲスルト云フノデアリマシテ、丁度從兄妹同士ノ結婚ノヤウナモノデアリマス、其ノ本人同士ハ只今ハ健康デアアルガ、家系ヲ見レバ甚シク遺傳ノ負擔ヲ持つテ居ル、斯ウ云フ譯デアリマス、ソレカラモウ一ツハ、其ノ血族デハナイケレドモ、子ヲ生シテ見タラ惡イ子ガ生レタ、第二番目ニモ惡イ子ガ生レタ、其ノ事實カラ推シテ第三、第四モ惡イ者ガ出來ルダラウ、斯ウ云フ譯デアリマシテ、此ノ二ツノ場合非常ニ其處ニ惡イ子供ノ生レ率ガ著シイ、斯ウ云フ場合ニ本人ガ望メバ、其ノ手術ヲ行フ途ヲ開イテ置カウト云フ譯デアスカラ、是ハ適用ノ範圍ガ極ク少イノデアラウト思ヒマス、念ノ爲ニ斯ウ云フ規定マデ設ケマシテ、即チ此ノ效果ノ成ベク十分ナランコトヲ期シタヤウナ譯ナノデアリマシテ、是ハ原則トシテハ病人デアアルガ、併行シテ斯様ナモノマデモ、斯ノ如ク取扱ツタ方ガ法ノ目的ニ合致スルダラウト云フ意味デアリマシテ、恐ラク實際ニハ適用サレル場合ガ少イノデハナイカト思ヒマス、前ノ方ハ色々伺ヒマシタガ、アレハ御返事申上ゲナクテモ、御意見ト伺ツテ宜シウゴザイマスカ——前段ハ多分ニ御議論デアリマスカラ宜シウゴザイマセウ、有難ウゴザイマシタ

○土屋清三郎君 此ノ法案ト併行シテ癩豫

防法改正案ガ出テ居ルサウデスネ、其ノ目的ハヤハリ癩患者ニ對シテ斷種ヲシロト云フコトデスカ

○高野政府委員 左様デアリマス
○土屋清三郎君 此ハ此ノ優生法制定ノ趣旨トハ意見ガ違ヒマスケレドモ、大體遺傳性ノ素質ヲ有スル者ノ増加ヲ防遏スルト云フコトノ趣旨デアラウト思ヒマスガ、癩患者ノ方ハソレトハ別ナモノト考ヘマス、然ルニ此ノ優生法案ト云フ即チ事實上ノ斷種法ノ制定ニ便乘シテ、同じ行爲ヲ癩患者ニ對シテ求メヨウト云フコトハ、一體ドウ云フ御趣旨デアリマスガ、昔ハ癩患者ハ遺傳スルモノト見ラレテ居タ、是ハ高野サンノ專門デアリマスガ、結婚ニモ其ノ血族關係ガ一番重キヲ置カレテ居リマスゲレドモ、其ノ後病源ガ發見サレテ、癩病ハ確ニ傳染病デアル、斯ウ云フコトガハツキリ分ツタ、同時ニ是ハ厚生省デハドウ御考ニナルカ知レマセマスガ、私ノ知ツテ居ル範圍デハ、癩病ハ不治デハナイ、治ラヌモノモアル、併シ治ルモノモアル、ソレハ自分ノ實際ニ見タ例ヲ申セバ分リマスガ、先達マデ東大ノ醫學部長ヲヤツテ居リマシタ遠山博士、アノ實家ハ父ノ代カラ癩病專門デアリマス、現在經營シテ居ルモノハ博士ノ弟デアツテ、私ハ同じ學校ニ醫學ヲ如シタ、彼ハ郷里ニ歸リマシテカラ父ノ業ヲ繼イデ癩患者ヲ治療シテ居ツタ、偶、癩豫防法ガ制定サレマシテ、癩患者ニ對シテハ必ズ届出ヲシナケレバナラヌト云フコトニナツタ、ソコデ遠山君ハ非常ナ惱ミヲ感ジテ私ノ所ニ態、相談ニ來タ、ト云フノハ自分ハ父ノ代カラ癩患者ヲ治療シテ居ル、ソシテ或者ハ病氣ノ進行ガ停止スル、或者ハ確ニ癒ル、ソ

レデアアルカラ自分ハ癩患者ヲ一族ト考ヘテ、癩患者ト一軒ノ家デ皆ヤツテ居ル、癩患者ノ癩ツタ者ガ遠山君ノ家デハ風呂ヲ焚イタリ使フシタリ、家ニ寢泊リシテ居ル、所ガ癩患者ト云フモノハ世間デ非常ニ嫌ハレマスカラ、來タ患者ノ中ニ非常ニ立派ナ身分ノ人モアレバ、非常ニ富シテ居ル人モアルシ、又相當ノ地位ノ役人ノ人モアリマスガ、一度病氣ニ罹ツテ自分ノ家ニ治療ニ來ルナラバ、全部自分ノ家族ト直接ノ通信ハ絶ツテ、家族ハ他ノ名前デ醫師タル遠山君ノ所ニ手紙ヲ寄越シテ、其ノ内容ヲ患者ニ取次イデ居ル、サウ云フヤウニ秘密ニシテ居ル、隨テ癩ツタ者ハ決シテ癩ツタト云フコトヲ世間ニ發表シナイ、極力秘密ニシテ居ル、サウシテ癩ツタ者ハ實ニ感謝ノ念ニ燃エテ居ツテ、盆トカ暮トカニハ缺カサズ禮ニ來ル、現ニ自分ノ所ニ十數年此ノ方、此ノ街道ノ荷馬車挽キノ如キハ、實ニ先生ノ才蔭ダト云ツテ始終來テ居ル、私ハソコデ治療シテ居ル者ヲ見テ、來タ時ニハ此ノ程度デアツテ、此ノ程度ニ固マツタト云フ實情ヲ見セラレテ、癩病ハ傳染スル病氣デ遺傳スル病氣デナイト云フコトガハツキリ分ツタ、癩患者ノ家族及ビ一般ノ社會ニ向ツテ、是ハ新シイ教訓ト安心ヲ與ヘタコトダト思フ、ソレカラ癩病必ズシモ不治デナイ、治療スレバ一部デアアルニシテモ必ズ癒ルコトガ分ツタト云フコトハ、是亦癩患者ノ前途ニ非常ナ光明ヲ與ヘタモノデアアル、然ルニ此ノ法案ハ現在癩ニ罹ツテ居ル者ヲ女ニ對シテモ男ニ對シテモ、子供ヲ生ムコトヲ絶ヤシシマホウト云フノデアアル、成程傳染病其ノ他癩病院デハ、患者ノ承諾ヲ得タ形式ニ於テ、長イコト相當ノ斷種手術ヲ

ヤツテ居ルコトハ私モ聞イテ居リマシタガ、私ハ其ノ都度始終疑義ヲ持ツテ居ル、傳染病デハナイカ、サウシテ治療スレバ癒リ得ルノデハナイカ、子供ヲ生ンデモ、生レタ子供ハ必ズシモ癩病デハナイデハナイカ、將來或ハ癩病ニ罹ルノデハナイカト云フ疑念ハアリマスケレドモ、癩病患者ノ生ンダ子供必ズシモ癩病ニ罹ルノデハナイ、ソコデ醫師タル立場トシテハ、又國家ノ立場トシテハ癩病患者ガ子供ヲ生ンダナラバ、ソレヲ傳染シテ居ルカドウカ分ラナイガ直グ親カラ隔離ヲシテ、サウシテ特別ニ之ニ保護ヲ與ヘテ此ノ子供ヲ育テヤル、若シ病氣ニ罹ル前兆ガアツタナラバ、早ク之ヲ治療シテヤツテ健康ナ人間ニシテヤルト云フコトガ、癩患者ニ對スル——今日多クノ癩患者ハ前途絶望ノ狀態ニアリマスガ、其ノ癩患者ニ對シテ前途ニ光明ヲ與ヘ、サウシテ生レ出テ來テ居ルモノヲ、サウ云フヤウニ助ケテヤルト云フコトガ人道デハナイカ、私ハ其ノ意味デ癩病院ニ於テアノ斷種手術ヲスルコトハ、一ツ政府トシテ干涉シテ貫ヒタイト云フコトヲ、前カラ考ヘテ居ツタノデアリマスガ、圖ズモ今度ノ法案ハ私ノ考ト全ク反對ノ考ヘ方デアリマス、成程癩患者ニハ病勢ガ進ンデ癒ラナイ者モアリマスケレドモ、初期ノ者ハ實際病氣ガ停止スルカ、或ハ癒ルノデス、私ハ實際患者ヲ見タノデス、此ノ點ニ付テドウ云フ御考ヲ持ツテ居ラレマスカ

○高野政府委員 癩病ガ時ニ癒ルコトガアルト云フ御話、是ハ私モサウ信ジテ居リマス、或ル癩療養所ニ入ツテ居ツタ者ガ癒リマシテ、目下戦地ヘ行ツテ居ルノモ實際ニ知ツテ居リマス、斯様ナ譯デ癒ル場合ガ

絶無デハナイガ、稀有デアルト云フコトモ是ハ御承知ノ通りト思ヒマス、詰リ癩療養所ニ於キマシテ如何ニ手ヲ盡シテモ、其ノ大部分ト申シマスカ、極メテ稀有ノ例ヲ除ク外ハ、癩療養所ノ先生ガ手ヲ盡シテモ、如何トモ仕方ガナイト云フノハ、是ハモウ申上ゲル必要ハナイト思ヒマス、癩療養所ニ居リマスル醫員ノ方々ニハ、洵ニ感謝ニ堪ヘナイ非常ナ御骨折ヲ掛ケテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ方々ノ考、又希望ニ依リマシテ、斯様ナ制度ヲ當分ハ行ハレルヤウニト云フ譯デアリマシテ、寧ろ癩患者ノ幸福、又癩收容所職員ノ方々ノ希望ト云フコトガ、此ノ中ニ入ツテ居ルノデアリマス、理論ノ上カラハアナタノ仰シヤル通り是ハ傳染病患者デアリマスカラ、假ニ子ガ生レマシテモ其ノ生レタ子ヲ直チニ隔離シテ之ヲ育テテ、若シ發病シタラ直グ隔離スル、斯ウ云フコトデアリマシテ、理窟ハ正ニ間違ナイト思ヒマス、唯實際ノ問題ト致シマシテ癩療養所ニ於キマシテハ、癩患者ガ子ヲ生ムト云フコトハ、ソレハ親ニ取ツテモ、生レ出ズル子ニ取リマシテモ、或ハ大キク見テ國家社會カラ見マシテモ、結構ナコトハ考ヘラレナイ實情デアリマス、ソレデ療養所ニ於キマシテハ老幼男女ガアリマシテ、是ハ結婚生活ニ入ルコトヲ絶望シテ居ル譯デス、併シナガラ國トシテハ癩患者ヲ親ニシタ子ノ生レルコトヲ、或ハ社會ハ或ハ又細カク申シマス、其ノ親達モ子ノ生レルコトハ望マナイ實情デアリマス、ソコデ所謂特別ノ場合、特別ノ事情ノ下ノ産兒制限ヲ徹底的ニ行フ、斯ウ云フ意味ニ此ノ手術ガ使ハレル譯デアリマス、癩患者デアルカラ産兒制限ヲ徹底的ニ行フ、而モ本人ノ希望ニ依

ツテ行フ、斯ウ云フコトデアリマシテ、理想論デアラ出デニナルト洵ニ御答辯申上ゲニクイノデアリマスガ、癩ハ特殊ノ疾病デアリマス、故ニ子供ヲ産マナイ方ガ何レノ點カラ見テモ宜シイノデハナイカト云フ實際ノ人情論カラ起ツテ居リマス、是ハ優生ノ關係トハ全然離レテ、此ノ法律ト別ニ癩豫防法ノ中ニ此ノ規定ヲ置ク次第デアリマス、唯何故ニ之ヲ置カナケレバナラスカト申シマス、優生法案ガ成立ヲ致シマスレバ、今マデ行ハレテ居ツタ如キ癩療養所ニ於ケル手術ハ、是ハ禁止事項ニナリマスノデ、其ノ活路ヲ開イテ實際ニ對セシメタイト云フノデアリマス、是ハ御諒解ヲ得ルコトデハナイカト思ツテ居リマス

○土屋清三郎君 私が初メテ議會ニ參リマシタ時ニ、一番政府ニ對スル希望ハ、實際癩患者及ビ家族ノ救済デアツタ、高野サン御承知ノ通り、我國デ癩豫防法ガ制定セラルマデハ、癩患者ト云フモノハ全ク世ノ中ニ拾テラレテアツテ、之ヲ救済シタ者ハ外國ノ宣教師ダケデアツタ、熊本ノ「ミス・リデル」ノヤツテ居ツタ回春病院、或ハ靜岡ノ復生病院、或ハ目黒ノ恩癩園、斯様ニ癩患者ヲ我國ニ於テ救済スル仕事ハ、皆外國ノ宣教師バカリデアアル、日本ガ一等國ト自ラ誇リナガラ、自分ノ同胞ヲ自分ノ國內ニ於テ救フコトガ出來ナクシテ、他國ノ者ニ救ハレテ居ル現状ハ實ニ國辱デアアル、政府ハ人道上カラ見テモ、國家ノ名譽ノ上カラ見テモ亦患者及ビ其ノ家族ノ救済ノ意味カラ言ツテモ、速ニ國家ノ手ニ依ツテ此ノ施設ヲ徹底シナケレバナラス、是ガ私ノ最初ノ此ノ議會ニ於ケル政府ニ對スル希望デアツタノデアリマス、爾來議會アル毎ニ色々

申シテ居リマスケレドモ、中々國家ノ癩患者及ビ家族ニ對スル救済ノ手ハ伸ビナイ、ソレデ今モマダ全部ノ癩患者ガ救済サレズニ居ル狀態デアリマス、ソレデ御承知ノ通り獨逸其ノ他歐羅巴ノ先進諸國ガ、澤山アツタ癩患者ヲナクシタノハ何ニ依ルカト言ヘバ、皆早く患者ヲ發見シテ之ヲ隔離シタ、此ノ施設ガ徹底シタ爲ニ今日癩患者ト云フモノヲ、殆ド見ルコトガ出來ナイマデニシタノデス、日本ノ政府トシテハ、少クトモ癩患者ニ對シテハ全部收容隔離シテ、サウシテ治療ヲ徹底サスト云フ方ガ適當ダト思ヒマス、先年其ノ意味デ長イ年限掛ツテ實行スルト云フノデ之ヲ作ラレマシタ、實際ニ於テハマダ知ラレテ居ラス患者ガ澤山アル、私先年熊本ニ參リマシテ、熊本ノ回春病院ニ「ミス・リデル」ヲ訪ネタ時ニ、英國ノ相當ナ家庭ニ生レナガラ、親ト一緒ニ日本ニ觀光ニ來テ、サウシテ偶、清正神社ノ前デ氣ノ毒ナル癩患者ヲ見テ、而モソレガ日本ノ政府カラ拾テラレテ居ルノヲ見テ、惻隱ノ情禁ジ得ズ、親ノ許ヲ得テ一生ヲ日本ニ於ケル癩患者ノ救済ニ捧ゲ、サウシテ最後ハ自分ガ病ヲ得テ亡クナツタト云フ此ノコトハ、日本ノ政府タルモノ實際恥ヂナケレバナラス、高野豫防局長ハ衛生局長時代カラ、絶エズ此ノ問題ニ付テ熱心ニ研究サレテ居ラレタノデアリマスガ、ドウモ何時モ豫算ト云フ時ニナルト他ノ方ニ取ラレテシマツテ、此ノ問題ニ對シテ政府トシテノヤリ口ハ冷淡デアアル、私ハ其ノ結果斯ウ云フ法案ガ出タト思ヒマスガ、ドウカ患者ノ種ヲ將來ニ斷ツト云フヤウナ法律ノ制定ヨリモ、モツト政府ハ積極的ニ現在居ル所ノ患者ヲ——先程モドナタカラカ質

問ガアリマシタガ、早く隔離救済シテ、サウシテ自由ナ天地ニ癩患者ハ癩患者同志トシテ、夫婦生活デモ何デモ營ムコトノ出來ルヤウニシテ、其ノ間ニ生レタ子供ハ、更ニ國ガ出ス所ノ費用ニ依ツテ、直グニ之ヲ兩親カラ隔離シテ、サウシテ之ヲ育上ゲテ常人ニシテヤルト云フコトガ、現ニ望ヲ失ツタヤウナ狀態デ居ル癩患者ヲ慰メル爲ニモ、亦國家ノ施設トシテモドウシテモヤラナクテハナラナイ、斯ウ私ハ考ヘテ居リマスガ、此ノ法案ヲ出ス一面ニ於テ、政府ハ其ノ御用意ガオアリニナラレルカドウカ、是ハ、今厚生大臣ガ居レバ、厚生大臣ニ其ノコトヲ確メタイト思ヒマシタケレドモ、大臣ニ代ツテ政務官ガオ居デナリマスカラ、政務官カラ御答ガアルカ、然ラザレバ私ガ先刻來ズツト質問致シマシタ要旨ヲ厚生大臣ニ御傳ヘ下サツテ、十九日ノ此ノ委員會ノ席ニ於テ、厚生大臣カラ御答辯願ツテモ宜シウゴザイマス、決シテ無理ニ御答辯ヲ願フト云フ譯デハアリマセヌ、併シ飯村政務官ハ私多年尊敬シテ居ル人デアツテ、而モ新シイ役所デ澤山ナ問題ヲ持ツテ居ル厚生省ニオ出デニナラレタノデアリマスカラ、何カ御意見ガアレバ一ツ率直ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○飯村政府委員 土屋サンカラノ折角ノ御指名デアリマスカラ、私ハ知識ハ頗ル乏シイノデアリマスガ、其ノ御厚意ニ報ユル爲ニ所見ノ大要ヲ開陳致シマシテ、後ハ高野豫防局長ヨリ御答致シマス、癩豫防ニ對スル政府ノ對策ト致シマシテハ、土屋サンノ申サレル通り何トシテモ根本的對策ヲ講ゼネバナラスト云フコトニ付キマシテハ、勿論同感デアリマス、去ル十二年ヨリ三箇年

計畫ヲ以チマシテ、政府ハ一万人ヲ收容シ得ル所ノ設備ヲ目下計畫中デアリマス、大體本年度完了ノ見込デアリマシタガ、一小部分ハ來年度ニ殘ル筈ニナツテ居リマス、昭和十年度ノ調査ニ依リマス、只今全國ノ癩患者ハ一萬五千六百ニ達シテ居ルト見テ居リマス、或ハ是ヨリ多イノデハナイカト思ヒマスガ、只今ノ一万人收容ノ計畫ガ本年度末ヲ以テ實現致シマスレバ、殘ル者ハホンノ僅カニナリマス、此ノ三箇年計畫ニ引續イテ勢ヲ得マシテ、更ニ政府ハ殘餘ノ者ニ對スル收容隔離ノ方策ヲ確立シタイ、斯様ニ存ジテ居ルノデアリマス、是ガ政府ノ癩豫防ニ對スル大要デアリマス、他ハ高野局長ヨリ御答申シマス

○高野政府委員 大體只今申上ゲタヤウナ譯デ本年ヨリ全部ノ患者ヲ隔離スルト云フコトニナル豫定デアリマス、更ニ現在アル約一萬五千或ハ二萬ニ近イカモ知レマセヌガ、之ニ向ツテ一万人收入デアリマスガ、重症ナ者ガ先ツ中ヘ入ツテ、危險ノ薄イ者ガ外ニ殘ルヤウニナリマスケレドモ、ソレニシテモ尙ホ暫クノ間ハ感染ノ危險ガ民間ニ殘ル譯デアリマス、成ベク速カニ全部隔離ト云フ時期ニナリマスレバ、アトハドン減ツテ行ク豫定デアリマス、全部隔離ヲ目標ニシテ進ンデ参リマス

○土屋清三郎君 是デ終リデアリマスガ、此ノ際希望ヲ申上ゲテ置キマス、優生法案ニ對シテ、此ノ法案制定ノ根本ニ關スルコトト考ヘテ質問致シマシタ、即チ精神病ヲ遺傳病ナリト斷定スルコトハ、新シイ精神病學者ハ多大ノ疑問ヲ持ツテ居ル、精神病患者決シテ精神病患者バカリヲ生ムノデハナイ、茲ニ掲ゲラレタ病名ハ精神病ノ色々

ナ病氣ヲ包括的ニ竝ベタノデアツテ、之ヲ其ノ儘適用スルト云フコトニ付テハ非常ナ紛糾ヲ來ス、斯ウ考ヘル、又其ノ適用ノ範圍ヲ、本人バカリデハナク、四等親、或ハサウ云フ子供ヲ生シタ親ニマデ、或ハ更ニ進ンデ本人ノ意思如何ニ拘ラズ適用ノ出來ル途ヲ開イテ居ルト云フコトハ、餘程考ヘナケレバナラスノデアリマス、其ノ家族制度ニ及ボス影響、社會的ニ及ボス影響、將來精神病ハ段々治療方法モ分ツテ來ツツアル今日、其ノ種ヲ斷ツコトノミヲ以テ豫防手段、精神病撲滅ノ手段ナリト考ヘラレルコトハ、寧ロ或ル意味ニ於テハ醫學ノ冒瀆デアルト言ツテモ差支ナイ、斯ウ云フ意味ヲ申上ゲタノデアリマスカラ、此ノ點ハ委員長ニ於テ其ノ報告ヲ爲ス際ニ、特ニ御注意ヲ願ヒタイ、ソレカラ只今政務官、豫防局長カラ御答辯ガアリマシタガ、非常ニ御熱心デ結構デアリマス、私ハ茲ニ竝ンダ三人ノ政府委員ヲ眺メマシテ、政務官ハ茨城縣ノ出身、豫防局長ハ茨城縣出身ノ醫學博士、隣リノ衛生局長ハ茨城縣知事ヲシテ居ラレ、今衛生局長トシテ醫藥制度改善ニ對シテ非常ナ手腕ヲ振ハレテ居ル人デアリマス、而モ其ノ主宰サレテ居ル醫藥制度調査ノ項目ノ中ニハ、新タニ豫防衛生、指導衛生ト云フ項目ガ載ツテ居リマス、是ハ特別ナ委員會ヲ作ツテ審議サレルト思ヒマスガ、此ノ意味カラ言ツテ、斯ウ云フ國民疾病ノ豫防ニ關スル制度ノ問題モ、醫藥制度調査會ノ中ニハ出テ來ル問題デアリマス、隨テ此ノ法案ガ出ルカドウカハ、今ノ所マダ分リマセヌガ、今ヤツテ居ル調査會ノ豫防衛生ノ中ニハ、當然此ノ審議ガ入ツテ來ルト私ハ考ヘマス、而モ最後ニ申シマシタ癩豫防ノ問題

ハ、實ニ政治上、人道上、又日本ノ一等國ノ名譽ニ掛ケマシテモ、現狀ヲ長クダズシテ置クコトハ出來ナイノデアリマス、幸ヒ茨城縣ニ緣故ノアル三政府委員ガ、私ノ話ヲ御清聴下サツタコトヲ感謝致シマス、ドウカ一ツ協力シテ厚生省ヲ動かシテ、來年ハ此處ニアルヤウナ消極的ナ、子種ヲ斷ツトカナントカ云フ法律案デナクテ、思切ツテ全國ノ癩患者及ビ其ノ家族ヲ、本當ニ救済スルヤウナコトニ、一ツ御盡力ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、是デ私ノ質問ヲ終リマス、長イ間委員諸君ノ御清聴ヲ戴キマシテ、有難ウゴザイマシタ

○江原委員長代理 本日ハ是ニテ閉會致シマス、次會ノ期日ハ公報ヲ以テ御通知申上ゲマス

午後七時十三分散會

昭和十五年三月十八日印刷

昭和十五年三月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局